

# 青森県立郷土館長寿命化改修基本計画書

令和5年3月

## 目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| はじめに                         | 1  |
| I. 現状と課題の整理                  |    |
| 1. 郷土館の特徴と課題                 | 2  |
| 2. 公開承認施設としての機能及び活動          | 8  |
| 3. 休館前の利用状況                  | 12 |
| 4. 県立博物館として期待される役割等          | 17 |
| II. 長寿命化の基本方針                |    |
| 1. 長寿命化の基本的な考え方              | 18 |
| III. 施設整備                    |    |
| 1. 建築改修の考え方                  | 19 |
| IV. 収蔵                       |    |
| 1. 資料収集・管理                   | 32 |
| 2. 現在の収蔵状況概要と保存管理における課題      | 34 |
| 3. 収蔵計画の検討                   | 49 |
| V. 調査研究活動                    |    |
| 1. これまでの調査研究活動               | 54 |
| 2. 活動方針の整理及び検討               | 57 |
| VI. 展示                       |    |
| 1. 休館前の展示状況（常設展示、企画展示及び特別展示） | 58 |
| 2. 課題の抽出と整理                  | 64 |
| 3. 展示構成の検討                   | 66 |
| 4. 展示イメージ                    | 70 |
| VII. 教育普及活動                  |    |
| 1. 休館前の教育普及活動状況              | 72 |
| 2. 活動方針の整理及び検討               | 74 |

VIII. 管理運営・広報活動

|                |    |
|----------------|----|
| 1. 休館前の管理運営状況  | 75 |
| 2. 管理運営上の課題と展望 | 76 |
| 3. 広報活動の課題と展望  | 77 |

資料編（別冊）

## はじめに

青森県立郷土館（以下「郷土館」）は開館して50年になろうとしており、施設設備の老朽化が著しいことに加え、耐震診断基準の目標値を下回る部分があることが判明したため、利用者の安全を考慮し令和2年10月から休館している。郷土館の再開に向け、令和3年度において長寿命化と耐震補強の組み合わせによる改修の実施可能性について検討したところ、耐震補強を含めた施設の長寿命化は可能であると判明したところである。

一方で、古くなった展示情報、利用者ニーズの変化、博物館利用を取り巻く社会の変化などにより、利用者の減少につながっている。また、年々増えていく収蔵資料に対する収蔵スペースの不足や、専門知識や情報を求める研究者ニーズへの対応不足も認められる。

このため、耐震補強を含めた施設の改修を行うとともに、博物館の主機能である展示・収蔵の最適化を図る必要がある。とくに、新しく生まれ変わる博物館として、50年の実績を活かしながらも時代にあった活動を見直し、進化した魅力ある博物館となることが望まれる。

本業務は、これまでの検討結果を基に、展示・収蔵など博物館としての機能の最適化を図るため、整備方針の設定及び必要な改修の内容を検討した基本計画を策定することを目的とする。

### （これまでの経緯）

令和元年度：「青森県立郷土館耐震診断等業務」

耐震診断及びアスベスト含有調査を実施した。

令和3年度：「青森県立郷土館長寿命化改修計画検討業務」

各棟の老朽化対策の方策を総合的に検討した。

令和3年度：「青森県立郷土館 文化財保存・展示環境検討支援業務」

公開承認施設としての位置付けを踏まえ、令和3年度の検討を補完した。

以上のような経緯を踏まえ、本計画策定にあたっては、収蔵環境調査と分析、収蔵機能と展示改装を中心に協議を重ねるとともに、公開承認施設としての与件確認のための文化庁協議を実施し、その成果を反映させた。

また、調査研究・収蔵・展示・教育普及に関する学識経験者のヒアリングを以下のとおり実施した。

2022年11月14日（月）文化庁協議

2023年1月27日（金） 藤井讓治 氏（石川県立歴史博物館館長）

2023年2月2日（木） 高橋啓一 氏（滋賀県立琵琶湖博物館館長）

2023年2月20日（月） 青森県立郷土館協議会委員

# I. 現状と課題の整理

## 1. 郷土館の特徴と課題

### 1-1. 郷土館の特徴

郷土館の特徴は大きく7つあり、どれも創立時に掲げた理念に基づくもので、当時の県立博物館としてはユニークな機能、活動である。しかしながら、50年の社会変化の中で大きく見直さざるを得ない問題点が少なからず生じている。建物の耐震補強、老朽化対策とともに、郷土館の独自性を守り活性化していくためにも、種々の対策を講じる必要がある。

#### ① 明治百年記念事業を背景とした半世紀の事績を持つ博物館

昭和42（1967）年、青森県明治百年記念事業審議会からの答申を受け、青森銀行より譲渡された旧本店の建物を別館に位置づけ、本町二丁目の現在地に昭和47（1972）年本館が竣工した。翌年より一般公開され、来年度で50周年を迎える。半世紀におよぶ郷土館の諸活動は、ライフスタイルや価値観が大きく変化していく中であって、着実に青森県の文化振興、地域の活性化に貢献してきた。

しかしながら、歴史があるということは劣化していくことであり、50年の経年が物語る建物や設備の老朽化、展示の陳腐化が問題となっている。とくに、建物の老朽化に伴う耐震性の欠陥は、この度の休館につながったところである。

展示は最後の大規模展示替えから17年が経過しているため、情報の更新とともに展示設備の改修も必要な時期といえる。

#### ② 「郷土館」に込めた理念

「郷土館」の名称の由来は、当時の県知事竹内俊吉氏の掲げた設立趣旨に言い表されている。

「ふるさとの 過去を語り現在を考え 未来を展望する そこにひらく夢と希望 何千年のむかしから わたしたちの先人は 匂いゆたかな郷土文化を つくりつづけてきた その総意と伝達を よりたくましくより美しく 現代に生かす願いをこめ 明治百年を記念して 郷土館が建てられた 青森県知事竹内俊吉 昭和48年3月」

郷土青森の自然・歴史・文化をわかりやすく紹介する総合博物館であり、郷土青森の自然・歴史に関する資料を収集・保管し、後世に引き継いでいく使命をもつ博物館として、県民が郷土に誇りをもてるように、資料の調査研究を進め、その価値を高めることで県の特徴・良さをアピールするものである。創立当初より、郷土館が青森県のアイデンティティーを見つめ直すきっかけとなることを目指している。

しかし、「郷土館」という名称がもつ印象から、自然分野を含む総合博物館として認識されることが少ない。また、「郷土館」という名前を県レベルの博物館で使っているところは少なく、グローバル化が進みインバウンド時代を迎える今日、小さな町や村の郷土資料館のようなイメージが否めない。

### ③ 県民からの寄付が中心の収蔵資料

博物館の命である「実物資料」は、郷土館開設準備室の段階で収集活動が開始された。最初の受け入れは1970年10月16日付で、贈答用や婚礼、祭礼、棟上げに飾る酒樽の一種「柳樽」であった。研究者から高い評価を受けている風韻堂コレクションは、青森市内の医師大高興氏のご厚志によるもので、郷土館の核となる資料となった。開設準備期のわずか3年で2万点を超える資料の寄贈を受け、その後も寄贈を中心として収集された資料数は約10万点に上る。いずれもふるさとの素晴らしさ、魅力を伝える資料であり、郷土館の収蔵資料は県民からの寄付で構成されていることが最大の特徴といえる。

今もなお寄贈の問合せが絶えずあり、県民にその存在や役割を認知され、頼りにされている。

しかしながら、県民からの信頼に支えられた長年の資料収集活動の結果、収蔵庫がひっ迫状態となっている。10万点近い貴重な資料の全てを適切に収蔵し保存する機能や空間が現在の郷土館にはない。

### ④ 青森県唯一の総合博物館

青森県内には現在、博物館や類似施設が相当数存在しており、相互の緊密な連絡・連携をはかるために設置された「青森県博物館等協議会」に加盟している博物館等は45館ある。各分野を独自に扱う施設が多数あり、浅虫水族館は生態展示、白神山地ビジターセンターは白神山地、三内丸山遺跡センターは三内丸山遺跡に特化した展示となっている。その他、市町村の博物館・資料館は、それぞれの市町村の主に歴史・民俗やゆかりの作家を扱った施設が多い。

その中であって、青森県全域に関する、自然・歴史・文化を総合的に扱っている博物館施設は、県内では郷土館だけである。観覧により青森県の概要がわかること、また、大学を除くと県内唯一の自然分野の研究機関であることが特徴である。

「青森県博物館等協議会」加盟館を含む県内の博物館等施設の一覧は資料編（別冊）のとおりである。

|              | 自然 | 考古 | 歴史 | 民俗 | 文学 | 人物 | 美術 | 理工 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 青森県立郷土館      | ◎  | ◎  | ◎  | ◎  |    | ◎  | ○※ |    |
| 三内丸山遺跡センター   |    | ○  |    |    |    |    |    |    |
| 青森県立美術館      |    |    |    |    |    |    | ○※ |    |
| 青森県立近代文学館    |    |    |    |    | ◎  |    |    |    |
| 青森県立三沢航空科学館  |    |    |    |    |    |    |    | ○  |
| 青森県営浅虫水族館    | ○  |    |    |    |    |    |    |    |
| 白神山地ビジターセンター | ○  |    |    |    |    |    |    |    |

◎全地域 ○一部

※美術については県立美術館と重複する部分があるが、県立美術館が美術作品そのものを取り扱うのに対し、郷土館はおおむね歴史資料としての美術を取り扱っている。

しかし、これまでの常設展示では通史が分断されている、地域バランスに配慮した展示がなされていないなどの課題があった。これらを解消し、さらに多様性に富む生物の分類展示を行う必要性や、総合博物館の特性を活かした分野横断的なテーマによる総合的な展示とすることが求められている。

#### ⑤ 創設時より注力してきた教育普及活動

創設以来、子ども、とくに学校団体に対する教育普及活動には力を入れており、普及活動の種類も増やしてきた。また、長年の調査研究の成果を、特別展や企画展だけでなく、教育普及活動として県民へ還元してきた実績がある。また、教育普及を目的に展示室に監視員ではなく解説員を創設以来配備してきたが、50年前としては画期的であった。

しかし、普及活動の種類を増やし充実を目指すほどに、人員の確保や人材育成などの問題が生じ、他の活動とのワークバランスがとりづらくなっている現状がある。

#### ⑥ 郷土館の立地

郷土館は、青森湾のすぐ近く、風によって届く潮の香りや海鳥の声が人の心をかき立てる、詩情溢れた土地に建てられている。また、この地はかつて北海道への表玄関、東北地方の物流の要として重要な港町であり、そのような環境的、歴史的背景をもつ場所に立地することは、県立の博物館としては大変意義のあることである。

しかし、青森市ハザードマップ（洪水：令和3年3月更新、津波：令和4年4月更新）により郷土館所在地は浸水範囲に入っており、機械室や収蔵庫の移動や、それに伴う諸室の用途変更などが求められている。

また、商業を取り巻く環境の変化などから、中心市街地の空洞化が進み、空き地・空き店舗率が悪化している状況にあり、かつての賑やかさが衰退し、クルマ社会にあって駐車場も完備していないため、集客のための要素に欠けている。

⑦ 建物が登録有形文化財を含む

郷土館は、昭和6年に建てられた第五十九銀行青森支店の建物を博物館の一部として利用している。開館後、平成16年に登録有形文化財に指定された。内装に使用されている石材、柱や天井、階段回りの装飾など、数々の見どころが紹介され、港湾商売全盛期の往時をしのぶことができ、地域の歴史的資源を活用してきた。

しかし、文化財である建物は、その意義や価値が広く発信されるべき存在であるが、これまで展示室として利用してきたため、価値を伝えるににくい状況にある。

<青森県立郷土館（旧青森銀行本店）：登録有形文化財（建造物）>

第五十九銀行青森支店として建設。鉄筋コンクリート造2階建の銀行建築で、吹抜の営業室にはフラットスラブ風の柱頭を持つ8本の円柱を建て、ギャラリーを廻す。古典主義建築の骨格を保持しつつ細部装飾を省略したモダニズム建築の一例。設計は堀江幸治。

## 1-2. 設立の目的と沿革

郷土館は、昭和48年に「ふるさとの過去を語り現在を考え未来を展望する」総合博物館として設置された。

|              |   |
|--------------|---|
| 昭和42（1967）年度 | 7月24日 県の明治百年記念事業審議会が設けられる。<br>11月4日 記念事業として「青森県立郷土館」と「県民の森」の設置が知事に答申された。  |
| 昭和43（1968）年度 | 10月 答申を受け知事が郷土館の設置を決定する。<br>3月 現在地を買収した。  |
| 昭和44（1969）年度 | 4月 青森銀行旧本店の建物の譲渡を同行から受ける。   |
| 昭和45（1970）年度 | 4月1日 教育庁内に郷土館開設準備室が発足。<br>県立図書館の一室を借り受けてスタート。<br>8月1日 青森銀行本店管財庫（現在の郷土館駐車場）に移転。<br>11月 本館新築工事起工（昭和47年11月竣工）。     |
| 昭和48（1973）年度 | 4月1日 青森県立郷土館条例施行により郷土館が設置される。   |
| 昭和48（1973）年度 | 9月20日 開館。   |
| 昭和53（1978）年度 | 第5（りんご）展示室を全面展示替え。  |
| 昭和58（1983）年度 | 開館10周年記念特別展「青森県の文化財展」を開催。   |
| 昭和59（1984）年度 | 展示案内「青森県立郷土館総合案内」を刊行。   |
| 昭和63（1988）年度 | 第5（りんご）展示室を大規模展示替え。   |
| 平成3（1991）年度  | 宇鉄遺跡出土品559点が国の重要文化財に指定。<br>第1（考古）展示室を大規模展示替え。   |
| 平成4（1992）年度  | 第4（民俗）展示室を大規模展示替え。  |
| 平成5（1992）年度  | 開館20周年記念特別展「漆の美展」を開催。   |
| 平成7（1994）年度  | 大石平遺跡出土品198点が国の重要文化財に指定。  |
| 平成11（1999）年度 | 第2（自然）展示室を大規模展示替え。  |
| 平成13（2001）年度 | 第7（先人）展示室を新設。<br>第3（歴史）展示室を大規模展示替え（1次）。   |
| 平成15（2003）年度 | 開館20周年記念展「青森県の文化財」「蝦夷錦と北方交易」を開催。<br>大ホール（特別展示室）として使用している旧青森銀行本店部分の建物が登録有形文化財（建造物）に登録。<br>第3（歴史）展示室を大規模展示替え（2次）。 |

|              |  |
|--------------|--|
| 平成16（2004）年度 | 第3（歴史）展示室を大規模展示替え（3次）。   |
| 平成17（2005）年度 | 未来展示室を大規模展示替えし、郷土学習室「わくわく体験ルーム」を新設。  |
| 平成24（2012）年度 | 指定管理者制度を導入。<br>展示案内「海を行き交う人たち」を刊行。   |
| 平成25（2013）年度 | 特別展「郷土館開館40周年記念平尾魯仙～青森のダ・ヴィンチ～」を開催。  |
| 平成26（2014）年度 | 耐震補強のため、大ホール（特別展示室）天井改修工事を実施。  |
| 平成28（2016）年度 | 「青森県立郷土館デジタルミュージアム（ホームページ）」の利用開始。  |
| 平成29（2017）年度 | （8月28日～3月31日）<br>収蔵庫空調設備等改修・エレベーター改修のため休館。   |
| 令和2（2020）年度  | （4月11日～5月20日）<br>新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館。<br>（10月20日～）<br>建物に耐震診断基準の目標値を下回る部分があることが判明し臨時休館。 |
| 令和3（2021）年度  | 休館のため指定管理者による管理から県の直接管理に移行。  |

### 1-3. 郷土館の使命と基本方針

県立の総合博物館として、その使命は、本県の自然や歴史、文化について誰もが幅広い理解を得られるよう、資料収集・保存、調査研究、展示、教育普及などの活動を通して支援することにある。そのため郷土館では、自然・考古・歴史・民俗などの資料収集・保管、調査研究を基盤に、常設展示や特別展・企画展、講演会、観察会など、さまざまな観覧・学習の機会を用意している。より多くの県内外の方々に来館していただき、青森県について理解を深めてもらう博物館を目指している。

## 2. 公開承認施設としての機能及び活動

### 2-1. 機能と課題

#### ①公開承認施設として求められる機能

郷土館は、文化財保護法第53条に基づく「公開承認施設」の認定を文化庁より受け、指定文化財の借用を含めた様々な文化財の公開活用を行ってきた。改修後も引き続き公開承認施設として認定されるよう整備を行う。

なお、公開承認施設の認定に関しては、大規模改修に伴い一度継続認定が失効するため、改修後改めて申請を行う必要がある。その際、現行の認定基準（「文化財公開施設の計画に関する指針」平成7年8月文化庁文化財保護部）への適合が求められる。また建設当初から当該敷地のハザードマップ等も更新がなされており、改修に当たっては改めてこれらの基準や敷地条件等に配慮した上で、博物館にて取り扱う文化財をより安全かつ安定的に保管し、公開活用が可能な機能並びに環境を再整備する必要がある。

#### ②現施設における主な課題と再整備における改善対応等

特別展・企画展は、指定文化財を借用して実施するものを含め、1階に位置する大ホール（特別展示室）で開催してきた。しかし大ホールには空調設備がないため季節によっては資料展示に十分な温湿度管理が困難であることや、エレベーターが一基しかないことによる動線交錯、建物の耐震性能不足や津波浸水被害の懸念などの課題も近年明らかとなっている。これらは現施設の建設時には必ずしも求められていなかった要素も多く、時代の変化の中で博物館の運用努力によりカバーしてきたが、引き続き公開承認施設としての機能・役割を担うためには、今回の改修でこれらの課題を抜本的に解消し、運用負担の軽減を図ることが望まれる。

#### <主な現状課題と改修計画における改善ポイント※>

| 主な確認項目  | 現状課題等   | 改修（改善）計画  |
|---------|---|---|
| 施設の立地環境 | 敷地がハザードマップ上の津波浸水エリアに該当。現状、地下の機械室・収蔵庫、1階の企画展示室が浸水範囲となっている。 | 浸水範囲となる地階と一階には、博物館資料を保管する収蔵庫・展示室及び機械室を設けない方針にて、施設プランを再構成する。 |
| 建物設計    | 耐震診断により耐震性が不十分となっている。                                     | 耐震改修により基準値以上のIs値を確保する。                                      |
|         | 漏水リスクの高い陸屋根があり、防水機能が老朽化している。                              | 陸屋根の防水層を全面改修。陸屋根直下には借用展示を行う企画展示室は配置しない。                     |
| 設備設計    | 一部展示室（大ホール含む）に十分な空調設備がなく、季節によっては適正な温湿度管理が困難な状況。           | 空調全面改修により、適正な空調設備を導入する。                                     |

|              |   |  |
|--------------|---|--|
| 各部屋の配置       | 施設プラン上、展示区画、収蔵区画、管理区画のゾーニングが明確でなく、一部動線交錯が生じている。       | 施設全体でゾーニングを再構成。資料動線を踏まえて諸室配置を見直す。                |
| 通路設計         | 資料動線の一部にクランク、段差等有。                                    | 資料動線を踏まえて諸室配置を見直し。借用資料、資料サイズ・特性に応じた計画を検討する。      |
| 施工等          |   | 建物内の空気環境を安定させるため、枯らし期間を十分に確保した事業スケジュールとする。       |
| 搬出入口・トラックヤード | 現状のトラックヤード入口が3.19mで大型トラックの侵入ができない。                    | トラックヤードの入口建具・天井改修を行い、既存構造の制限で最大限の高さを（約3.4m）確保する。 |
| エレベーター       | 施設全体でEVは一基のみで、利用者動線と管理者動線の分離が困難。                      | 来館者用のEVを新設。                                      |
| 収蔵庫          | 外部からの影響の大きい、地階や最上階等に分散保管されている状況。                      | 施設全体で諸室配置を見直し。2階以上の階に再配置する。                      |
|              | 収蔵庫の面積が現状不足しており、収納しきれない資料を収蔵庫外（館外含む）に分散保管せざるを得ない状況。   | 諸室配置見直しによりスペースを確保。不足分は館外保管も併せて検討する。              |
|              | 一部の部屋で前室や二重壁等の計画がなく環境が安定しづらい状況。文化財IPM管理の負担も大きい。       | 再整備にて適正な収蔵庫内装・建具、前室等の整備を行う。                      |
| 展示室・展示ケース    | 展示室に外光の入るトップライトがあり、照度、光の制御が難しい。                       | 改修にて既存のトップライトは廃止する。                              |
|              | 気密性を担保するケース仕様でなく、環境管理が難しい。照明設備や開閉機構含めケースそのものが老朽化している。 | 最新の指導基準に準拠した仕様のケースを整備する。                         |

※計画検討時文化庁協議資料「整備基準セルフチェックリスト」からの抜粋資料。

## 2-2. 関係する活動

### ① 特別展・企画展の実績

直近3期の承認期間における実績は次のとおりである。

#### <平成22年度特別展>

第3回北東北三県共同展「境界に生きた人々―遺物でたどる北東北のあゆみ―」

（平成22年9月17日～10月24日）

- ・重要文化財岩手県平泉遺跡群（柳之御所遺跡）出土品16点
- ・重要文化財岩手県平泉遺跡群出土品2点
- ・重要文化財秋田県胡桃館遺跡出土品5点
- ・重要文化財銅龍頭1頭
- ・重要文化財銅造観音菩薩立像1軀

<平成23年度特別展>

地域総合展「十和田湖・八甲田山」（平成23年7月15日～9月11日）

- ・重要文化財秋田県胡桃館遺跡出土品南面東扉1点

<平成27年度特別展>

「環状列石と周堤墓－縄文のモニュメントとその社会－」（平成27年10月21日～12月7日）

- ・重要文化財深鉢形土器（繫遺跡）3点

<平成28年度特別展>

「刀剣魂」（平成28年7月15日～8月28日）

- ・重要文化財太刀銘友成作1口
- ・重要文化財太刀銘真守1口
- ・重要文化財刀無銘伝来国光1口

<平成30年度特別展>

「コロコロ・STONE－あおもり石ものがたり－」（平成30年9月6日～10月24日）

- ・重要文化財青森県二枚橋2遺跡出土品39点
- ・重要文化財青森県石神遺跡出土品85点

② 学芸員研修

公開承認施設においては、博物館資料とりわけ重要文化財等の指定文化財の適切な取扱いが求められる。文化庁告示「重要文化財の所有者及び管理団体以外の者による公開に係る博物館その他の施設の承認に関する規程」では、公開承認施設の承認の基準として「学芸員の資格を有する者であり、文化財の取扱いに習熟している専任の者」を2人以上置くことと規定され、文化庁ではこの「文化財の取扱いに習熟」を同庁主催指定文化財展示取扱講習会（企画・展示セミナー）修了又は経験5年以上としている。

郷土館では令和4年4月1日時点で学芸担当職員11人中5人がこの要件を満たしているが、継続して文化財の適切な取扱いと職員の資質向上を図るため、職員の研修機会の確保に努めている。文化財の取扱いの習熟に向けて学芸担当職員がこれまでに受講した文化庁等主催研修の主なものは、次のようになっている。（同日現在）

- ・平成18年7月 第5回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー（第1年度）
- ・平成19年7月 第5回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー（第2年度）
- ・平成27年7月 平成27年度博物館・美術館等保存担当学芸員研修
- ・平成30年6月 平成30年度保存担当学芸員フォローアップ研修
- ・平成30年12月 平成30年度博物館学芸員専門講座

- ・令和3年7月 令和3年度博物館・美術館等保存担当学芸員研修（上級コース）
- ・令和3年12月 令和3年度文化財（美術工芸品）保存修理講習会
- ・令和4年1月 令和3年度博物館・美術館等保存担当学芸員研修（基礎コース）

また、事務分担において資料保管環境（収蔵庫）管理担当を明確に位置付け、担当者を講師役に館内全職員で定期的に研修を行うなど、館全体で資料をまもる体制の構築に努めている。

### 3. 休館前の利用状況

#### 3-1. 利用者数・来館者数の推移

郷土館の利用状況を示す数値としては、従来から来館者数（入館者数、観覧者数）ではなく、これに館外での教育普及活動の参加者数などを加えた「利用者数」をもって集計・公表してきた。長期休館入り前の利用者数の推移は表1のとおりで、ホール利用事業（貸館）の状況が利用者数に大きく影響を与える傾向はあるものの、昭和60年代～平成10年代の「谷」期も含め、年平均は6～7万人で推移している。

来館者数ではなく利用者数を利用状況の指標としてきたこと理由は必ずしも明らかではないが、特に平成10年代以降、郷土館では教育普及活動の充実に注力してきたため、その参加者数をカウントすることが博物館活動の「成果」を示す指標として妥当であると判断してきたものと考えられる。そのため、利用者数の記録（利用統計）は保管されているものの、来館者数の記録の保管状況は不十分で、実来館者の傾向を分析して諸施策を検討するといった手法がとりづらいという課題が生じている。再開後は、来館者数・利用者数ともに適切に把握し、博物館活動の充実に資するためのデータとして活用していくことが求められる。

参考値として、記録をたどれる範囲で実来館者数の推移をみると表2のとおりであり、中期的にみると減少傾向にある。少子化傾向は今後も続き、青森県人口は減少を続けるとの予測が示されている中、昭和48年の開館時とは異なり、青森市内だけでも三内丸山遺跡・縄文時遊館（平成14年11月開館）、青森県立美術館（平成18年7月開館）、青森市文化観光交流施設ねぶたの家ワ・ラッセ（平成23年1月開館）など競合相手となる博物館施設が多数存在する。再開後は、リニューアル効果に頼るばかりでなく、定期的な展示替えなどでリピーターを増やすとともに、これまで以上に積極的に広報・誘客活動を展開していく必要がある。

<表1 利用者数の推移>

| 年度          | 展示事業   | 教育普及事業 | ホール利用事業 | 計       |
|-------------|--------|--------|---------|---------|
| 1973 (S 48) | 42,673 | 49     | 0       | 42,722  |
| 1974 (S 49) | 88,836 | 535    | 0       | 89,371  |
| 1975 (S 50) | 67,144 | 13     | 0       | 67,157  |
| 1976 (S 51) | 68,828 | 1,006  | 0       | 69,834  |
| 1977 (S 52) | 67,315 | 933    | 0       | 68,248  |
| 1978 (S 53) | 80,181 | 170    | 40,525  | 120,876 |
| 1979 (S 54) | 71,654 | 586    | 16,857  | 89,097  |
| 1980 (S 55) | 65,001 | 672    | 12,027  | 77,700  |
| 1981 (S 56) | 65,475 | 851    | 15,789  | 82,115  |
| 1982 (S 57) | 62,033 | 746    | 17,567  | 80,346  |
| 1983 (S 58) | 53,734 | 1,091  | 8,215   | 63,040  |
| 1984 (S 59) | 53,820 | 944    | 11,859  | 66,623  |
| 1985 (S 60) | 57,275 | 469    | 17,697  | 75,441  |
| 1986 (S 61) | 49,165 | 1,079  | 7,148   | 57,392  |
| 1987 (S 62) | 45,676 | 951    | 3,620   | 50,247  |
| 1988 (S 63) | 43,137 | 818    | 0       | 43,955  |
| 1989 (H 1)  | 37,545 | 770    | 0       | 38,315  |
| 1990 (H 2)  | 42,304 | 914    | 0       | 43,218  |
| 1991 (H 3)  | 44,235 | 626    | 0       | 44,861  |
| 1992 (H 4)  | 46,318 | 1,138  | 0       | 47,456  |
| 1993 (H 5)  | 53,204 | 1,868  | 14,141  | 69,213  |
| 1994 (H 6)  | 51,753 | 1,089  | 19,121  | 71,963  |
| 1995 (H 7)  | 45,541 | 966    | 2,092   | 48,599  |
| 1996 (H 8)  | 43,527 | 1,451  | 19,456  | 64,434  |
| 1997 (H 9)  | 27,718 | 1,856  | 3,225   | 32,799  |
| 1998 (H 10) | 31,739 | 1,405  | 33,697  | 66,841  |
| 1999 (H 11) | 32,520 | 1,942  | 33,324  | 67,786  |
| 2000 (H 12) | 31,181 | 1,664  | 7,149   | 39,994  |
| 2001 (H 13) | 19,209 | 1,710  | 18,524  | 39,443  |
| 2002 (H 14) | 21,464 | 5,626  | 45,005  | 72,095  |
| 2003 (H 15) | 52,824 | 7,618  | 47,277  | 107,719 |
| 2004 (H 16) | 59,991 | 10,329 | 1,708   | 72,028  |
| 2005 (H 17) | 65,482 | 11,348 | 1,300   | 78,130  |
| 2006 (H 18) | 58,772 | 8,325  | 2,886   | 69,983  |
| 2007 (H 19) | 62,412 | 8,400  | 3,103   | 73,915  |
| 2008 (H 20) | 81,854 | 8,066  | 1,802   | 91,722  |
| 2009 (H 21) | 62,659 | 7,319  | 3,563   | 73,541  |
| 2010 (H 22) | 65,423 | 9,533  | 4,504   | 79,460  |
| 2011 (H 23) | 59,765 | 11,371 | 216     | 71,352  |
| 2012 (H 24) | 87,779 | 9,578  | 1,006   | 98,363  |
| 2013 (H 25) | 50,483 | 5,459  | 4,573   | 60,515  |
| 2014 (H 26) | 88,787 | 9,251  | 6,677   | 104,715 |
| 2015 (H 27) | 71,323 | 7,731  | 2,798   | 81,852  |
| 2016 (H 28) | 58,438 | 10,317 | 5,981   | 74,736  |
| 2017 (H 29) | 46,886 | 6,815  | 43      | 53,744  |
| 2018 (H 30) | 50,724 | 11,044 | 2,130   | 63,898  |
| 2019 (R 1)  | 50,001 | 9,660  | 2,348   | 62,009  |
| 2020 (R 2)  | 19,247 | 4,892  | 0       | 24,139  |



<表2 実来館者数の推移>

| 年度          | 展示事業       |        |           |        | ホール<br>利用事業<br>(B) | 実来館者数<br>(A+B) |        |
|-------------|------------|--------|-----------|--------|--------------------|----------------|--------|
|             | 常設展<br>企画展 | 特別展    | 小計<br>(A) | 連携展等   |                    |                |        |
| 2009 (H 21) | 17,265     | 26,858 | 44,123    | 18,536 | 62,659             | 3,563          | 47,686 |
| 2010 (H 22) | 14,166     | 23,031 | 37,197    | 28,226 | 65,423             | 4,504          | 41,701 |
| 2011 (H 23) | 12,891     | 26,069 | 38,960    | 20,805 | 59,765             | 216            | 39,176 |
| 2012 (H 24) | 17,729     | 40,019 | 57,748    | 30,031 | 87,779             | 1,006          | 58,754 |
| 2013 (H 25) | 14,631     | 18,071 | 32,702    | 17,781 | 50,483             | 4,573          | 37,275 |
| 2014 (H 26) | 23,716     | 32,522 | 56,238    | 32,549 | 88,787             | 6,677          | 62,915 |
| 2015 (H 27) | 15,808     | 30,392 | 46,200    | 25,123 | 71,323             | 2,798          | 48,998 |
| 2016 (H 28) | 17,703     | 15,135 | 32,838    | 25,600 | 58,438             | 5,981          | 38,819 |
| 2017 (H 29) | 5,725      | 17,568 | 23,293    | 23,593 | 46,886             | 43             | 23,336 |
| 2018 (H 30) | 14,024     | 13,900 | 27,924    | 22,800 | 50,724             | 2,120          | 30,044 |
| 2019 (R 1)  | 11,532     | 7,208  | 18,740    | 31,261 | 50,001             | 2,348          | 21,088 |
| 2020 (R 2)  | 4,136      | 0      | 4,136     | 15,111 | 19,247             | 0              | 4,136  |



### 3-2. 利用者の声

休館直前2年間の来館者アンケートの自由記述部分に、着目すべき指摘があるので、抜粋して本計画に資するものとする。【 】内は性別・年代。

#### <施設設備関係>

・足悪いので、エレベーターを使いたかった。エレベーターないと不便。

【女性・50代】

・数か所でも椅子がほしかった。高齢者が多いと思う。【女性・70代以上】

・駐車場があればいい。【女性・40代】

・展示は見やすかったのですが、階段しかなかったのが少し大変でした。

【女性・50代】

#### <展示・解説関係>

・常設展は定期的にリニューアルが必要では。基本子供の頃と変わらない。

【男性・50代】

・小学生低・中学年には難しいのかな。と感じた。【男性・50代】

・実際に祭りでつかうお囃子の道具を展示して許可をもらおうと実際に使える体験をやってください！（パンデミック終息後）【男性・10代】

・日本刀が見たい【男性・60代】

・展示品の順序に迷います。【男性・70代以上】

・中世史部分が少ない。津軽為信や南部晴政・信直についてもっと詳しく知りたい。

【男性・20代】

・県って名前だけど、主に津軽のことなんですね。少々差別を感じた。

【女性・20代】

・小さい虫用の拡大するものがあれば便利。古い書体の横に訳文があるものが見えない、読みにくい。【男性・50代】

・常設展は大変満足の内容で、時々来ています。子ども達にも見やすいようにとの配慮だろうとは思いますが、多少中腰で展示物を見る形になり、少々腰が辛いです。壁面の展示物の字等細かくて見えづらいところがあります。【女性・50代】

・見学する順がよくわからず、うろうろしてしまった。【女性・50代】

・順路があるとちょっと見やすかったかもしれません。【女性・40代】

・特に江戸～現代までの人々の生活展示を充実した方が、来館者の興味を引くと思います。

【男性・30代】

・館内を時間ごとに案内説明をしてくれる方が（ガイドさん）いると何倍も楽しく理解できると思いますが、ほぼ、全く意味もよくわからず見たというだけだったのが残念です。

【女性・60代】

#### <教育普及活動関係>

・クイズラリーを毎日やってほしい。【男性・10代】

・土曜セミナーもとても楽しくできました。当日ではなく、事前申し込みだと計画が立てやすいと思いました（遠方なので）。【女性・50代】

・午後から見ると時間が足りなくなるので、館内ツアーでエリアごとの解説付きコースがあると、効率的に見られるかも。何しろくたびれました。13:00～15:30

【女性・60代】

#### <旧館関係>

・五十九銀行を、弘前市のように常時見学可にしてほしい。【男性・50代】

・59銀行のトビラを見る事が出来なくて残念です。外からは光が入ってきれいに見えないのです。【女性・50代】

#### <カフェ・ショップ関係>

・ひと息つく時、名物の軽食があるとうれしい。【女性・50代】

・近くにレストラン・飲食店・喫茶店等何もないので、この展示物だけでは魅力が足りません。せめて、志功館がもう少し近ければ両館はしごできるのでは？季節の野菜・魚・山菜など郷土の産物が、いつでも1Fで買えたら楽しいかも？【女性・60代】

・販売物、売店を設けるべきだと思う。何もないので、記念に買うものがないのは残念です。

【男性・70代以上】

#### <入館料関係>

・60才以上の入館料の割引をお願いしたい。【男性・70代以上】

・東博・京博などは年間パスポートを発行発売しているので、このような年間パスポートを検討して欲しい。【不明・50代】

・この郷土館はなぜシニア料金がないのか??【女性・70代以上】

・入館が少々高いかなと。何故なら地方都市ゆえ所得を考えると。それで文化水準を高めようとするなら。【女性・70代以上】

<その他>

- ・予め見学所要時間を約でお知らせください。【男性・70代以上】
- ・しっかりとしたPRに努めて下さい。【男性・60代】
- ・今日（無料公開日）も無料だったのですが、あまりにも人が少なくてなんだかなあという感じでした。もっともっとPRしてもいいのではないかと思います。1回来てみると、また子どもにゆっくり見せたいと思うので、リピーターは増えるような気がします。【男性・30代】

## 4. 県立博物館として期待される役割等

### ①青森県の文化財等を継承していく博物館

収蔵環境を整えた収蔵庫で文化財等の資料を管理し、後世に継承していく。

また、県民からの資料の寄贈受入を継続して行うなど資料収集を行い、調査研究を通じて青森県を知るモノ・情報・知識の蓄積に努める。

### ②県民の多様な学習ニーズに応える博物館

専門性をもったテーマの調査研究を実施、また、県内外の大学や博物館とネットワークを構築して調査研究を実施し、それを元にした展示会、講演会、学習支援活動を展開する。

### ③青森県について知ることができる博物館

大地の成り立ちから現在までの青森県の通史を、地域に偏りなく展示・紹介。

また、さまざまな自然環境に分布する動植物とそこで営まれている人々の暮らしについて展示・紹介する。

### ④国宝・重文クラスの資料が観覧できる博物館

公開承認施設としての機能を再整備し、国宝や重要文化財を借用した、話題性の高い特別展を開催する。

### ⑤通いたくなる博物館

常に新しい情報を提供するテーマ展示を、定期的に入れ替える形で展示室に設ける。

また、様々な活動やイベント活動で常に活気のある博物館、通いたくなる博物館を目指す。

### ⑥県内博物館施設の中心的役割を担う博物館

青森県の中核的博物館として、県内の博物館施設が相互に協力・連携できるよう博物館ネットワークの中心的役割を担う。

## Ⅱ. 長寿命化の基本方針

### 1. 長寿命化の基本的な考え方

## 郷土青森の多様で豊かな自然・歴史・文化を再発見し、学び、交流する拠点として生まれ変わる

施設の長寿命化に向けた改修を行うとともに、博物館としての将来を見据えた展示・収蔵・交流等の機能を再構築

### 現状（休館前）の問題点

#### ■ 建築本体の老朽化

- ・耐震診断基準の目標値を下回る部分があることが判明。  
(令和2年10月から休館)
- ・設備の耐用年数を超えており老朽化が著しい。

#### ■ 浸水対策が必要

- ・津波浸水想定範囲に入っており、最大3.0m~5.0mの浸水が予想される。(展示室、収蔵庫、機械室が浸水範囲内に存在)

#### ■ 展示の老朽化・陳腐化

- ・古くなった展示情報、陳腐化した展示手法が利用者の知的好奇心を満たしていない。
- ・実来館者数が減少基調にある。

#### ■ 収蔵スペースの不足

- ・現状で収蔵庫が満載となっており、資料の一部を収蔵庫外に保管せざるを得ない状態。
- ・年々増えていく収蔵資料に対し収蔵スペースが不足。

### 長寿命化による課題の解決

#### 1.耐震補強を行い、建物の長寿命化を図るとともに安全性を担保する。施設設備の全面改修に伴い、室の配置や動線を再構築し、より活用しやすい施設となる。

- 浸水対策として、展示・収蔵等の文化財を置くエリアと機械室を2F以上に配置する。
- エレベーター、スロープ、誰でもトイレなどの設置によりバリアフリー化を行い、誰もが利用しやすくする。
- 浸水対策により空いた1Fは、県民や観光客など誰もが気軽に立ち寄って楽しめるフリーゾーンとし、交流やにぎわいを創出する。
- 保存環境、資料動線などを見直し、現行基準で文化庁公開承認施設として十分でない点を解消する。
- 管理部門と学芸部門の職員の執務室を集約することにより管理ゾーンを合理化し、組織マネジメント体制の強化を図る。

#### 2.展示の全面リニューアルを行い、青森の独自性や魅力を伝える。

- 青森の自然・歴史・民俗を総合した展示ストーリーで郷土青森をとらえなおし、青森の多様な魅力を多面的に伝える。
- AR・VR等の先進的技術や非接触型情報端末など時勢を反映した展示手法を検討する。
- 特別展示室は文化財の展示に適した環境とすることで、より話題性・発信力のある特別展示を開催する。

#### 3.収蔵面積の充足と保存環境の改善を図る。

- 青森県の貴重資料を保管し、次世代に継承していくため、収蔵面積を拡充。将来の収集活動を見込んだ収蔵面積を確保する。
- 前室、二重壁、空調設備等により、文化財の収蔵に適した保存環境を再整備する。
- 搬入ヤード、作業室等の収蔵関連諸室は、文化財IPM及び資料動線に配慮し、施設内再配置を実施する。

### Ⅲ. 施設整備

#### 1. 建築改修の考え方

現状（休館前）

##### 1-1. 現状（休館前）の状況

###### ①建物

- ・ B、C、D棟は耐震診断により耐力不足と判定されており、耐震補強が必要。
- ・ 地階と1階は浸水の可能性があり、展示・収蔵など文化財を置く室および機械室は配置できない。
- ・ 設備の老朽化により全面改修が必要。

###### ②供用部（エントランスホール等）

- ・ 入口から入ってすぐに発券・モギリがあり、フリーゾーンはない。
- ・ 来館者エレベーターがない。
- ・ 来館者トイレが不足。

###### ③展示関連

- ・ 特別展示室：1階にあるため浸水リスクが高い。  
空調設備がないため、博物館資料に適した温湿度管理が困難。
- ・ 常設展示：展示情報が古く、展示手法が陳腐化。
- ・ 来館者動線と管理動線が交差している。

###### ④収蔵関連

- ・ 既存収蔵庫がほぼ満載となっており、一部資料を収蔵庫外に保管せざるを得ない状況。  
また、過密収蔵により一部資料の安全な出し入れに支障をきたしている。
- ・ 収集活動のための将来スペースがない。
- ・ 収蔵場所によっては前室・二重壁の計画がない。
- ・ 空調設備がない等、安定した保存環境の確保が困難な状況。
- ・ 館内に収蔵スペースが分散しており、資料動線と来館者動線の交差が生じている。  
資料の移動や文化財IPMにかかる運営負担が大きい。
- ・ 借用資料のための一時保管庫がない。
- ・ 搬入ヤードの天井が低く、大型トラックが入れない。

###### ⑤管理ゾーン

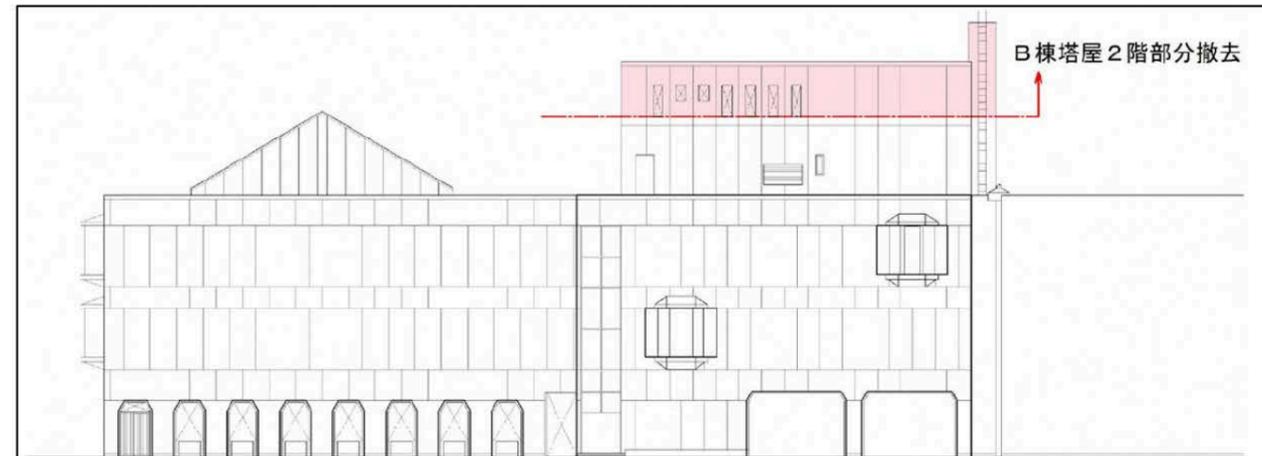
- ・ 室が離れているためコミュニケーションがとりにくい。  
会議室が不足。



1-2. 既存棟の耐震補強について

<各棟の耐震改修モデル>

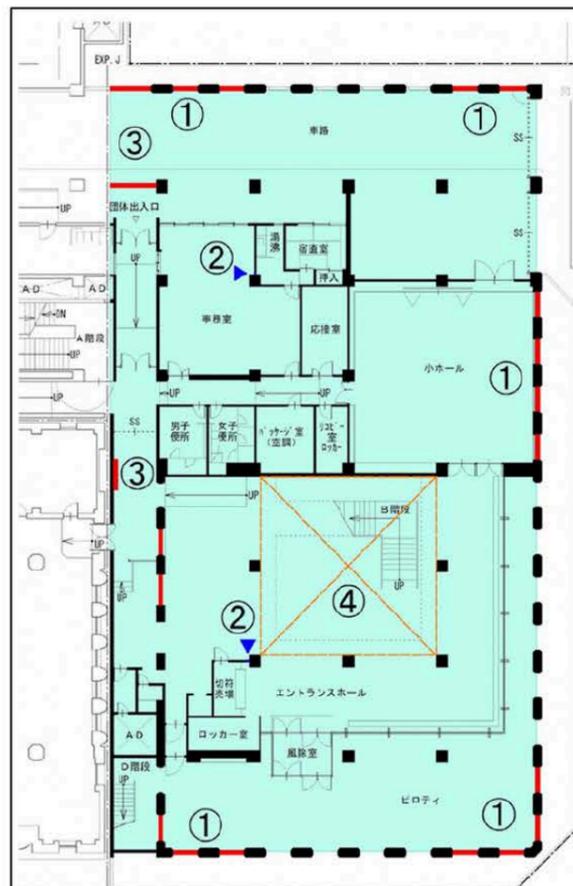
令和2年度の耐震診断結果を踏まえ、耐震診断により耐力不足と判定されたB、C、D棟について必要とされる耐震安全性を満足する改修方法について、それぞれの棟ごとに各補強工事案を提案する。



北側立面図

◆B棟

B棟の耐力不足部分は「塔屋1階Y方向」であったため、塔屋2階部分を減築し、耐震性を向上させる。これに伴い、煙突の解体、屋上防水の改修が必要となる。



C棟 1階平面図

— RC造耐震壁新設  
▶ 耐震スリット施工

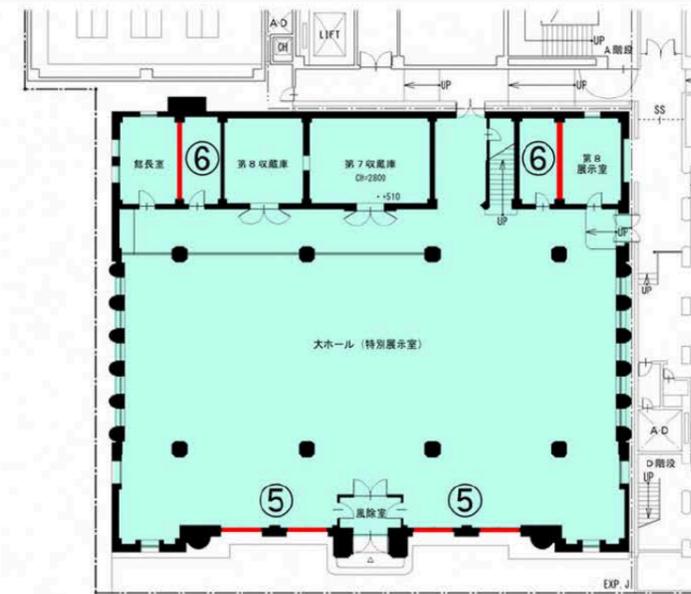
◆C棟

C棟は「1階部分のX及びY方向」で下階壁抜け柱と耐力不足の影響により目標値を下回る結果となった。

また、トップライト鉄骨梁はアンカーボルト耐力の不足、2m以上の片持ち梁は、曲げ及びせん断に対し耐力が不足し、補強が必要となった。

C棟に関しては以下の補強案を採用する。

- ①各方向の外周部開口に、耐震壁(厚20cm)を新設する。
- ②事務室～湯沸室間と切符売り場の壁に、スリットを設ける。
- ③片持ち梁下部に支持壁を新設する。
- ④吹抜部トップライトは鉄骨梁と共に撤去し、現行の積雪荷重を負担できる梁を新設する。屋根鉄骨の柱脚は新たに鉄筋コンクリート基礎を打設する。屋根の軽量化・結露防止のため、既存ガラス屋根ではなく、ガルバリウム鋼板葺の屋根に変更する。



D棟 1階平面図

— RC造耐震壁新設

◆D棟

D棟は耐震診断の結果、X方向1階の偏心率の影響により、Y方向1階で耐力不足となり目標値を下回る結果となった。D棟は登録有形文化財に指定されているため、外観の変更が伴う改修は行うことができないため、以下の補強案を採用する。

- ⑤南側の開口部に厚さ30cmのRC造耐震壁を設置する。
- ⑥館長室と第8展示室に厚さ20cmのRC造耐震壁を設置する。  
1階南面の開口部が耐力壁により閉鎖されるため、現状と同様の建具を装飾窓として設置し、登録有形文化財としての外観を保持させる。

### 1-3. 既存棟の大規模改修について

既存棟は、耐震補強・断熱性能の向上化を行うため、躯体以外の内装仕上材はほぼ全面撤去となることから、工事については基本的に全館無人改修工事とする。

電気・機械設備は、機器及び配線・配管が既に耐用年数を超えているため、基本的に全面更新とする。

耐震補強・大規模改修工事の着工前に収蔵品・備品等は全て館外へ退避する。

なお、法適合性に関する課題については、長期にわたって使用する公共建築物の安全性の確保のため可能な限り解消を図ることとし、具体的な対応については、博物館としての機能の担保の観点も踏まえながら設計段階において改めて整理する必要がある。

#### <文化庁からの指導事項>

文化庁協議により、公開承認施設再認定のために下記の指摘事項に対応する。

- 1) 構造耐震判定指標値を確保した耐震診断補強計画を再検討。
- 2) 収蔵庫
  - ・前室を設置。
  - ・外壁側の壁は二重壁の設置。
  - ・収蔵庫内装の防湿・調湿仕様の確保。
  - ・収蔵庫扉の防犯・耐火・断熱気密性能の確保。
  - ・収蔵什器の現行基準への準拠（棚の強度・落下防止対策を含めた耐震性能の確保、文化財有害ガス対応等）
- 3) 燻蒸室の対応
- 4) 収蔵庫温湿度条件
  - ・一時保管庫は収蔵品に対応し調整可能な恒温恒湿環境の確保。
  - ・その他収蔵庫については21℃、55%を目標とした恒温恒湿の確保。
- 5) 展示室
  - ・エアタイト展示ケース等による適正な温湿度環境が維持できること。
  - ・展示室の恒温恒湿空調の確保。
- 6) 屋上陸屋根防水の強化
  - ・最上階の収蔵庫に配慮し確実な防水性と断熱性を確保するため、表層の補修ではなく既存保護コンクリートを撤去の上、断熱防水を行うこと。
- 7) 書庫の確保（D棟2階部分）
  - ・貴重な書籍を保存するため、浸水被害のない部分に書庫を確保すること。

8) トラックヤード

- ・博物館専用トラックが入庫できる開口・天井高さを確保すること。

9) C棟1階部分に教育普及活動等のフリースペースとして活用の検討。

10) D棟1階部分を普及活動等のためのホールとして活用する。

<改修方針>

①建築工事

a. 屋根改修工事

- ・既存屋上部：既存防水層・防水押え撤去、下地調整の上、アスファルト保護断熱防水仕上
- ・アルミ製笠木・E X P. J・タラップ等：撤去の上新設
- ・トップライト部：鉄骨部共撤去、鉄骨小屋組・屋根下地及び仕上新設（断熱材吹付）

b. 外壁改修工事

- ・外壁：既存塗膜及び下地の劣化部除去の上、サンドセラミック調装飾仕上塗
- ・外部ひび割れ部：エポキシ樹脂注入工法等による改修
- ・打継目地：シーリング撤去の上打ち直し
- ・石材：再生研磨処理

c. 外部建具改修工事

- ・アルミ製建具：撤去の上新設 (Low-E 複層ガラス)
- ・電動シャッター：撤去の上新設

d. 内部建具工事

- ・鋼製建具（防火戸を含む）：撤去の上新設
- ・展示エリア：自動ドア設置により空調設備の効率化
- ・平面プラン変更による新規建具の設置
- ・既存トイレブース等の更新（個室広さの見直し）
- ・収蔵庫（前室）：耐火・防犯性、断熱気密性等に優れた収蔵庫専用扉へ改修

e. 内装改修工事

- ・床仕上：フローリングブロック (D棟大ホール)：サンダー掛けの上ウレタン樹脂ワニス塗  
タイルカーペット：撤去の上新設  
ビニル系床材：撤去・下地調整の上新設
- ・壁仕上：外壁面 仕上・下地共撤去の上 L G S 下地 強化石膏ボード E P  
（室内環境保持のため二重壁の構築）  
内部コンクリート壁 既存塗膜の除去下地調整の上 吹付タイル  
ひび割れ部：エポキシ樹脂注入工法等による改修  
内部新設壁 J G S 下地 強化石膏ボード E P（遮音構造）

※2階特別展示室は、外壁側は二重壁とする。

・天井仕上：既存天井仕上（軽鉄下地共）撤去の上、新設（岩綿吸音板・化粧石膏ボード等）

※既存天井仕上一部にアスベスト含有材があるため適正に処理を行う。

・収蔵庫：共通で原則二重壁（二重床）構造とし、断熱性、不透湿性（気密性）、調湿性に優れた仕様とする。（軽量鉄骨下地＋断熱材＋不透湿パネル＋調湿ボード等）

f. 内部雑工事：展示用什器・館内サイン・カウンター等のリニューアル

g. その他

・多目的トイレ新設・一般観覧者用エレベーターの新設等によるバリアフリー化

・1階トイレのリニューアル

・断熱改修：外部に面する躯体壁面及び最上階スラブ下に現場発泡ウレタン吹付

h. 外構改修工事

・アスファルト舗装、白線引き、側溝、屋外掲示板、館名文字、サイクルラック

## ②電気設備工事

a. 電灯設備工事

・一般照明器具、コンセント、ケーブル、電灯盤等の全面的な更新。

・展示物のレイアウトに合わせ照明の調整が出来るようにライティングダクトを設置する。

・一般共用系と展示系の電灯盤は別盤とし、メンテナンス等で干渉しないように区分する。

b. 動力設備工事

・館内空調機器の更新に伴い、対応した電源の供給を行う。

c. 受変電設備工事

・キュービクル型受変電設備に更新する。

・津波対策として増築棟2階電気室に設置。

d. 発電設備工事

・キュービクル型非常用発電機に更新する。

・津波対策として増築棟2階電気室に設置。

・恒温恒湿が求められる特別展示室及び収蔵庫の空調機器を3日間稼働させるためのオイルタンクを設置。

e. 構内交換設備工事

・事務室ほかバックヤードへの電話機の設置。

f. 構内情報通信網設備工事

・館内LAN及び無線LANの整備。

g. 誘導支援設備工事

- ・多目的トイレの呼び出し機器、障がい者用インターホン、通用ロインターホンの設置。

h. 監視カメラ設備工事

- ・館内への監視カメラの設置。

i. 情報表示設備工事

- ・館内への電気時計の設置。
- ・展示物の案内・情報表示のために各所にデジタルサイネージを設置。

j. テレビ共同受信設備工事

- ・受信する電波は原則として地上波及び衛星放送とする。

k. 拡声設備工事

- ・来館者の安全に配慮し非常放送を設置。(消防法上の任意設置)

l. 音響設備工事

- ・展示部分への音響装置の設置。

m. 自動火災報知設備工事

- ・消防法に準拠した感知器の設置。

### ③機械設備工事

a. 空気調和設備工事

- ・空調設備は展示室・収蔵室の室内環境を年間を通じて適正に保ち、資料の保護に配慮してエリアごとに24時間運転・温湿度調整が可能なシステムを導入する。

○熱源設備：冷温水熱源及び加湿用蒸気は年間を通じて供給。

- ・冷温水熱源機器は空冷ヒートポンプ式チラーユニットを採用し、維持管理とランニングコストの低減に配慮。
- ・空調機ごとに加湿用蒸気熱源機器として電熱式蒸気発生器を採用。
- ・事務室・執務室等一般系統には、個別制御による空冷ヒートポンプ式マルチエアコン(寒冷地用)を採用。
- ・屋外機器は防雪フード取付、適正な架台高さの選定により積雪による弊害に配慮。

○空調換気設備：各室の用途・温湿度条件・運転時間を考慮したゾーニング計画とする。

- ・恒温恒湿機能が必要な特別展示室・収蔵庫にはエアハンドリングユニットによる単一ダクト方式を採用。
- ・加湿用補給水系統には、イオン交換式自動再生型の軟水装置を採用。
- ・一般展示室は、空調機器からの騒音に配慮し、空調系ダクトには消音装置を採用。
- ・事務室・執務室等一般系統の換気には全熱交換ユニットを採用。

○自動制御設備

- ・展示室・収蔵室の最適環境の確保を考慮した制御機能・管理機能を採用。
- ・各室ごとに運転時間・温湿度制御が可能、省エネルギー効率のよい運転管理が可能な制御システムを構築。
- ・各室の測温・測湿を行い、中央監視室の監視盤にて機器の運転制御の集中管理を行う。

b. 給排水衛生設備工事

○衛生器具設備：利便性・節水性及び清掃性が良い衛生器具の採用。（寒冷地仕様）

多目的トイレはオストメイト対応の器具構成。

○給水設備：ポンプ直送方式の採用。

○排水設備：屋内排水を分流式とし、屋外で合流して公共下水道に直放流する。

○給湯設備：局所給湯方式を採用し、個別に貯湯式電気温水器を設置、配管による熱ロスを低減。

○消火設備：収蔵室・特別展示室には展示物・資料に火災による損害を与えないガス系消火設備（窒素）を採用。

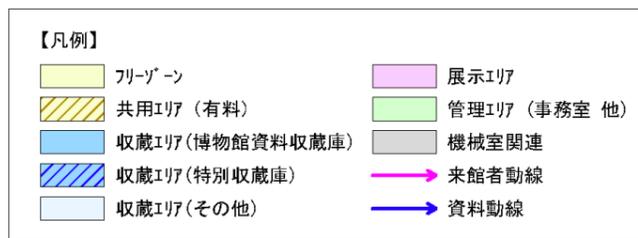
1-4. 新築棟の規模と諸室配置等について

<計画案>

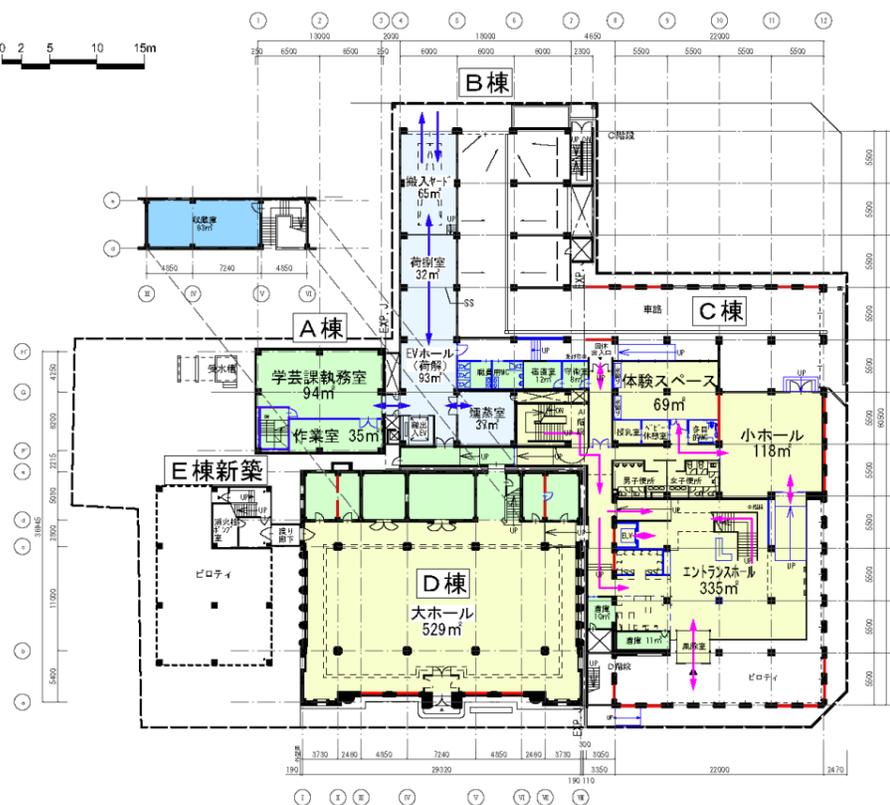
計画案

① 展示エリア

- ・展示室は浸水リスクを避けるため2階以上に設置する。
- ・特別展示室：屋根から温熱負荷や漏水リスクを避けた2階に設置。
- ・常設展示：展示ストーリー、手法ともに全面リニューアル。  
既存の吹き抜け空間を活かした展示演出とする。

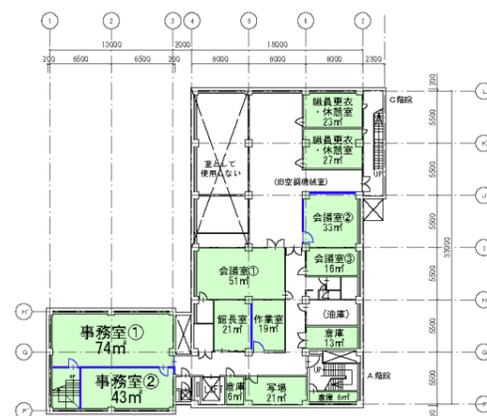


scale 0 2 5 10 15m



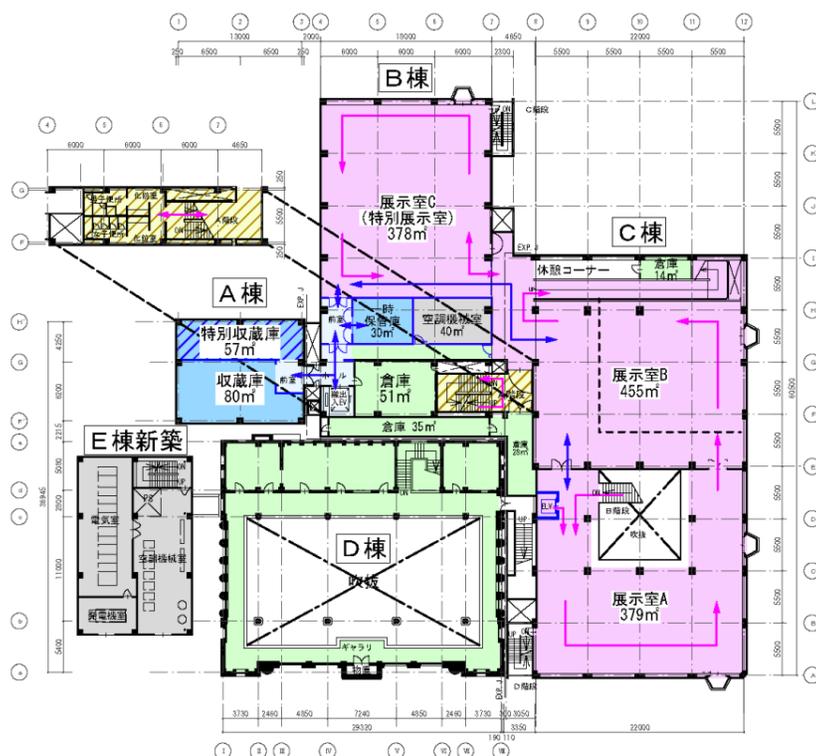
② 収蔵エリア

- ・収蔵庫は浸水リスクを避けるため2階以上に設置する。
- ・温湿度が安定しにくい部屋、雨漏り等リスクの高い部屋は倉庫とする等、収蔵関連室を再配置。
- ・展示室の一部を収蔵庫とする。特別展示室に隣接して借用資料用の一時保管庫を設ける。
- ・資料動線と来館者動線の交差をなくす。
- ・前室、二重壁により文化財の保存に適した環境へ再整備。
- ・資料動線に沿って作業室、燻蒸室等を設ける。



③ フリーゾーン

- ・集客につながるスペースとしてC棟1階に体験スペース、小ホール、D棟1階に大ホールなど利活用できる設備を整備する。
- ・D棟1階の大ホールにはカフェなど、利用者の利便を高める機能を整備する。

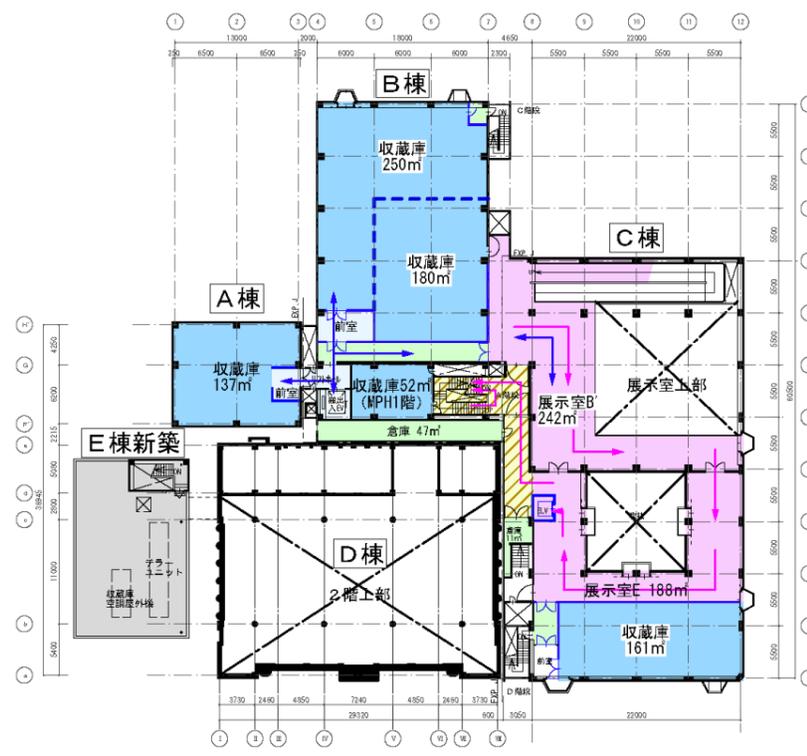


④ 管理エリア

- ・事務室や学芸員室を近接して配置することにより運営スタッフの動線を合理化し、コミュニケーションを円滑にする。

⑤ 機械室

- ・浸水リスクを避けるため2階以上に設置する。



<面積表>

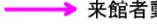
現状（休館前）、計画案について諸室面積を比較 ※小数点以下は四捨五入

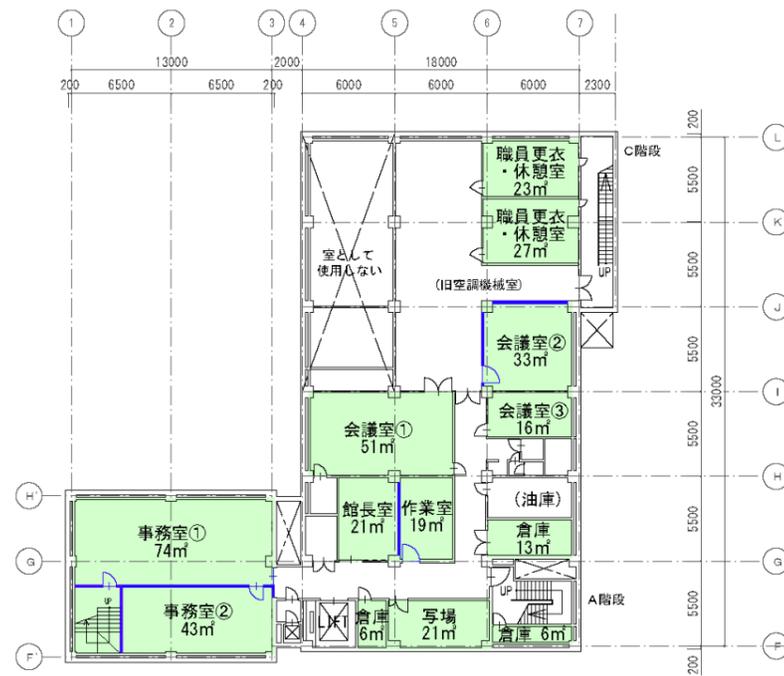
| 部門・諸室等名称               |    |               | 既存                         | 計画案                        | 備考                           |
|------------------------|----|---------------|----------------------------|----------------------------|------------------------------|
| <b>共用エリア（有料）</b>       |    |               | <b>467 m<sup>2</sup></b>   | <b>0 m<sup>2</sup></b>     |                              |
| 1F                     | C棟 | エントランスホール     | 349 m <sup>2</sup>         | -                          |                              |
| 1F                     | C棟 | 小ホール          | 118 m <sup>2</sup>         | -                          |                              |
| <b>フリーゾーン</b>          |    |               | <b>0 m<sup>2</sup></b>     | <b>1,051 m<sup>2</sup></b> |                              |
| 1F                     | C棟 | エントランスホール     | -                          | 335 m <sup>2</sup>         |                              |
| 1F                     | C棟 | 小ホール          | -                          | 118 m <sup>2</sup>         |                              |
| 1F                     | C棟 | 体験スペース        | -                          | 69 m <sup>2</sup>          |                              |
| 1F                     | D棟 | 大ホール          | -                          | 529 m <sup>2</sup>         |                              |
| <b>展示エリア</b>           |    |               | <b>2,954 m<sup>2</sup></b> | <b>1,642 m<sup>2</sup></b> |                              |
| 1F                     | D棟 | 特別展示室（大ホール）   | ( 451 m <sup>2</sup> )     | -                          | (〇〇m <sup>2</sup> )は特別展示室を示す |
| 1F                     | D棟 | 展示室（現 第8展示室）  | 31 m <sup>2</sup>          | -                          |                              |
| 2F                     | C棟 | 展示室A          | 406 m <sup>2</sup>         | 379 m <sup>2</sup>         |                              |
| 2F                     | C棟 | 展示室B          | 457 m <sup>2</sup>         | 455 m <sup>2</sup>         |                              |
| 2F                     | B棟 | 展示室C          | 495 m <sup>2</sup>         | ( 378 m <sup>2</sup> )     | (〇〇m <sup>2</sup> )は特別展示室を示す |
| 3F                     | C棟 | 展示室B'         | 242 m <sup>2</sup>         | 242 m <sup>2</sup>         |                              |
| 3F                     | B棟 | 展示室D          | 495 m <sup>2</sup>         | -                          |                              |
| 3F                     | C棟 | 展示室E          | 377 m <sup>2</sup>         | 188 m <sup>2</sup>         |                              |
| <b>収蔵エリア（博物館資料収蔵庫）</b> |    |               | <b>816 m<sup>2</sup></b>   | <b>1,010 m<sup>2</sup></b> |                              |
| B1F                    | A棟 | 収蔵庫（現 第1収蔵庫）  | 146 m <sup>2</sup>         | -                          |                              |
| 1F                     | A棟 | 収蔵庫（現 第2収蔵庫）  | 148 m <sup>2</sup>         | -                          |                              |
| 1F                     | D棟 | 収蔵庫（現 第7収蔵庫）  | 38 m <sup>2</sup>          | -                          |                              |
| 1F                     | D棟 | 収蔵庫（現 第8収蔵庫）  | 25 m <sup>2</sup>          | -                          |                              |
| M2F                    | D棟 | 収蔵庫（現 第6収蔵庫）  | -                          | 63 m <sup>2</sup>          |                              |
| 2F                     | A棟 | 収蔵庫（現 第3収蔵庫）  | 148 m <sup>2</sup>         | 137 m <sup>2</sup>         |                              |
| 2F                     | B棟 | 収蔵庫（現 収蔵庫(6)） | 29 m <sup>2</sup>          | -                          |                              |
| 2F                     | B棟 | 美術庫           | 35 m <sup>2</sup>          | -                          |                              |
| 2F                     | B棟 | 一時保管庫         | -                          | 30 m <sup>2</sup>          |                              |
| 2F                     | B棟 | 収蔵庫           | -                          | -                          |                              |
| 2F                     | E棟 | 収蔵庫           | -                          | -                          |                              |
| 3F                     | A棟 | 収蔵庫（現 第4収蔵庫）  | 148 m <sup>2</sup>         | 137 m <sup>2</sup>         |                              |
| 3F                     | B棟 | 収蔵庫（現 収蔵庫(5)） | 47 m <sup>2</sup>          | -                          |                              |
| 3F                     | B棟 | 収蔵庫           | -                          | 430 m <sup>2</sup>         |                              |
| 3F                     | C棟 | 収蔵庫           | -                          | 161 m <sup>2</sup>         |                              |
| 3F                     | E棟 | 収蔵庫           | -                          | -                          |                              |
| MPH1                   | B棟 | 自然資料室         | 52 m <sup>2</sup>          | 52 m <sup>2</sup>          |                              |
| <b>収蔵エリア（その他）</b>      |    |               | <b>200 m<sup>2</sup></b>   | <b>227 m<sup>2</sup></b>   |                              |
| 1F                     | B棟 | 搬入ヤード         | 65 m <sup>2</sup>          | 65 m <sup>2</sup>          |                              |
| 1F                     | B棟 | 荷捌き           | 32 m <sup>2</sup>          | 32 m <sup>2</sup>          |                              |
| 1F                     | B棟 | 荷解き           | 66 m <sup>2</sup>          | 93 m <sup>2</sup>          |                              |
| 1F                     | B棟 | 消毒室・燻蒸室       | 37 m <sup>2</sup>          | 37 m <sup>2</sup>          |                              |

| 部門・諸室等名称     |    |              | 既存                       | 計画案                        | 備考                           |
|--------------|----|--------------|--------------------------|----------------------------|------------------------------|
| <b>管理エリア</b> |    |              | <b>676 m<sup>2</sup></b> | <b>1,171 m<sup>2</sup></b> |                              |
| B1F          |    | 管理エリア        | 47 m <sup>2</sup>        | 353 m <sup>2</sup>         |                              |
| B1F          |    | 図書室          | ( 41 m <sup>2</sup> )    | -                          | (〇〇m <sup>2</sup> )は書庫エリアを示す |
| 1F           | A棟 | 管理エリア        | -                        | 129 m <sup>2</sup>         |                              |
| 1F           | B棟 | 管理エリア        | 20 m <sup>2</sup>        | 20 m <sup>2</sup>          |                              |
| 1F           | C棟 | 管理エリア        | 98 m <sup>2</sup>        | 21 m <sup>2</sup>          |                              |
| 1F           | D棟 | 管理エリア        | 32 m <sup>2</sup>        | 152 m <sup>2</sup>         |                              |
| M2F          | D棟 | 収蔵庫（現 第6収蔵庫） | ( 63 m <sup>2</sup> )    | -                          | (〇〇m <sup>2</sup> )は書庫エリアを示す |
| 2F           | B棟 | 管理エリア        | 51 m <sup>2</sup>        | 114 m <sup>2</sup>         |                              |
| 2F           | C棟 | 管理エリア        | 14 m <sup>2</sup>        | 14 m <sup>2</sup>          |                              |
| 2F           | D棟 | 管理エリア        | 130 m <sup>2</sup>       | 130 m <sup>2</sup>         |                              |
| 2F           | E棟 | 管理エリア        | -                        | -                          |                              |
| 2F           | D棟 | 回廊           | 180 m <sup>2</sup>       | 180 m <sup>2</sup>         |                              |
| 3F           | B棟 | 管理エリア        | -                        | 47 m <sup>2</sup>          |                              |
| 3F           | C棟 | 管理エリア        | -                        | 11 m <sup>2</sup>          |                              |

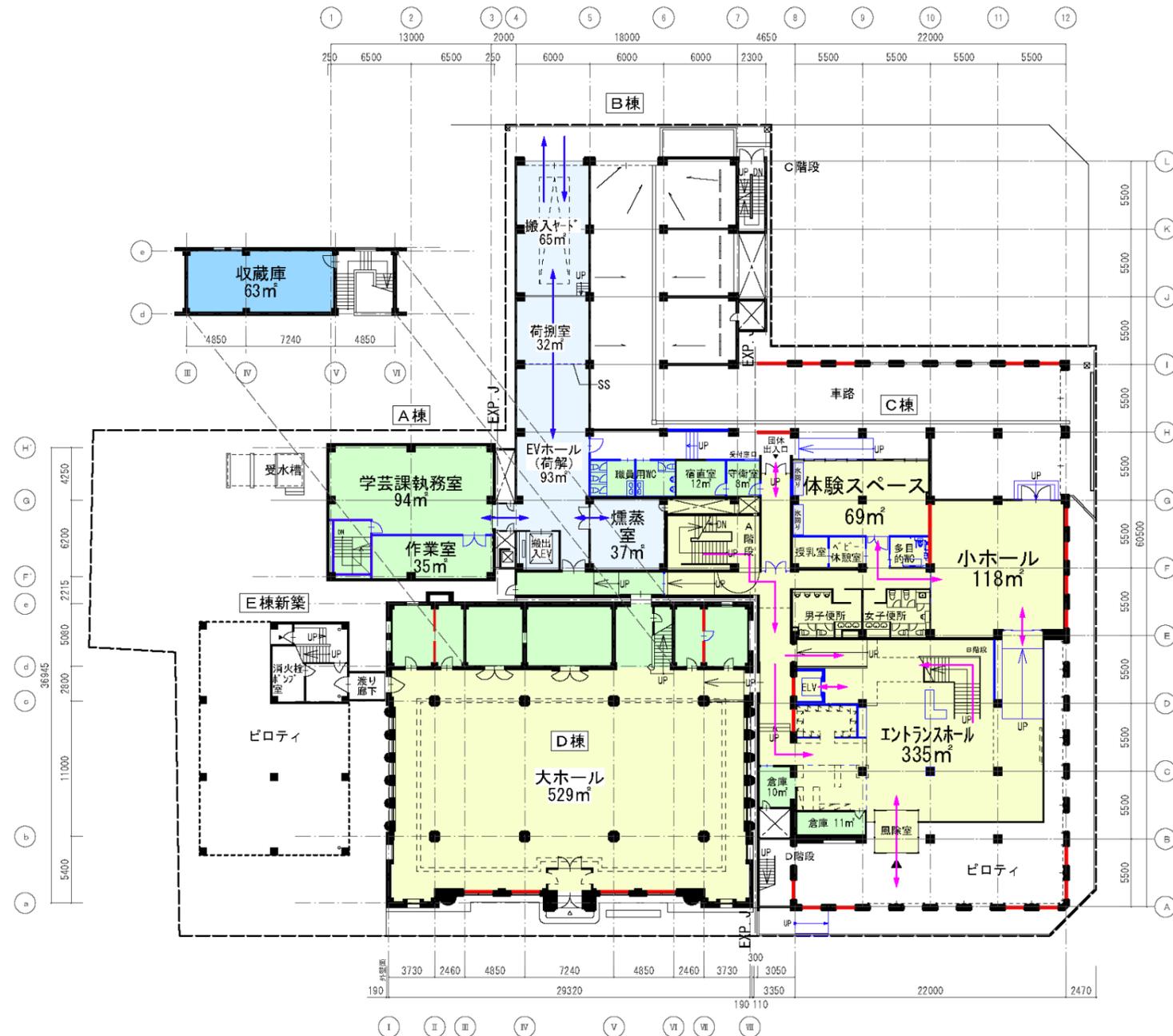
<B1F・1F 平面図>

【凡例】

|   |                  |   |               |
|---|------------------|---|---------------|
|  | フリーゾーン           |  | 展示エリア         |
|  | 共用エリア (有料)       |  | 管理エリア (事務室 他) |
|  | 収蔵エリア (博物館資料収蔵庫) |  | 機械室関連         |
|  | 収蔵エリア (特別収蔵庫)    |  | 来館者動線         |
|  | 収蔵エリア (その他)      |  | 資料動線          |

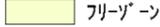
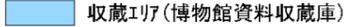
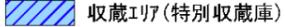
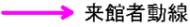


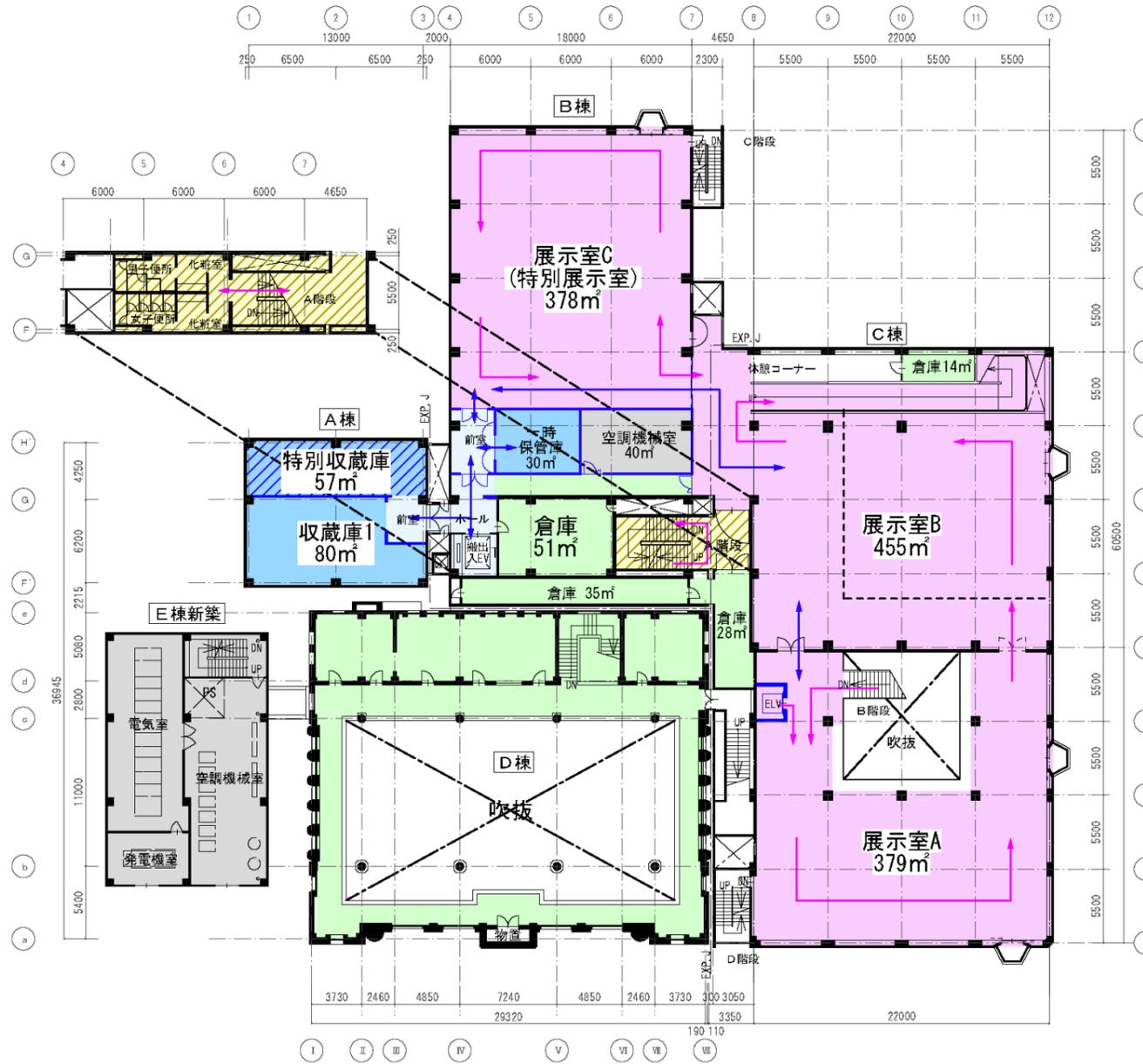
B1F 平面図



1F 平面図

< 2F 平面図 >

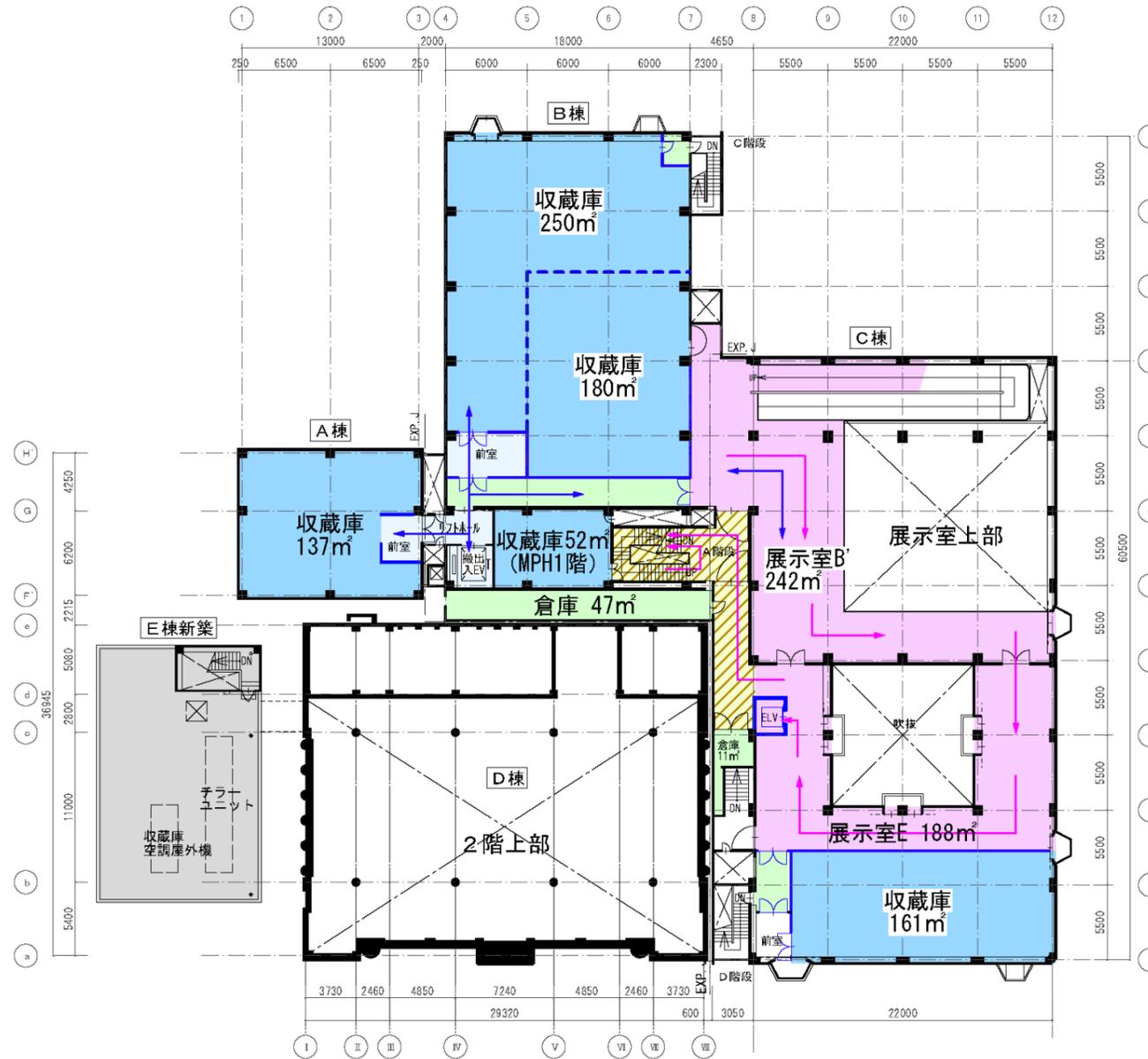
| 【凡例】  |                  |   |               |
|---|------------------|---|---------------|
|  | フリーゾーン           |  | 展示エリア         |
|  | 共用エリア (有料)       |  | 管理エリア (事務室 他) |
|  | 収蔵エリア (博物館資料収蔵庫) |  | 機械室関連         |
|  | 収蔵エリア (特別収蔵庫)    |  | 来館者動線         |
|  | 収蔵エリア (その他)      |  | 資料動線          |



2F 平面図

< 3F 平面図 >

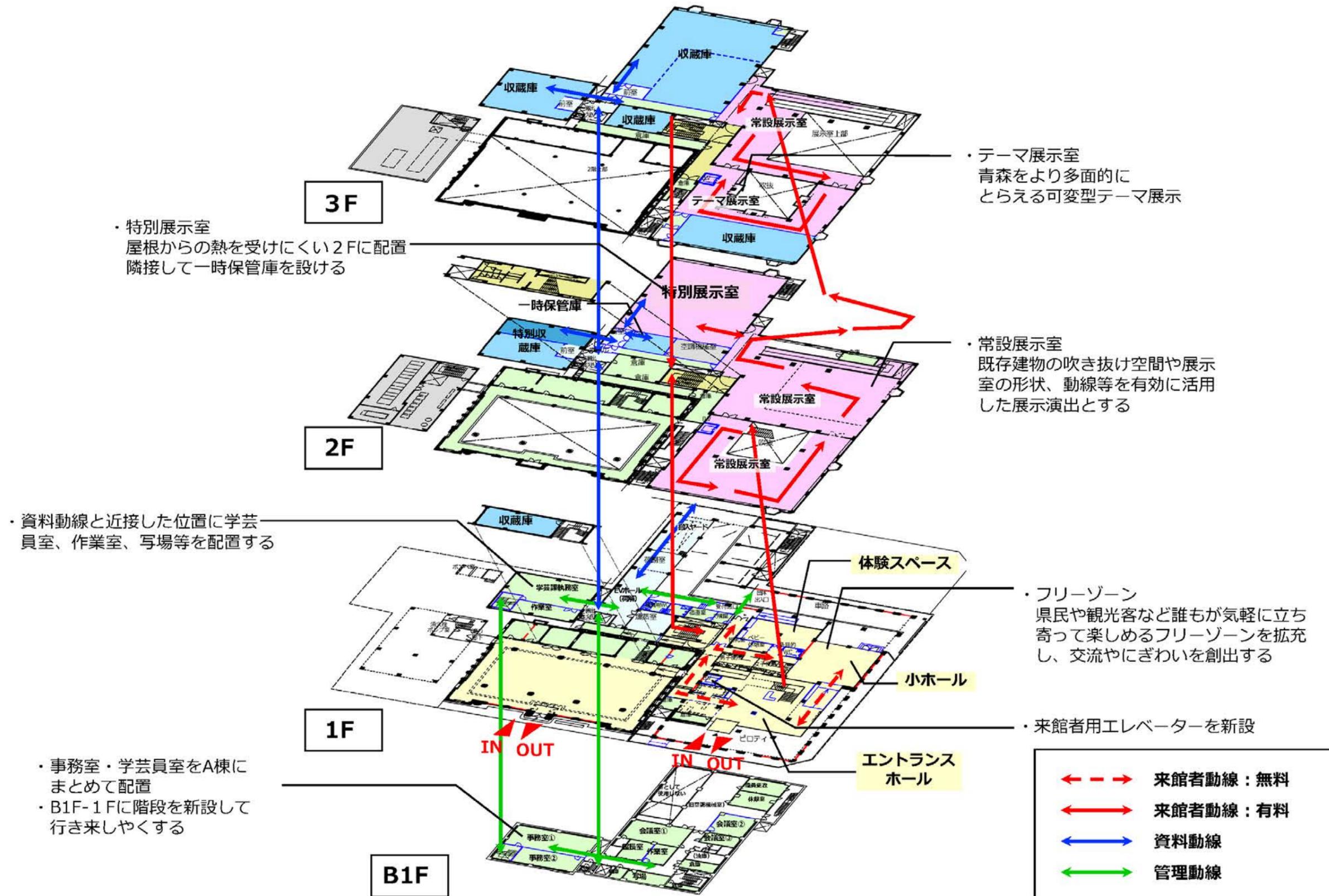
| 【凡例】  |                  |
|---|------------------|
|  | フリーゾーン           |
|  | 共用エリア (有料)       |
|  | 収蔵エリア (博物館資料収蔵庫) |
|  | 収蔵エリア (特別収蔵庫)    |
|  | 収蔵エリア (その他)      |
|  | 展示エリア            |
|  | 管理エリア (事務室 他)    |
|  | 機械室関連            |
|  | 来館者動線            |
|  | 資料動線             |



3F 平面図

＜全体諸室配置・動線＞

フリーゾーン、展示、収蔵、管理ゾーンそれぞれをまとめたゾーニングとすることで、来館者動線、資料動線、管理動線の交差を減らす。



## IV. 収蔵

### 1. 資料収集・管理

#### 1-1. これまでの資料収集活動

資料の寄贈希望の申し入れを受け、その資料の調査を行い、資料収集方針と合致する資料について資料受入判定会議に諮り、審議結果に応じて資料を受け入れてきた。

また、販売（取引）されている県内関連資料の中で、調査研究や展示に活用できるものについては、資料受入判定会議、資料購入評価委員会を経て、審議結果に応じて資料を公費で購入してきた。

令和3年度末における所蔵資料数は99,805点で、その内訳は考古資料が18,833点、歴史資料が25,948点、民俗資料が9,878点、自然資料が45,146点となっている。点数的には民俗分野が少なく、自然分野が多いが、個々の資料の大きさでは民具を中心とした民俗資料は大きく、昆虫や植物標本を中心とした自然資料は小さいため、民俗資料は広い収蔵スペースを必要としている。

#### 1-2. 郷土館の指定文化財一覧

館蔵のものと寄託を受けているものがある。寄託資料は、所有者が自身で資料を保存・管理することが難しく、博物館のような保存環境が整った施設で預かってほしいと申し入れがあった場合に、寄贈資料と同様の手続きを経て受け入れる。

#### ① 国指定等

##### ア 重要文化財

- ・青森県宇鉄遺跡出土品（556箇）
- ・青森県大石平遺跡出土品一括（198箇）

##### イ 重要有形民俗文化財

- ・泊のまるきぶね（1隻）
- ・津軽・南部のさしこ着物（786点）※寄託

##### ウ 重要美術品

- ・徳川家康自筆日課念仏（1巻）※寄託

##### エ 登録有形文化財

- ・青森県立郷土館（旧青森銀行本店）※建造物

#### ② 県指定

（県重宝）

- ・亀ヶ岡式壺形丹漆塗土器（1個）
- ・縄文式土偶（1個）
- ・縄文式注口土器（1個）
- ・漆塗壺形土器（1個）
- ・勾玉（1個）
- ・亀ヶ岡遺跡出土品（風韻）（60点）
- ・縄文土器（狩猟文土器）（1点）
- ・細隆起線文尖底深鉢形土器（1点）
- ・日本刀無銘（伝備中古青江貞次作）（1口）
- ・陸奥国津軽郡之絵図（正保国絵図写）（1）
- ・菅江真澄筆「外浜奇勝」（1冊）
- ・大平山元 I 遺跡出土品（81点）
- ・亀ヶ岡式壺形彩色土器（1個）
- ・亀ヶ岡式壺形羽状縄文土器（1個）
- ・亀ヶ岡式浅鉢形台付土器（1個）
- ・蕨手刀（1口）
- ・縄文式尖底土器（1個）※寄託
- ・棟札（1枚）※寄託
- ・木造舞楽面・木造能面（10面）※寄託
- ・鰐口・木造舞楽面・龍頭（17点）※寄託

### 1-3. 今後の収集方針

これまでの収集方法を踏襲していく。

新たに受け入れる資料の保管については、館内の収蔵庫への収納が難しくなることも考えられるため、すでに収蔵されている資料も含め館外の収蔵施設での収納・管理について検討を進める。

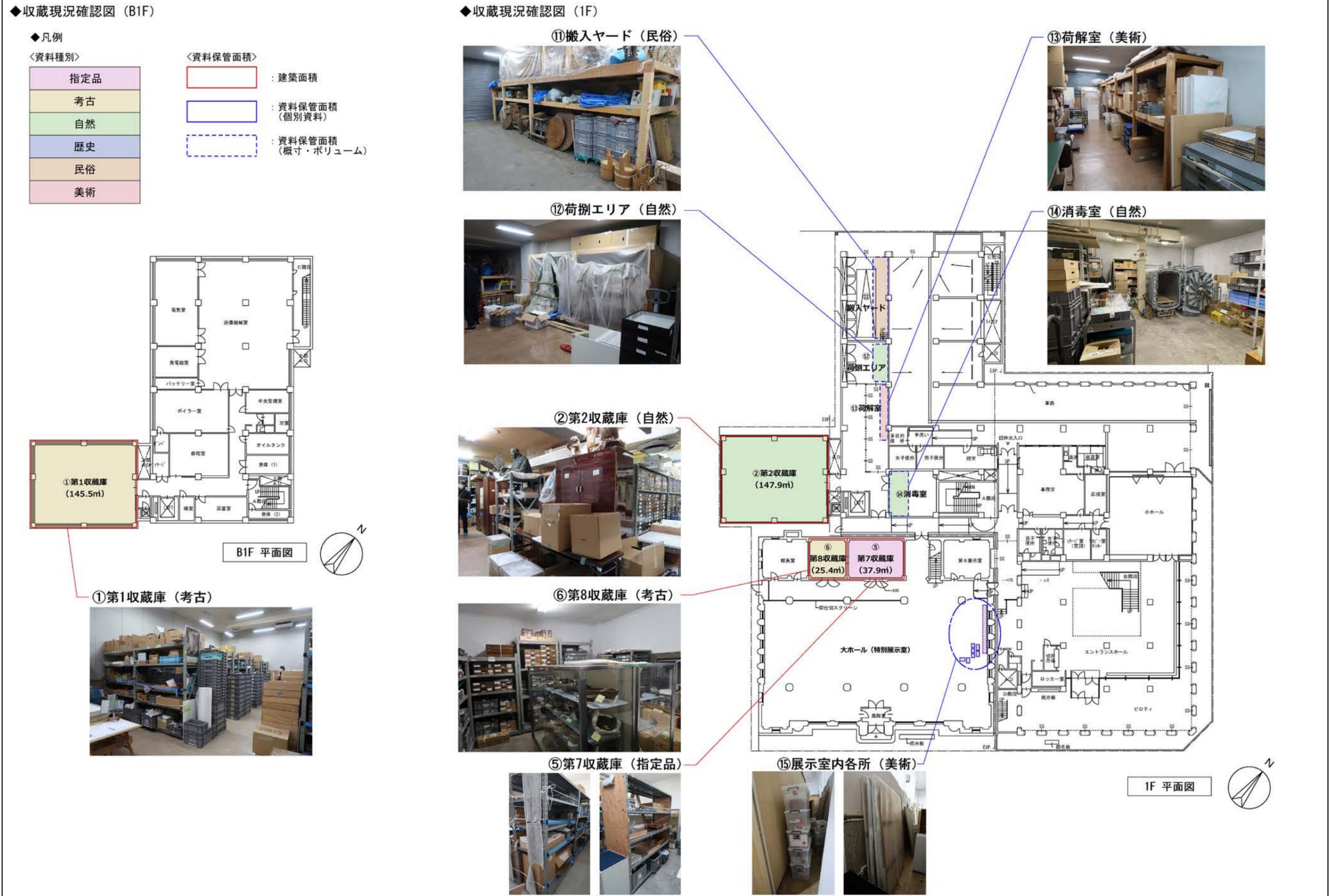
### 1-4. 資料管理

収蔵資料の管理については、資料管理等要領に沿って収蔵庫等で管理しているほか、貸出や掲載、撮影・調査の各利用申請に対して許可を出し、対応している。利用数は考古分野が他の歴史・民俗・自然に比して多い。利用目的のほとんどは博物館における展示会に関するものであるが、自然分野は研究に関するものが多い。

資料利用に関して、現在の要領では対応できない事例が出てくるようになったため、改訂作業を進めている。

## 2. 現在の収蔵状況概要と保存管理における課題

### 2-1. 収蔵庫現況確認図



◆収蔵現況確認図 (2F)

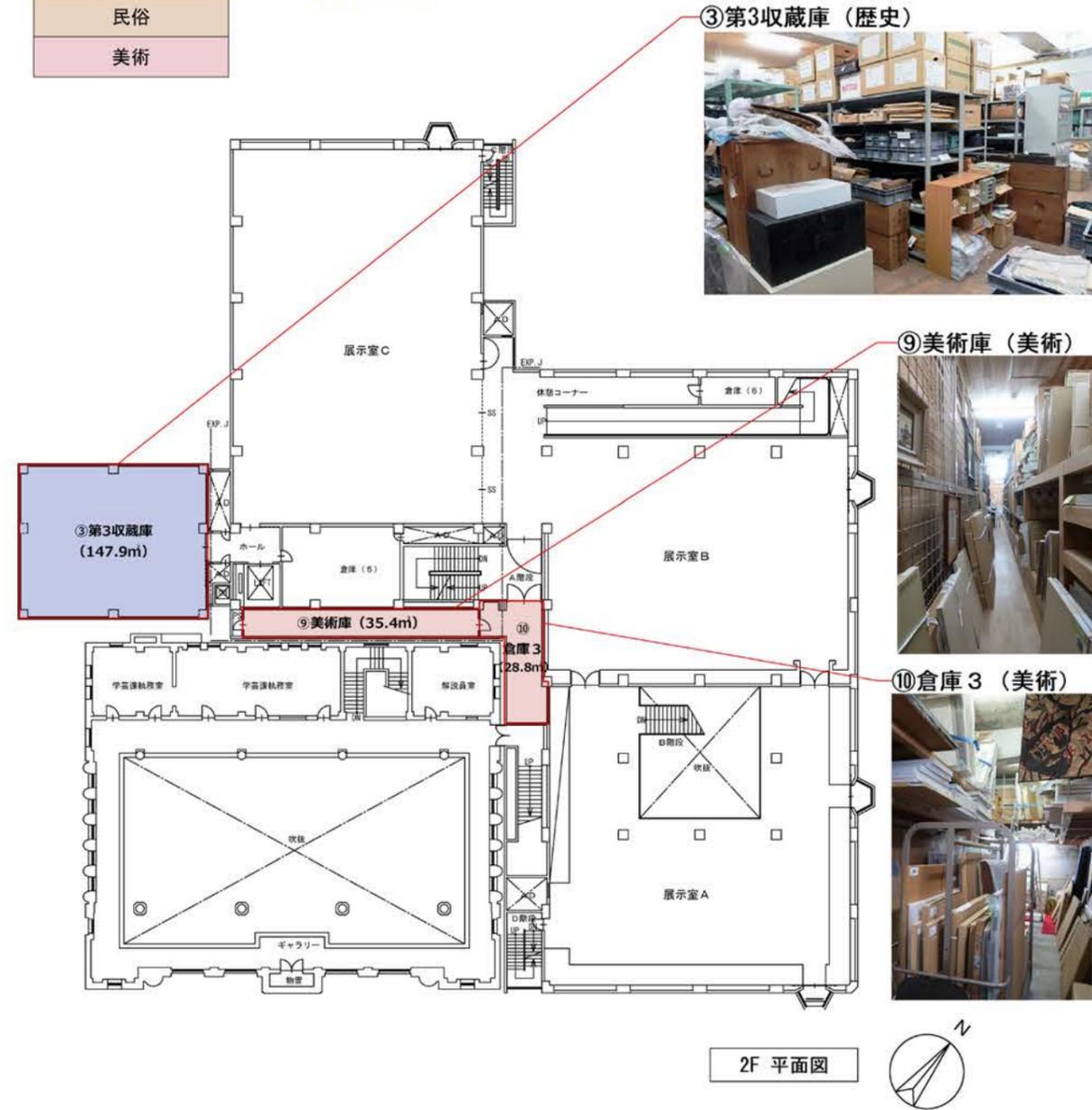
◆凡例

<資料種別>

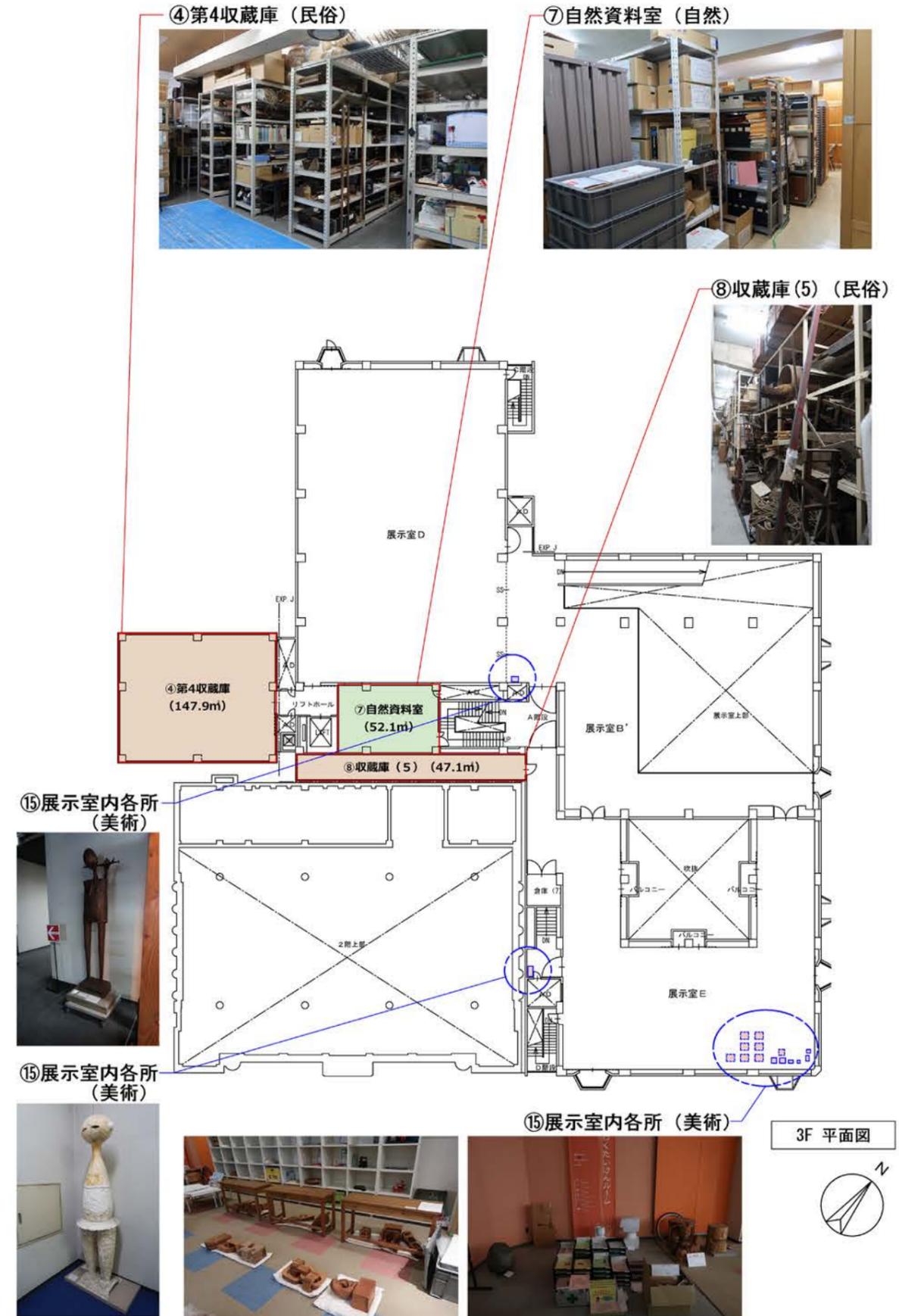
|     |
|-----|
| 指定品 |
| 考古  |
| 自然  |
| 歴史  |
| 民俗  |
| 美術  |

<資料保管面積>

|                   |
|-------------------|
| 建築面積              |
| 資料保管面積 (個別資料)     |
| 資料保管面積 (概寸・ボリューム) |



◆収蔵現況確認図 (3F)



2-2. 各収蔵庫の収蔵状況概要と保管管理における課題（基本計画の受託者において調査）

①第1収蔵庫

【概要】

|        |   |
|--------|---|
| 建築面積   | 145.5 m <sup>2</sup> （CAD上計測値）  |
| 壁内有効面積 | 116.9 m <sup>2</sup> （実測値）  |
| 天井高    | 約4,500mm（空調用ダクト下端までH3961mm）   |
| 空調設備   | 24時間空調（20℃/55%※調査時設定）<br>平成29年改修時に空調設備・加湿器・サブエアコンを新設                    |
| 内装/扉等  | 壁の下地材・調湿板を新設<br>前室なし/出入口扉は一般SD [セミエアタイト]<br>収蔵庫内は内履き運用、外履き禁止（場合により履き替え） |
| 収蔵資料概要 | 土器、石器、剥ぎ取り標本等（寄附資料2/3、発掘資料1/3、寄託・借用資料あり）                                |

【現況・課題】

- ・保管箱（段ボール箱、テンバコ、木箱等）に収納された資料を中心に保管。
- ・棚はほぼ満載状態となっている。
- ・棚に収まりきらない空き保管箱は、通路に床置きされている状態。
- ・一部大型土器、石器（テンバコ、段ボール箱保管）は棚からはみ出した状態。
- ・大型資料（剥ぎ取り標本等）の保管場所がなく、棚をまたいで棚上部に保管されている状態。  
※剥ぎ取り資料は平置きが適するため、H29に縦置きから棚最上段に置き方を変更。
- ・資料カードや書籍等の二次資料は、入口付近の什器や資料収納棚上部に保管されている。
- ・入口付近のスペースは机や備品が置かれ、点検作業スペースとして利用されている。
- ・燻蒸可能スペースが館内にないため、やむを得ず簡易燻蒸スペースとしても利用されている。  
→空調設備（温度設定のみで可）と排気口を備えた保存処理室が必要。
- ・棚同士はボルトで連結、棚自体床にボルト固定。棚上部の固定なし。



入口付近



通路部分

## ②第2 収蔵庫

### 【概要】

|        |  |
|--------|--|
| 建築面積   | 147.9 m <sup>2</sup> (CAD上計測値)   |
| 壁内有効面積 | 131.3 m <sup>2</sup> (実測値)   |
| 天井高    | 約 2,700mm (空調用ダクト下端まで H2130mm、梁下まで H2430mm)                                  |
| 空調設備   | 24 時間空調 (20℃/55%※調査時設定)<br>平成 29 年改修時に空調設備・加湿器・サブエアコンを新設                     |
| 内装/扉等  | 壁の下地材・断熱材・調湿板を新設<br>前室なし/出入口扉は一般SD [セミエアタイト]<br>収蔵庫内は内履き運用、外履き禁止 (場合により履き替え) |
| 収蔵資料概要 | 生物・地学標本、剥製、石等  |

### 【現況・課題】

- ・ 標本箱や段ボール箱に収納された資料、剥製資料を中心に保管。
- ・ 棚はほぼ満載状態となっている。
- ・ 棚に収まりきれない保管箱や大型の動物剥製資料は、棚上や通路に床置きされている状態。
- ・ 標本箱の多くはオープン棚に積層収納されており、取り出しづらい状況となっている。
- ・ 一部棚のサイズと標本箱のサイズが合っておらず、箱がはみ出している箇所あり。
- ・ 資料カードや書籍等の二次資料は、入口付近の什器や資料収納棚の上部に保管されている。
- ・ 照明の位置と什器の位置が合っていないため、暗い場所がある。
- ・ 空調吹き出し口と什器の位置が合っていないため、空気の流れが確保しづらい場所がある。
- ・ 収蔵庫内の通路に机や備品が置かれ、作業用スペースとして利用されている。
- ・ 第1・第3・第4 収蔵庫に比べて温湿度が安定しない。
- ・ 棚の固定なし。
- ・ 過去に収蔵庫外周りの積雪や大雨により壁面に結露・カビが発生。H29 時の改修で対策はとられているが、急激な降雪・大雨時は今後も要注意。



入口付近



通路部分

### ③第3 収蔵庫

#### 【概要】

|        |   |
|--------|---|
| 建築面積   | 147.9 m <sup>2</sup> (CAD上計測値)  |
| 壁内有効面積 | 131.5 m <sup>2</sup> (実測値)  |
| 天井高    | 約 3,500mm (空調用ダクト下端まで H2780mm、梁下まで H3100mm)   |
| 空調設備   | 24 時間空調 (20℃/55%※調査時設定)<br>平成 29 年改修時に空調設備・加湿器・サブエアコンを新設                                      |
| 内装/扉等  | 壁の下地材・断熱材・調湿板を新設<br>前室なし [エレベーターホールで代用] / 出入口扉は一般SD [セミエアタイト]<br>収蔵庫内は内履き運用、外履き禁止 (場合により履き替え) |
| 収蔵資料概要 | 古文書、絵図、書籍、美術作品、屏風、軸、具足、刀、彫刻、写真等、指定資料、寄託資料あり   |

#### 【現況・課題】

- ・木箱、テンバコ、段ボール箱等の保管箱に収納された資料を中心に保管。
- ・棚はほぼ満載状態となっている。
- ・棚に収まりきらない段ボール箱は、棚上部に積層保管されている状態。
- ・大型の彫刻 (木像)、屏風・屏風箱、襖絵、長物資料等の棚に収まりきらない大型資料は床置きされている状態。
- ・一部棚のサイズと軸箱資料のサイズが合っておらず、軸棚からはみ出している箇所あり。
- ・図書やアルバム、資料基本カード等の二次資料は、壁沿いの什器に保管されている。
- ・照明の位置と什器の位置が合っていないため、暗い場所がある。
- ・空調吹き出し口と什器の位置が合っていないため、空気の流れが確保しづらい場所がある。
- ・入口付近のスペースは机や備品が置かれ、作業用スペースとして利用されている。
- ・棚の固定なし。棚同士は紐で連結。



入口付近



軸装棚



通路部分

#### ④第4 収蔵庫

##### 【概要】

|        |   |
|--------|---|
| 建築面積   | 147.9 m <sup>2</sup> (CAD上計測値)  |
| 壁内有効面積 | 131.5 m <sup>2</sup> (実測値)  |
| 天井高    | 約 3,500mm (空調用ダクト下端まで H2790mm、梁下まで H3150mm)   |
| 空調設備   | 24 時間空調 (20°C/55%※調査時設定)<br>平成 29 年改修時に空調設備・加湿器・サブエアコンを新設   |
| 内装/扉等  | 壁の下地材・断熱材・調湿板を新設/天井の断熱材・調湿板を新設<br>前室なし [エレベーターホールで代用] / 出入口扉は一般SD [セミエアタイト]<br>収蔵庫内は内履き運用、外履き禁止 (場合により履き替え) |
| 収蔵資料概要 | 民具各種、編組品、漁労具、衣類、箆筒、伝蔵ねぶた、書籍、フィルム等、重要有形民俗文化財 (衣類) あり   |

##### 【現況・課題】

- ・テンバコ等に保管された小型の民俗資料、露出保管された中型～大型の民俗資料を中心に保管。
- ・棚はほぼ満載状態となっている。
- ・通路上部スペースにもメッシュがかけられ、棚上を保管スペースとして活用されている。
- ・長物の民俗資料はオープン棚や、棚の側面を利用して保管されている。
- ・壁際には壁面メッシュが設置され、編組品や鉤類等壁掛け資料を保管。
- ・壁面メッシュに掛けきれない資料や衣装ケース入りの衣類、茶箱も床上に積層保管。
- ・入口付近に大型の箱入りねぶた資料を保管するスペースあり。
- ・低湿資料をドライキャビネットにて保管。(庫内湿度 11.3%※調査時)
- ・照明の位置と什器の位置が合っておらず、通路上スペースも保管場所として活用しているため、暗い場所がある。
- ・空調吹き出し口と什器の位置が合っていないため、空気の流れが確保しづらい場所がある。
- ・入口付近のスペースは机や備品が置かれ、作業用スペースとして利用されている。
- ・棚の固定なし。



入口付近



棚上部

## ⑤第7収蔵庫

### 【概要】

|        |   |
|--------|---|
| 建築面積   | 37.9 m <sup>2</sup> (CAD上計測値)                             |
| 壁内有効面積 | 34.4 m <sup>2</sup> (実測値)                                 |
| 天井高    | 約 2,800mm   |
| 空調設備   | 24 時間空調 (22°C/55%※調査時設定)<br>平成 29 年改修時に空調設備・加湿器を新設        |
| 内装/扉等  | 旧銀行の金庫スペース、金庫扉を活用<br>前室なし<br>収蔵庫内は内履き運用、外履き禁止 (場合により履き替え) |
| 収蔵資料概要 | 文化財指定資料 (考古のみ)  |

### 【現況・課題】

- ・段ボール箱やテンバコに収納された資料を中心に保管。
- ・ガラスケースにはレプリカ・展示器具類を保管。
- ・新収蔵庫では考古資料以外の他分野の指定品も保管希望。
- ・考古資料のスペースは現在と同程度を想定。
- ・棚同士の固定のみ。棚の床固定なし。棚のサイズがバラバラのため上部固定不可。
- ・空調新設後、温湿度は年間を通して安定しているが、湿度の振り幅は第1収蔵庫に比べある。コンクリート壁が厚いため熱しやすく冷めやすい。考古以外の指定資料の保管には新収蔵庫の床・天井・壁面に内装が必要。棚も新設。



収納棚 (オープンラック)



収納棚 (オープンラック)



ガラスケース

⑥第8 収蔵庫

【概要】

|        |   |
|--------|---|
| 建築面積   | 25.4 m <sup>2</sup> (CAD上計測値)                             |
| 壁内有効面積 | 22.3 m <sup>2</sup> (実測値)                                 |
| 天井高    | 約 2,700mm   |
| 空調設備   | 第7 収蔵庫での空調された空気をダクトで共有                                    |
| 内装/扉等  | 旧銀行の金庫スペース、金庫扉を活用<br>前室なし<br>収蔵庫内は内履き運用、外履き禁止 (場合により履き替え) |
| 収蔵資料概要 | 風韻堂コレクション (12,000 点、考古資料のみ、漆製品あり)                         |

【現況・課題】

- ・木箱やテンバコに収納された資料を中心に保管。
- ・ガラスケースには土器を中心に露出保管されている。
- ・棚はほぼ満載状態となっている。
- ・棚に収まりきれない資料は、通路に床置きされている状態。
- ・一部棚からはみ出している大型資料あり。
- ・マップケースでの保管資料あり。
- ・第8 収蔵庫の収蔵資料は、考古資料に統合して保管することも検討。
- ・棚の固定なし。
- ・収蔵庫北壁に銀行時代の窓があり、内側外側から溶接し塞がれている。R 2年3月に結露し、室内に滴が入り、最下段にあり壁に付いていた1箱の梱包材が湿り、中の土器は乾いていた。



収蔵庫全景



ガラスケース



床置資料

## ⑦自然資料室

### 【概要】

|        |  |
|--------|--|
| 建築面積   | 52.1 m <sup>2</sup> (CAD上計測値)  |
| 壁内有効面積 | 42.5 m <sup>2</sup> (実測値)  |
| 天井高    | 約 2,500mm  |
| 空調設備   | 24 時間空調 (21°C/45%※調査時設定)<br>平成 29 年空調設備・加湿器を新設                                       |
| 内装/扉等  | 前室なし/出入口扉は一般 SD [セミエアタイト]<br>収蔵庫内は下足運用 (場合により履き替え)、粘着マットなし<br>中 4 階にあるため、アクセス途中に階段あり |
| 収蔵資料概要 | 植物標本及び昆虫タイプ標本が中心   |

### 【現況・課題】

- ・木製専用棚に収納された標本資料を中心に保管。  
標本箱用の枠付きタイプ、引き出し付タイプ、仕切り板付タイプの 3 種類あり。
- ・棚はほぼ満載状態となっている。
- ・棚に入りきらない資料は棚の上部に保管されている状態。
- ・室内の半分程度は書籍や記録資料、調査道具等の備品が占めている。
- ・入口付近のスペースは机や備品が置かれ、作業用スペースとして利用されている。
- ・空調の排水管から何度か水漏れがあった。
- ・空気の循環が不安定で、温湿度が安定しない。



木製専用棚



木製専用棚内部



木製専用棚内部

⑧収蔵庫(5)

【概要】

|        |   |
|--------|---|
| 建築面積   | 47.1 m <sup>2</sup> (CAD上計測値)   |
| 壁内有効面積 | 40.3 m <sup>2</sup> (実測値)   |
| 天井高    | 約 4,000mm (梁下まで H3350mm~H3540mm)  |
| 空調設備   | 空調なし (換気扇、窓あり)  |
| 内装/扉等  | 旧銀行建物と博物館建物の間の細長い接続空間を、資料保管スペースとして利用<br>前室なし/出入口扉は一般SD<br>収蔵庫内は下足運用 (場合により履き替え)、粘着マットなし |
| 収蔵資料概要 | 大型民俗資料 (道具類、長物資料、桶、樽等)  |

【現況・課題】

- ・収蔵庫に入りきらない大型の民俗資料を中心に保管。
- ・壁際にスチール製の高層アングル棚が設置されており、天井付近まで資料で満載状況。
- ・通路スペースが非常に狭く、一部の資料出し入れが難しい状況。
- ・高所資料の一部は取り出しが困難な状況。
- ・長物資料は棚柱に括りつけるなどの方法で保管されている。
- ・棚に収まらない一部の資料は床置きされている状況。
- ・収蔵庫(5)内の大型民俗資料は新収蔵庫に保管希望。
- ・複数ある桶や樽の保管方法が課題。
- ・燻蒸対象エリア。
- ・換気扇から外気が入りやすく、室内に埃がたまりやすい。



収納棚



収納棚上部

## ⑨美術庫

### 【概要】

|        |  |
|--------|--|
| 建築面積   | 35.4 m <sup>2</sup> (CAD上計測値)                              |
| 壁内有効面積 | 32.2 m <sup>2</sup> (実測値)                                  |
| 天井高    | 約 3,000mm  |
| 空調設備   | 壁掛エアコン設置あり   |
| 内装/扉等  | 旧銀行建物と博物館建物の間の接続空間を資料保管スペースとして利用<br>前室なし/出入口扉は一般SD<br>上足運用 |
| 収蔵資料概要 | 西洋絵画、日本画、版画等   |

### 【現況・課題】

- ・ 保管箱に収納された絵画資料を中心に保管。
- ・ 木製の造り付け棚、壁面メッシュが設置され、棚上までほぼ満載状況となっている。
- ・ 棚に収まらない一部の資料は床置きされている状況。
- ・ 通路スペースが非常に狭く、一部資料の出し入れが難しい状況。
- ・ 美術資料は今後も増える見込み。
- ・ エアコンは温度調整のみ、湿度は外気に連動し、季節により変動する。



美術庫全景



床置資料

### ⑩倉庫 3

#### 【概要】

|        |   |
|--------|---|
| 建築面積   | 28.8 m <sup>2</sup> (CAD上計測値)   |
| 壁内有効面積 | 27.2 m <sup>2</sup> (実測値)   |
| 天井高    | 約 4,000mm   |
| 空調設備   | 空調なし  |
| 内装/扉等  | 旧銀行建物と博物館建物の間の接続空間を資料保管スペースとして利用<br>平成 29 年改修後から美術専用<br>前室なし/出入口扉は一般 SD<br>下足運用 (場合により履き替え) |
| 収蔵資料概要 | 現代絵画等   |

#### 【現況・課題】

- ・美術庫に入りきらない絵画資料を中心に保管。
- ・木製の造り付けの吊り棚が設置され、上部スペースを保管スペースとして活用されている。
- ・吊棚はほぼ満載状態となっている。
- ・棚に収まりきらない作品は台車や床上に保管されている状況
- ・通路スペースが非常に狭く、資料の出し入れが難しい状況。
- ・現代作品は今後も増える見込み。
- ・現状では、温湿度の変動は「I. 美術庫」に類似している。



倉庫 3 全景



造り付け吊り棚

### ⑪搬入ヤード（部分）

#### 【概要】

|        |  |
|--------|--|
| 天井高    | 約 3,400mm  |
| 空調設備   | 空調なし   |
| 収蔵資料概要 | 大型民俗資料<br>（千歯扱、舟など）<br>出前授業等教育普及資料<br>（衣・食・住資料、えんつこ、<br>籠レプリカ、氷冷蔵庫、水桶、<br>囲炉裏見本など） |



搬入ヤード木製棚

#### 【現況・課題】

- ・ 収蔵庫に入りきらない中型～大型の民俗資料を中心に保管。
- ・ 出前授業等教育普及事業で利用する資料を保管。
- ・ 搬入ヤードスペースに木製棚を設置し、資料保管スペースとして利用。
- ・ 棚はほぼ満載状態となっている。
- ・ 棚下段は棚板がなく、資料は床置きされている状況。最下段には重量資料（噴霧器、大八車など）を床置きで保管。
- ・ 棚に収まりきらない資料は床置き保管されている状況。
- ・ 棚上には大型の舟を保管されている。

### ⑫荷捌エリア（部分）

#### 【概要】

|        |           |
|--------|-----------|
| 天井高    | 約 2,700mm |
| 空調設備   | 空調なし      |
| 収蔵資料概要 | 骨格標本等     |



荷捌エリア木製棚

#### 【現況・課題】

- ・ 収蔵庫に入りきらない中型～大型の自然資料を中心に保管。
- ・ 荷捌エリアに木製棚を設置し、資料保管スペースとして利用。
- ・ 棚はほぼ満載状態となっている。
- ・ 棚に収まりきらない大型の骨格標本は棚上や床置き保管されている。

### ⑬荷解室（部分）

#### 【概要】

|        |           |
|--------|-----------|
| 天井高    | 約 2,700mm |
| 空調設備   | 空調なし      |
| 収蔵資料概要 | 彫刻        |



荷解室木製棚

#### 【現況・課題】

- ・ 収蔵庫に入りきれない彫刻資料を中心に保管。
- ・ 荷解室に木製棚を設置し、資料保管スペースとして利用。
- ・ 棚は備品等も含めてほぼ満載状況となっている。
- ・ 棚に収まりきれない大型彫刻資料は棚上に保管されている状況。

※彫刻資料は展示室にも分散保管。

### ⑭消毒室

#### 【概要】

|        |            |
|--------|------------|
| 天井高    | 約 2,700mm  |
| 空調設備   | 空調なし       |
| 収蔵資料概要 | 岩石資料、液浸標本等 |



消毒室全景

#### 【現況・課題】

- ・ 収蔵庫に入りきれない自然資料を中心に保管。
- ・ 棚の一部に岩石資料、液浸収蔵資料が保管。
- ・ 一部資料は床置きされている状況。
- ・ 旧燻蒸スペースを資料保管スペースとして利用しているため、燻蒸窯が残置されている状況。

⑮展示室内各所



大ホール床置資料



3階展示室床置資料（彫刻）



3階展示室床置資料（彫刻）

【概要】

|        |          |
|--------|----------|
| 収蔵資料概要 | 大型絵画、彫刻等 |
|--------|----------|

【現況・課題】

- ・収蔵庫に入りきらない美術資料（テンバコ保管の彫刻資料、衣装ケース保管資料、大型の絵画資料、彫刻資料）が展示室各所に分散保管されている状況。

### 3. 収蔵計画の検討

#### 3-1. 現状を踏まえた必要面積の試算

現状を踏まえた必要面積を以下に試算した。 ※現状に関しては、自然展示室、建屋、倉庫(5)、民俗展示室、館外(旧青森商業高校)にも一部資料の保管有。

| 現 状                              |           |                                |  |                 |                            |                           |                      |                            |
|----------------------------------|-----------|--------------------------------|--|-----------------|----------------------------|---------------------------|----------------------|----------------------------|
| 資料種別                             | 室名        | 収蔵資料概要                         | 保管状況等  | 天井高さ<br>(調査実測値) | 収蔵面積 [a]                   |                           | 有効床面積*2<br>(調査実測値)   | 有効床面積<br>+ 建築面積<br>(割合参考値) |
|                                  |           |                                |  |                 | 収蔵庫<br>建築面積*1<br>(CAD上実測値) | 収蔵庫外<br>資料保管面積<br>(調査実測値) |                      |                            |
| 指定品                              | 第7収蔵庫     | 文化財指定資料(考古のみ)                  | ・24時間空調(22°C/55%) ※改修済<br>・旧銀行の金庫スペースを利用<br>・テンパコ保管資料を中心に収納    | 2.8 m           | 37.9 m <sup>2</sup>        | —                         | 34.4 m <sup>2</sup>  | 91%                        |
|                                  | 小 計       |                                |  |                 |                            | 37.9 m <sup>2</sup>       | —                    | 34.4 m <sup>2</sup>        |
| 考古                               | 第1収蔵庫     | 土器、石器、剥ぎ取り標本等<br>(骨殖資料が中心)     | ・24時間空調(20°C/55%) ※改修済<br>・テンパコ保管資料を中心に収納<br>・簡易塵着作業スペースあり     | 4.5 m           | 145.5 m <sup>2</sup>       | —                         | 116.9 m <sup>2</sup> | 80%                        |
|                                  | 第8収蔵庫     | 風儀堂コレクション<br>(考古資料中心、漆製品あり)    | ・第7収蔵庫とダクトで空調を共有<br>・旧銀行の金庫スペースを利用                             | 2.7 m           | 25.4 m <sup>2</sup>        | —                         | 22.3 m <sup>2</sup>  | 88%                        |
| 小 計                              |           |                                |  |                 | 170.9 m <sup>2</sup>       | —                         | 139.2 m <sup>2</sup> | —                          |
| 自然                               | 第2収蔵庫     | 生物・地学標本、剥製、石等                  | ・24時間空調(20°C/55%) ※改修済<br>・標本箱を中心に保管、棚上にも保管有<br>・剥製資料は床置き保管も多数 | 2.7 m           | 147.9 m <sup>2</sup>       | —                         | 131.3 m <sup>2</sup> | 89%                        |
|                                  | 自然資料室     | 植物標本及び昆虫タイプ標本等                 | ・24時間空調(21°C/45%) ※改修済<br>・木製標本箱を中心に保管<br>・一部図書、整理スペースとして利用    | 2.5 m           | 52.1 m <sup>2</sup>        | —                         | 42.5 m <sup>2</sup>  | 82%                        |
|                                  | 消毒室(部分)   | 岩石資料、浸漬標本等                     | ・旧展示スペース(展示廃止)<br>・棚の一部に収蔵資料有                                  | —               | —                          | 13.7 m <sup>2</sup>       | —                    | —                          |
|                                  | 荷捌エリア(部分) | 骨格標本等                          | ・荷捌エリアに木製棚を設置し<br>資料保管スペースとして利用。<br>・大型骨格標本は床置き保管。             | 2.7 m           | —                          | 8.9 m <sup>2</sup>        | —                    | —                          |
| 小 計                              |           |                                |  |                 | 200.0 m <sup>2</sup>       | 22.6 m <sup>2</sup>       | 173.8 m <sup>2</sup> | —                          |
| 歴史                               | 第3収蔵庫     | 古文書、絵図、書翰、美術作<br>品、屏風等         | ・24時間空調(20°C/55%) ※改修済<br>・大型彫刻、屏風等は床置き保管<br>・一部アルバム、図書資料有     | 3.5 m           | 147.9 m <sup>2</sup>       | —                         | 131.5 m <sup>2</sup> | 89%                        |
|                                  | 小 計       |                                |  |                 |                            | 147.9 m <sup>2</sup>      | —                    | 131.5 m <sup>2</sup>       |
| 民俗                               | 第4収蔵庫     | 民具各種、衣類、ねぶた等                   | ・24時間空調(20°C/55%) ※改修済<br>・棚上メッシュを設けて資料保管<br>・大型ねぶた資料有         | 3.5 m           | 147.9 m <sup>2</sup>       | —                         | 131.5 m <sup>2</sup> | 89%                        |
|                                  | 収蔵庫(5)    | 大型民俗資料<br>(道具類、長物資料、福、掃<br>帚等) | ・空調なし(換気扇、窓あり)<br>・天井際まで資料保管有。高所資料の<br>一部は取り出しが困難な状況。          | 4.0 m           | 47.1 m <sup>2</sup>        | —                         | 40.3 m <sup>2</sup>  | 86%                        |
|                                  | 搬入ヤード(部分) | 大型民俗資料<br>(千両袋、大型の船等)          | ・搬入ヤードに木製棚を設置し<br>資料保管スペースとして利用。<br>・棚下段は床置き保管                 | 3.4 m           | —                          | 19.5 m <sup>2</sup>       | —                    | —                          |
| 小 計                              |           |                                |  |                 | 195.0 m <sup>2</sup>       | 19.5 m <sup>2</sup>       | 171.8 m <sup>2</sup> | —                          |
| 美術                               | 美術庫       | 現代絵画等                          | ・壁掛エアコン設置あり<br>・造り付け棚、壁面メッシュが設置<br>・棚上まで満載状況                   | 3.0 m           | 35.4 m <sup>2</sup>        | —                         | 32.2 m <sup>2</sup>  | 91%                        |
|                                  | 倉庫3       | 西洋絵画、日本画、版画等<br>(※日本画は歴史)      | ・造り付けの吊り棚に資料保管<br>・床置き保管あり                                     | 4.0 m           | 28.8 m <sup>2</sup>        | —                         | 27.2 m <sup>2</sup>  | 94%                        |
|                                  | 荷解室(部分)   | 彫刻                             | ・造り付け棚に彫刻を保管<br>・棚上にも大型資料あり<br>・彫刻資料は展示室にも分散保管                 | 2.7 m           | —                          | 7.0 m <sup>2</sup>        | —                    | —                          |
|                                  | 展示室内各所    | 大型絵画、彫刻等                       | ・展示室内各所に彫刻作品が展示、保管<br>・大ホール(特別展示室)にテンパコ<br>保管資料、衣装ケース保管資料有     | —               | —                          | 9.5 m <sup>2</sup>        | —                    | —                          |
| 小 計                              |           |                                |  |                 | 64.2 m <sup>2</sup>        | 16.5 m <sup>2</sup>       | 59.4 m <sup>2</sup>  | —                          |
| 【収蔵面積】小 計                        |           |                                |  |                 | 815.9 m <sup>2</sup>       | 58.6 m <sup>2</sup>       | 710.1 m <sup>2</sup> | —                          |
| 【収蔵面積】合計<br>(収蔵庫建築面積+収蔵庫外資料保管面積) |           |                                |  |                 | 874 m <sup>2</sup>         |                           | 710.1 m <sup>2</sup> | —                          |

※合計値は小数点切り捨てにて表記

| 計 画                                     |                                       |                      |                                   |                     |                      |                      |
|---|---------------------------------------|----------------------|-----------------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| 現状適正スペース<br>現状の収蔵状況(過密度)を考慮し、補正を行った適正面積 |                                       |                      | 将来収集スペース<br>将来の収集等による資料増加想定した予備面積 |                     |                      | 合計<br>(c+e)          |
| 現状補正係数*3<br>[b]                         | 備 考                                   | 適正面積 [c]<br>(a×b)    | 将来補正係数 [d]                        | 備 考                 | 将来面積 [e]<br>(c×d)    |                      |
| 1.0                                     | 現状同等の面積(密度感)による収蔵を想定                  | 37.9 m <sup>2</sup>  | 0.5                               | 歴史等の指定品も収蔵          | 19.0 m <sup>2</sup>  | 56.9 m <sup>2</sup>  |
| 小 計                                     |                                       | 37.9 m <sup>2</sup>  | 小 計                               |                     | 19.0 m <sup>2</sup>  | 56.9 m <sup>2</sup>  |
| 1.1                                     | 受入待ち状態の資料を考慮                          | 160.1 m <sup>2</sup> | 0.3                               | 適正面積の3割を想定          | 48.0 m <sup>2</sup>  | 208.1 m <sup>2</sup> |
| 1.0                                     | 現状同等の面積(密度感)による収蔵を想定                  | 25.4 m <sup>2</sup>  | 0.0                               | —                   | 0.0 m <sup>2</sup>   | 25.4 m <sup>2</sup>  |
| 小 計                                     |                                       | 185.5 m <sup>2</sup> | 小 計                               |                     | 48.0 m <sup>2</sup>  | 233.5 m <sup>2</sup> |
| 1.5                                     | 天井までの過密保管を考慮                          | 221.9 m <sup>2</sup> | 0.2                               | 動植物資料のみとし適正面積の2割を想定 | 44.4 m <sup>2</sup>  | 266.2 m <sup>2</sup> |
| 0.5                                     | 植物資料のみで考慮                             | 26.1 m <sup>2</sup>  | 0.5                               | 地学資料のみとし適正面積の5割を想定  | 13.0 m <sup>2</sup>  | 39.1 m <sup>2</sup>  |
| 1.0                                     | 現状同等の面積(密度感)による収蔵を想定                  | 13.7 m <sup>2</sup>  | 0.0                               | —                   | 0.0 m <sup>2</sup>   | 13.7 m <sup>2</sup>  |
| 2.0                                     | 資料の取り出しスペース等を考慮し、現状の収蔵面積の2倍程度のスペースを確保 | 17.8 m <sup>2</sup>  | 0.0                               | —                   | 0.0 m <sup>2</sup>   | 17.8 m <sup>2</sup>  |
| 小 計                                     |                                       | 279.4 m <sup>2</sup> | 小 計                               |                     | 57.4 m <sup>2</sup>  | 336.8 m <sup>2</sup> |
| 1.0                                     | 現状同等の面積(密度感)による収蔵を想定                  | 147.9 m <sup>2</sup> | 0.5                               | 適正面積の5割を想定          | 74.0 m <sup>2</sup>  | 221.9 m <sup>2</sup> |
| 小 計                                     |                                       | 147.9 m <sup>2</sup> | 小 計                               |                     | 74.0 m <sup>2</sup>  | 221.9 m <sup>2</sup> |
| 1.5                                     | 天井までの過密保管を考慮                          | 221.9 m <sup>2</sup> | 0.5                               | 適正面積の5割を想定          | 110.9 m <sup>2</sup> | 332.8 m <sup>2</sup> |
| 1.5                                     | —                                     | 70.7 m <sup>2</sup>  | 0.0                               | —                   | 0.0 m <sup>2</sup>   | 70.7 m <sup>2</sup>  |
| 2.0                                     | 資料の取り出しスペース等を考慮し、現状の収蔵面積の2倍程度のスペースを確保 | 39.0 m <sup>2</sup>  | 0.0                               | —                   | 0.0 m <sup>2</sup>   | 39.0 m <sup>2</sup>  |
| 小 計                                     |                                       | 331.5 m <sup>2</sup> | 小 計                               |                     | 110.9 m <sup>2</sup> | 442.4 m <sup>2</sup> |
| 1.5                                     | 天井までの過密保管を考慮                          | 53.1 m <sup>2</sup>  | 0.0                               | —                   | 0.0 m <sup>2</sup>   | 53.1 m <sup>2</sup>  |
| 1.5                                     | 天井までの過密保管を考慮                          | 43.2 m <sup>2</sup>  | 0.0                               | —                   | 0.0 m <sup>2</sup>   | 43.2 m <sup>2</sup>  |
| 2.0                                     | 資料の取り出しスペース等を考慮し、現状の収蔵面積の2倍程度のスペースを確保 | 14.0 m <sup>2</sup>  | 0.0                               | —                   | 0.0 m <sup>2</sup>   | 14.0 m <sup>2</sup>  |
| 2.0                                     | 資料の取り出しスペース等を考慮し、現状の収蔵面積の2倍程度のスペースを確保 | 19.0 m <sup>2</sup>  | 0.0                               | —                   | 0.0 m <sup>2</sup>   | 19.0 m <sup>2</sup>  |
| 小 計                                     |                                       | 129.3 m <sup>2</sup> | 小 計                               |                     | 0.0 m <sup>2</sup>   | 129.3 m <sup>2</sup> |
| 【現状適正保管面積】合計                            |                                       | 1111 m <sup>2</sup>  | 【将来収集面積】合計                        |                     | 309 m <sup>2</sup>   | 1420 m <sup>2</sup>  |

※合計値は小数点切り捨てにて表記

※合計値は小数点切り捨てにて表記

#### 【備考】

- \*1 建築床面積：既存建物の壁芯(壁や柱の厚みの中心線)に囲まれた部分で測られた面積。
  - \*2 有効床面積：室内の内装壁に囲まれた部分の有効面積。建築(壁芯)床面積から壁の厚さや二重壁の空気層スペースが除かれるため、一般的な収蔵庫では建築(壁芯)面積に対して80%~85%となる。
  - \*3 補正係数(適正な保存環境確保のための補正係数。新計画における、現状棚の過密保管状態の解消や床置き資料を新設棚に適正保管による占有面積の圧縮可能性等を考慮して設定)
- 補正係数凡例 [1.0]現状と同等(現状でほぼ適正な保管状態) [1.5]現状より1.5倍のスペースを確保(現状で若干の過密保管状態)  
[2.0]現状より2倍のスペースを確保(現状でかなりの過密保管状態。箱への入替等) [0.5]現状より半分程度のスペースを確保(現状床置きものを棚に適切に保管する等)
- ※その他状況に応じて設定

▶現状資料の適正保管面積(建築床面積)は約1111m<sup>2</sup>  
▶再整備計画全体に必要な収蔵面積(建築床面積)は約1420m<sup>2</sup>  
▶現状最新プランの収蔵庫計画面積(一時保管庫30m<sup>2</sup>除く)計画案: 980m<sup>2</sup>  
▶現状プランでは、将来分まで含めた必要面積と比較した場合、  
計画案: 980 - 1420 = -440m<sup>2</sup> (440m<sup>2</sup>不足)  
※不足分に関しては、館内/館外での新たな収蔵スペースの確保、将来収集計画(必要スペース)の見直し等の検討要

### 3-2. 収蔵環境再整備の基本方針

#### ① 収蔵環境再整備の基本方針

- ・青森県の貴重資料を保管・継承するスペースとして、十分な容積及び最適な保存環境を確保した計画とする。
- ・文化庁「公開承認施設」の整備基準である「文化財公開施設の計画に関する指針（平成7年8月 文化庁文化財保護部）」に準拠した計画とする。

#### ② 収蔵関連諸室の配置計画

- ・立地環境による浸水リスク回避のため、恒常的に資料を保管する収蔵庫は地階・1階を避け、2階以上に配置を行う。
- ・収蔵関連諸室の配置に関しては、搬入ヤード及び展示室への資料の搬出入動線に配慮した配置計画とする。
- ・既存棟内での収蔵スペース不足解消、及び将来収集スペース拡充のため、展示室の一部を収蔵庫に改修し収蔵面積の確保を行う。

#### ③ 資料搬出入エリアの整備計画

- ・搬入ヤードは、現状の躯体構造の制限の中でできる限り有効高（約3.4m）を確保できるように既存出入建具及び天井の改修を行い、一定サイズの大型トラックの受け入れも可能な計画とする。
- ・消毒室は、燻蒸スペースとして再整備を行う。受け入れた資料及び貸出した資料について一時的な簡易燻蒸処理ができるよう空調設備を整える。また、それらの資料のクリーニングができるよう水洗設備を再整備する。現在設置されている燻蒸窯は撤去（廃棄）する。
- ・荷捌室、資料用E V、館内廊下等資料搬出入にかかる動線に関しては、文化財I P Mの観点から一般来館動線と交わらないよう配慮し、トイレやシンク等の水回りからは管理扉等により適正に区画した計画とする。

#### ④ 新収蔵庫の整備計画

- ・文化財収蔵庫として、最適な保存環境が確保可能な計画とする。
- ・収蔵庫は個別に独立した防火区画とし、耐火・防犯性に優れた収蔵庫扉の設置を行う。
- ・収蔵庫の環境安定及び虫菌害リスクの低減のため、収蔵庫には前室を設ける。
- ・借用資料の一時保管のための、一時保管庫を特別展示室に近接して設置する。
- ・再整備後の新収蔵庫に関しては、配置場所により確保可能な広さやアクセス条件が異なるため、それらを考慮した収蔵計画の検討を行う。

⑤ 計画案における新収蔵庫の配置

- ・資料種別ごとに現状及び将来収集スペースを想定した収蔵計画とする。
- ・館内の新収蔵庫への保管が難しい場合は、館外保管も含めた保管場所の検討を行う。

| 新収蔵庫                | 配置場所によるアクセス条件等  |
|---------------------|---|
| A棟 2階収蔵庫<br>3階収蔵庫   | トラックヤード、搬出用EV、展示室に近く資料移動の負荷が小さい。EVを介して学芸員室からのアクセスも容易。 |
| B棟 2階一時保管庫<br>3階収蔵庫 | 展示室に近接。展示替えの負担が最も小さい。                                 |
| C棟 3階収蔵庫            | 展示室に近接。展示替えの負担が小さいが、資料搬出入にかかる動線は一般来館動線と交わる。           |
| B棟 中3階収蔵庫           | 搬出入口から遠くアクセスに階段を使う必要がある。大型、重量資料の保管には負担が大きい。           |

### 3-3. 収蔵庫ゾーニングプランの検討

#### ① 新収蔵庫の収蔵計画

- ・資料種別ごとに現状及び将来収集スペースを想定した収蔵計画とする。
- ・館内の新収蔵庫への保管が難しい場合は、館外保管も含めた保管場所の検討を行う。

| 新収蔵庫名      | 収蔵計画概要   | 建築面積※                 |
|------------|--|-----------------------|
| 特別収蔵庫      | 指定品を中心とした貴重資料を保管。<br>現第7収蔵庫の考古資料、第8収蔵庫の風韻堂コレクション、歴史・民俗収蔵庫の指定品を集約。                              | 約 57 m <sup>2</sup>   |
| 新考古収蔵庫     | 考古資料を中心に保管。<br>現第1収蔵庫、第2収蔵庫の一部に保管されている資料を集約。   | 約 180 m <sup>2</sup>  |
| 新自然収蔵庫     | 自然資料を中心に保管。<br>現第2収蔵庫、自然資料室、消毒室、荷捌エリア、4階建屋等に分散保管されているものを集約する。<br>※液浸、大型骨格、地学資料は別区画にて保管する計画とする。 | 約 276 m <sup>2</sup>  |
| 新歴史（美術）収蔵庫 | 歴史資料と美術資料を中心に保管。<br>現第3収蔵庫、倉庫（5）の一部の歴史資料、現美術庫、収蔵庫（6）、荷解室等の美術資料を集約。<br>※彫刻作品については別区画での保管も検討。    | 約 217 m <sup>2</sup>  |
| 新民俗収蔵庫     | 民俗資料を中心に保管。<br>現第4収蔵庫、収蔵庫（5）、搬入ヤード、倉庫（5）の一部、館外（旧青商高）の資料を集約保管。<br>※館内だけで確保が難しい場合は、館外での保管も検討する。  | 約 250 m <sup>2</sup>  |
| 一時保管庫      | 企画展示等での借用資料を一時保管する。<br>(公開承認施設として設置要)  | 約 30 m <sup>2</sup>   |
| 合 計        |  | 約 1010 m <sup>2</sup> |

② 収蔵庫ゾーニングプランの検討

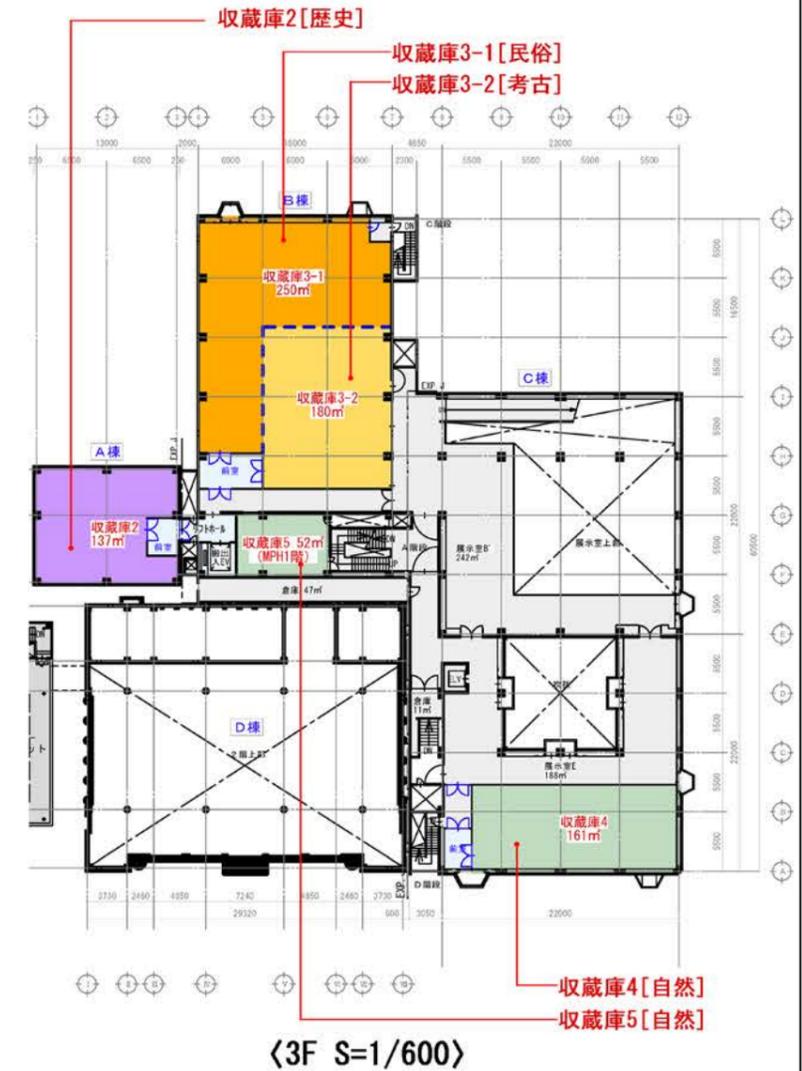
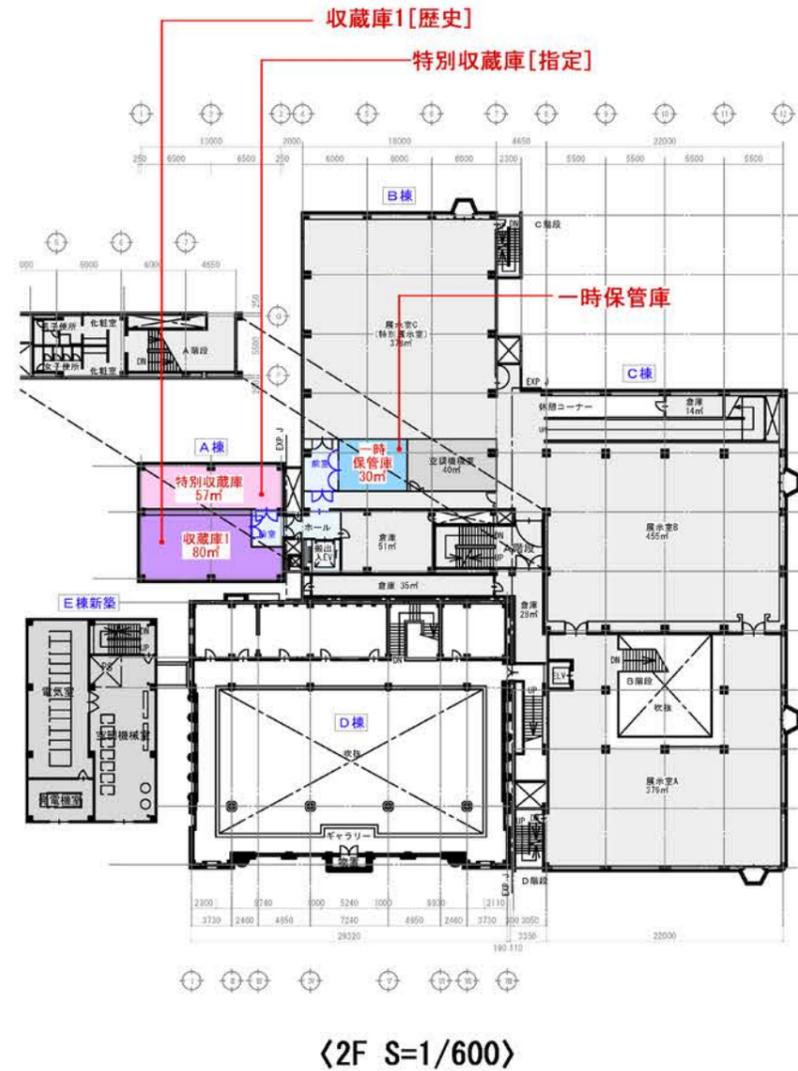
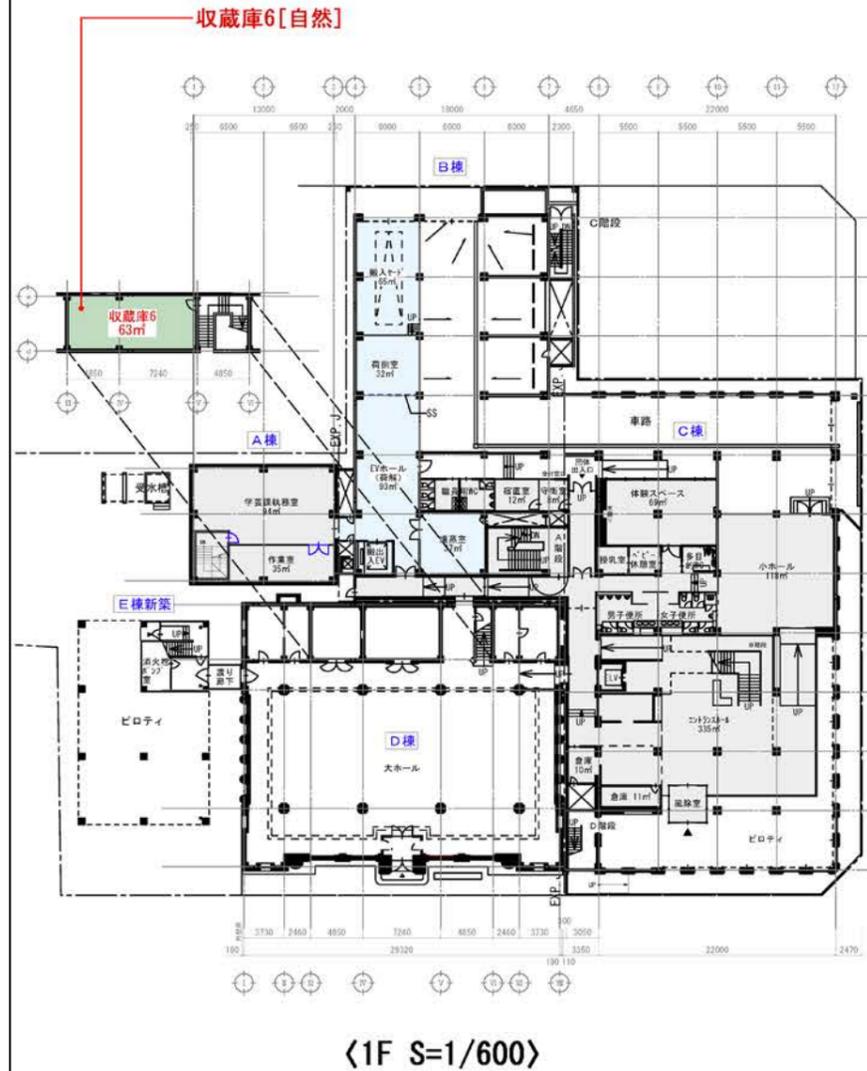
# 収蔵ゾーニングプラン

## ■再整備プランにおける収蔵庫構成表

| 収蔵庫名       | 必要面積与件 |            |               | 計画面積 (前室除く・壁芯) |     |     |       |       |     |     | 差分<br>(比較現状)<br>※参考 | 差分<br>(比較A) | 差分<br>(比較B) | 再整備の方針<br>(館内/館外スペース) |                  |
|------------|--------|------------|---------------|----------------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|---------------------|-------------|-------------|-----------------------|------------------|
|            | 現状     | A:現状<br>適正 | B:現状<br>適正+将来 | 特別             | 収蔵1 | 収蔵2 | 収蔵3-1 | 収蔵3-2 | 収蔵4 | 収蔵5 |                     |             |             |                       | 収蔵6              |
|            |        |            |               | 137            | 137 | 137 | 430   | 153   | 52  | 63  | 972                 |             |             |                       |                  |
| 特別収蔵庫      | 37.9   | 37.9       | 56.9          | 57             |     |     |       |       |     |     | 57                  | -19.1       | -19.1       | -0.1                  | ◎現状適正+将来スペースを確保  |
| 新考古収蔵庫     | 170.9  | 185.5      | 233.5         |                |     |     | 180   |       |     |     | 180                 | -9.1        | 5.5         | 53.5                  | △最低限現状と同等以上の面積確保 |
| 新自然収蔵庫     | 200    | 279.4      | 336.8         |                |     |     |       | 161   | 52  | 63  | 276                 | -76         | 3.4         | 60.8                  | △最低限現状と同等以上の面積確保 |
| 新歴史(美術)収蔵庫 | 212.1  | 277.2      | 351.2         |                | 80  | 137 |       |       |     |     | 217                 | -4.9        | 60.2        | 134.2                 | △最低限現状と同等以上の面積確保 |
| 新民俗収蔵庫     | 195    | 331.5      | 442.4         |                |     |     | 250   |       |     |     | 250                 | -55         | 81.5        | 192.4                 | △最低限現状と同等以上の面積確保 |
| 合計         | 815.9  | 1111.5     | 1420.8        | 57             | 80  | 137 | 250   | 180   | 161 | 52  | 63                  | 980         | -164.1      | 131.5                 | 440.8            |

← 改修プランの収蔵庫面積

→ 別途保管場所(館外等)確保の必要な面積



## V. 調査研究活動

### 1. これまでの調査研究活動

1-1. 「青森県立郷土館調査研究年報」、「青森県立郷土館研究紀要」、「調査報告書」の刊行分野ごとに年次計画により設定した調査研究テーマに沿って調査研究を実施し、その成果を昭和49（1974）年より毎年度「青森県立郷土館調査研究年報」に掲載し、刊行してきた。

また、年度ごとの成果を取りまとめて「調査報告書」を刊行し、それを報告する企画展を開催するなどしてきた。調査報告書の刊行は平成14（2002）年度以降は行われていない。

「青森県立郷土館調査研究年報」は、平成20年度から「青森県立郷土館研究紀要」に移行し、令和4（2022）年3月まで通巻46号を刊行しており、各論文・研究報告等をPDFファイルでも作成してホームページ上で公開している。

調査研究年報、研究紀要及び調査報告書は、公共の図書館のレファレンスサービス等で閲覧可能である。

以上の刊行物一覧は資料編（別冊）のとおりである。

#### 1-2. 国際交流活動（一部展示活動との連携が含まれる）

##### ① メーン州立博物館との学術調査交流

|              |   |
|--------------|---|
| 1996（平成8）年度  | 交流計画打合せのため、館員をメーン州に派遣。                                  |
| 2000（平成12）年度 | 今後の交流を協議するため館員を派遣。                                      |
| 2001（平成13）年度 | 隔年で交互に学芸員を派遣し、学術的な調査研究を行うことを合意、平成14年度から開始。              |
| 2002（平成14）年度 | メーン州からの青森派遣が都合により中止。<br>(10月)事務レベルの協議団が来青し、交流計画の見直しで合意。 |
| 2003（平成15）年度 | (9/10)県の事務レベル協議団に郷土館から1名参加し、メーン州立博物館で今後の交流について協議。       |
| 2005（平成17）年度 | 県の事務レベル協議の際、今後も文献や情報交換を行うことを確認。                         |

##### ② ハバロフスク地方郷土博物館との交流

|              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| 1993（平成5）年度  | 特別展開催の事前打合せのため、館員1名をハバロフスクに派遣。 |
| 1994（平成6）年度  | 特別展資料調査のため、館員2名をハバロフスクに派遣。     |
| 1995（平成7）年度  | 郷土館にて特別展「ロシア極東の自然と文化」を開催。      |
| 1996（平成8）年度  | 別展資料調査のため、ハバロフスクから館員2名を受入。     |
| 1998（平成10）年度 | 共同学術調査に関する協定書締結、受入2名。          |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 1999 (平成 11) 年度 | 自然 (昆虫) に関する共同学術調査、派遣 3 名、受入 3 名。             |
| 2000 (平成 12) 年度 | 考古 (遺物) に関する共同学術調査、派遣 3 名、受入 3 名。             |
| 2001 (平成 13) 年度 | 民俗 (内水面漁業) に関する共同学術調査、派遣 3 名、受入 3 名。          |
| 2002 (平成 14) 年度 | 第 2 次共同学術調査に関する協定書締結及び初年度調査のため、派遣 3 名、受入 3 名。 |
| 2003 (平成 15) 年度 | 漁業における民俗学的研究に関する調査、派遣 3 名、受入 3 名。             |
| 2004 (平成 16) 年度 | 両地域における遺跡及び遺物の考古学的研究をテーマに調査を実施、派遣 3 名、受入 3 名。 |
| 2005 (平成 17) 年度 | (7 月) 共同学術調査の協定書に基づき自然分野の調査を実施、派遣 2 名、受入 2 名。 |
| 2006 (平成 18) 年度 | (7 月) 共同学術調査の協定書に基づき民俗分野の調査を実施、受入 2 名。        |

### 1-3. 調査研究活動

教育普及活動重視の方向へシフトした平成 14 年度頃から調査研究活動は縮小し、郷土館職員のみで短期間の調査を実施している。以下に各分野の調査研究活動の概略を記す。

#### ① 自然分野

青森県の自然史の解明を目的に、調査地域を設定して年次計画により自然調査を実施してきた。平成 11 年度までに 5 地域の調査を行い、調査終了後には報告書を発行、企画展を開催していた。また、平成 16 年度までは自然調査員を委嘱して調査を行い、報告書の発行はしていないが企画展は開催した。これ以降は学芸員のみでの調査になり、報告書の発行、企画展の開催ともに行っておらず、令和 2 年度の調査でおおよそ県内全域の調査を終了した。

#### ② 考古分野

青森県の歴史解明を大きなテーマに、平成 15 年度まで発掘調査を実施し、13 市町村 21 箇所を調査した。その成果は出土品の整理作業後に報告書及び調査研究年報で公表してきた。平成 16 年度以降は、館蔵資料の精細な調査や県内の考古資料収集を中心に調査研究を行ってきた。

#### ③ 歴史分野

平成元年度までは館外での調査活動が行われ、青森市後潟の尻八館の発掘調査、県内各地の板碑調査等を実施した。その後は県内の仏像調査、近世海岸絵図調査を実施し、これ以降は館内で近世古文書・書画類、近現代の文書類の解読、整理と分析を行ってきた。これらの成果は調査報告書にまとめ、特別展の開催や常設展での展示に活用してきた。

#### ④ 民俗分野

青森県内に住む人々の伝統的な暮らしの有様や世代を越えてつながれてきた有形、無形の伝承資料を採集し、記録することをねらいに、特定の地域を調査地として、複数の調査員が現地に長期滞在して聞き取りを行う形で実施してきた。平成8年度まで行われた調査により17冊の報告書が刊行された。この後、無形民俗記録調査も同様の形で行われ、平成15年度以降は都市部の習俗や文化も調査対象とし、各学芸員が個別にテーマを設定して調査を進めるようになった。

#### ⑤ 産業・先人分野

産業分野は伝統的生産技術をテーマに調査を行い、県内の製炭業調査、伝統的木造和船調査、農機具生産調査、漁具生産調査、沿岸漁業調査、内水面漁業調査を実施した。平成17年度からは、県内の産業の変遷とそれらに係る景観やくらしの様子を写真資料等で確認する調査を行い、平成21年度からは収集・蓄積した写真・映像資料の分析と地図資料の読み取りを中心に調査を行った。先人分野は、平成13年に新しい展示室「輝いた郷土の先人たち」が開設されたことから新設され、展示室の準備として展示資料の収集から調査研究活動が始まった。

平成28年度からは産業・先人分野として収蔵資料を対象とした調査研究、整理作業を進めている。

#### ⑥ 美術分野

県立美術館が開館するまでの美術鑑賞の機会を郷土館が担うことになり、平成元年度に新設された。作家や作品の調査を行い、その成果を元に展示会を開催した。平成18年度に県立美術館が開館した後は、作家に関する調査テーマ・年次計画を設定した調査を実施している。

## 2. 活動方針の整理及び検討

### 2-1. 調査研究テーマに関する方針

各分野の調査研究テーマは、再開後の展示会開催を目標に年次計画を立てて新たに設定する。この中には収蔵資料に関する調査研究も含み、資料整理も兼ねた効率的な調査研究を進めるものとする。

また、調査研究テーマに関連した資料を所蔵している県内外の博物館等施設における資料調査のほか、現地調査を実施する。

### 2-2. その他検討課題

これまで、館内の調査研究に関わる作業場所、例えば受け入れ資料等の一時保管、収蔵前の調査のための部屋がなく収蔵庫の一部を利用してきたが、調査研究活動がスムーズに行えるよう、学芸員執務室に作業室を新設する。

また、様々な社会的事情により専門性の高い学芸員の確保が年々困難になってきているため、人材不足問題についても引き続き対策を検討していく。

## VI. 展示

### 1. 休館前の展示状況（常設展示、企画展示及び特別展示）

常設展示室では、考古、自然、歴史、民俗、りんご、わくわく体験ルーム、先人、風韻堂の8つの展示室において、収蔵資料の中から精選した資料を、模型、ジオラマ、映像などを効果的に使用して展示してきた。

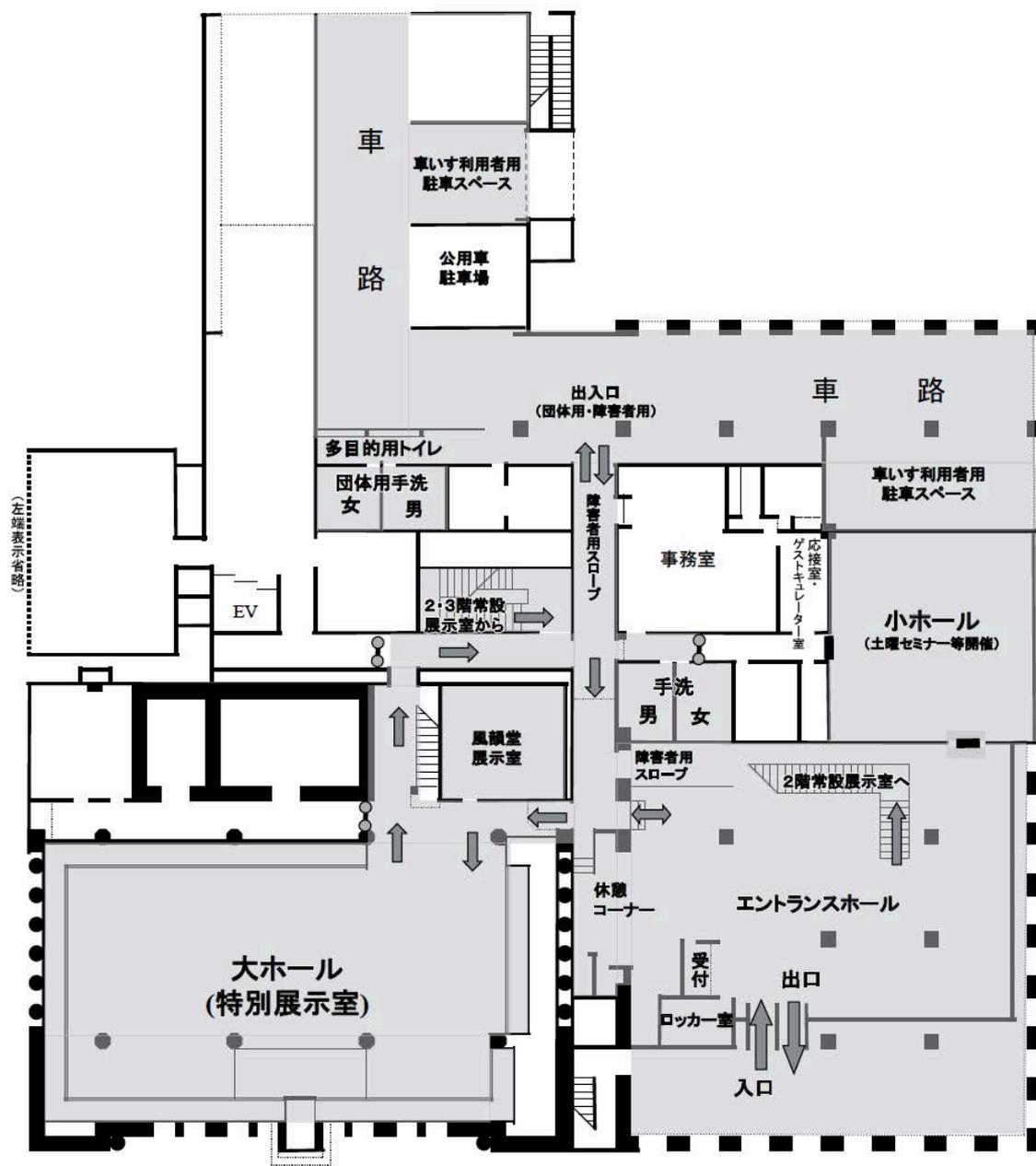
常設展示室には解説員を配置し、展示資料について分かりやすい解説や、解説資料の配付により、来館者の学習活動を支援してきた。

また、常設展示では扱えなかった特定のテーマや県民の関心の高いテーマについて、各方面から資料を集めて展示する特別展や民間事業者との共催展などにより、多彩な展示活動を実施してきた。

1-1. 常設展

① 1階

風韻堂展示室がある。



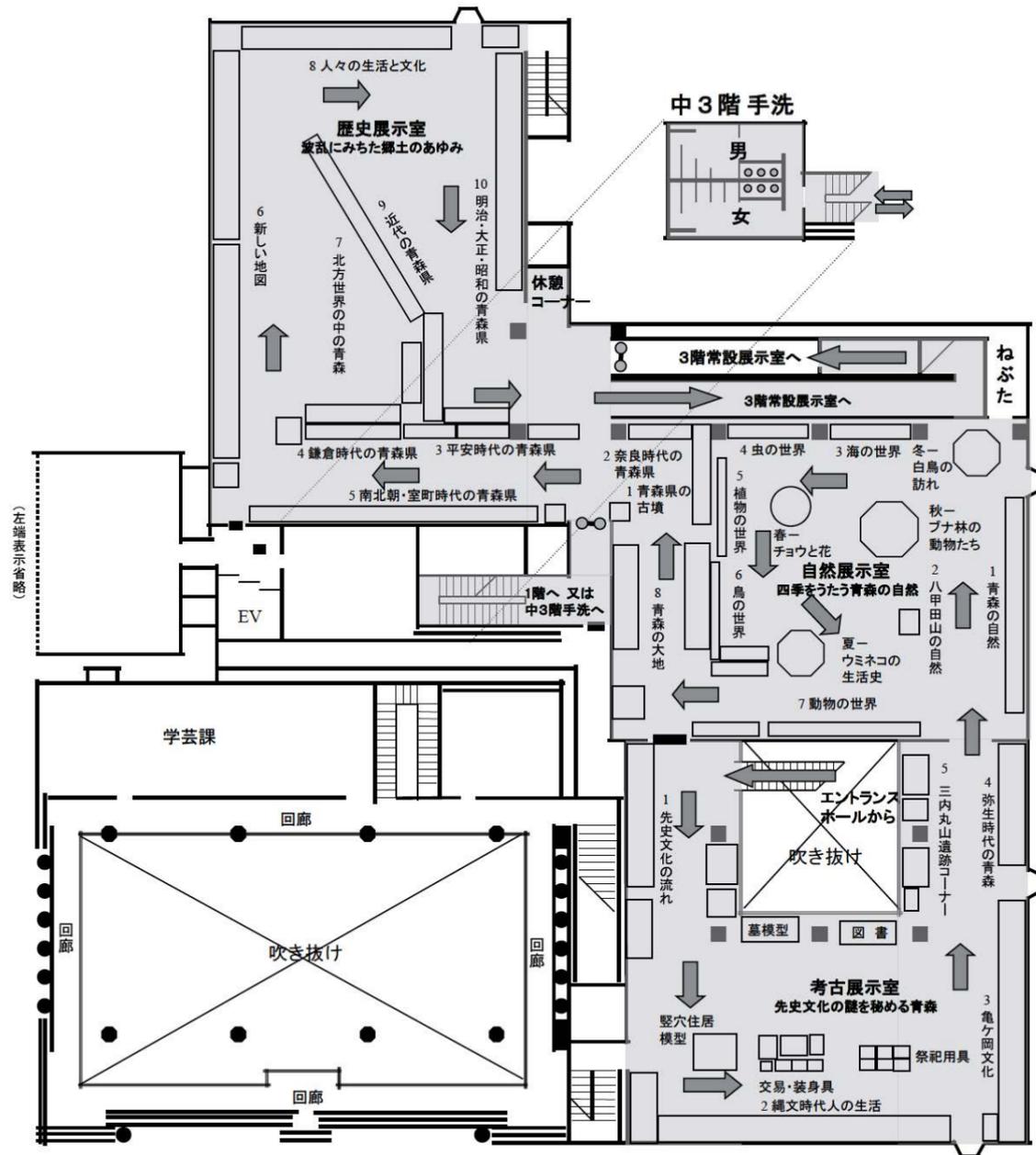
<風韻堂展示室>

大高興氏から寄贈された縄文時代晩期の出土品を中心とする風韻堂コレクションの展示室。コレクションの総数はおよそ 12,000 点に及ぶ。本コレクションのうち、亀ヶ岡遺跡から出土した優品 60 点余が県重宝に指定されており、亀ヶ岡遺跡の出土品が各地に散逸する中、地元に残された貴重な資料となっている。

室内の扁額は、「風韻堂」の命名者・棟方志功が揮毫したもの。

② 2階

考古、自然、歴史の3室がある。



<考古展示室：先史文化の謎を秘める青森>

旧石器時代～弥生時代までを扱っている。旧石器時代から縄文時代への移行を考える上で重要な位置を占める大平山元遺跡、本県に花開いた縄文文化の中でも重要な遺跡である亀ヶ岡遺跡、三内丸山遺跡、稲作の伝播を考える上で重要な砂沢遺跡（弘前市）、垂柳遺跡（田舎館村）など県内各地の遺跡・出土品を紹介している。

- 1 先史文化の流れ
- 2 縄文時代の生活
- 3 亀ヶ岡文化
- 4 弥生時代の青森
- 5 三内丸山遺跡コーナー

<自然展示室：四季をうたう青森の自然>

世界遺産「白神山地」のブナ林など、豊かな自然に恵まれた青森県。本県に生息する動物・植物・昆虫などを、ジオラマや標本・剥製で紹介している。昭和59（1984）年、青森市に落下した「青森隕石」は太陽系の起源を知る手がかり。青森県域が海の底だったことを物語る「イワキサシクジラ」の化石、地質年代や鉱物など、青森県の大地の成り立ちを知ることができる。

- 1 青森の自然
- 2 八甲田山の自然
- 3 海の世界
- 4 虫の世界
- 5 植物の世界
- 6 鳥の世界
- 7 動物の世界
- 8 青森の大地

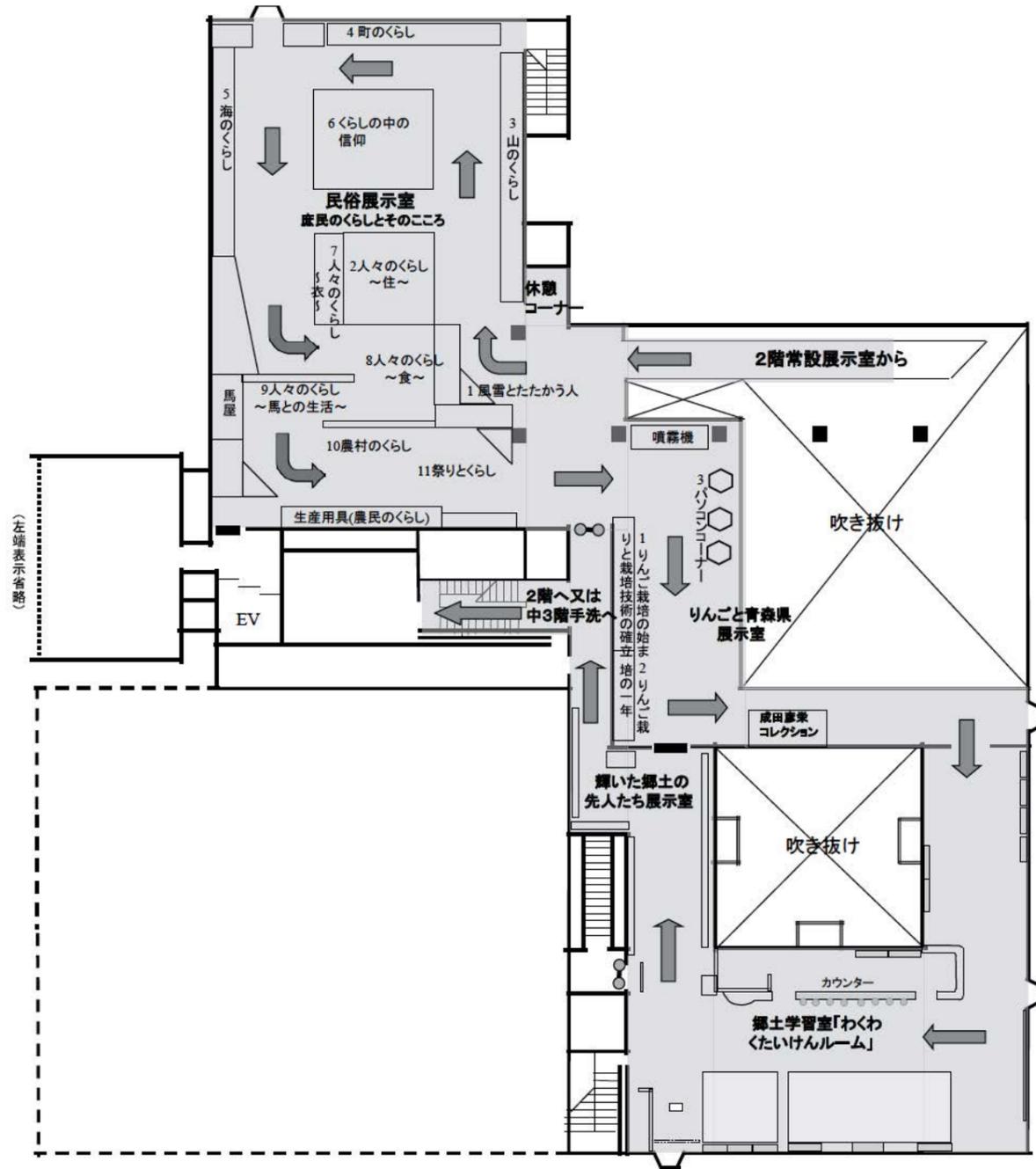
<歴史展示室：波乱に満ちた郷土の歩み>

奈良時代から現代まで、時代を追って本県の歴史を体感できる。蝦夷（えみし）と呼ばれた人々は、いったいどんな人たちだったのか。鎌倉・室町・戦国の武士は、農民は、どんな信仰を持っていたのか。江戸時代の津軽領・南部領では、どんな生活が営まれていたのか。明治・大正・昭和を経て、青森県はどうかわってきたのか。さらに、北方世界との関係を展示に盛り込んでいる。

- 1 青森県の古墳
- 2 奈良時代の青森県
- 3 平安時代の青森県
- 4 鎌倉時代の青森県
- 5 南北朝・室町時代の青森県
- 6 新しい地図
- 7 北方世界のなかの青森
- 8 人々の生活と文化
- 9 近代の青森県
- 10 明治・大正・昭和の青森県

③ 3階

民俗、りんご展示室、成田彦栄コレクション、わくわく体験ルーム、先人展示室がある。



<民俗展示室：庶民の暮らしとそのころ>

本州最北に位置する青森県。厳しい気候で知られている。しかし、その風土が生み出した生活は、実に豊かなもの。農具やコギン刺しの上着から、日々の暮らしの様子が想像できる。オシラサマやイタコの信仰など、人々の心のよりどころを紹介する。

- 1 風雪とたたかう人々
- 2 人々の暮らし～住～
- 3 山の暮らし
- 4 町の暮らし
- 5 海の暮らし
- 6 暮らしの中の信仰
- 7 人々の暮らし～衣～
- 8 人々の暮らし～食～
- 9 人々の暮らし～馬との生活～
- 10 農村の暮らし
- 11 祭りと暮らし

<りんご展示室：りんごと青森県>

りんごは青森県の基幹産業であり、全国の生産量の約半分を占める。しかし、産地としての地位が確立するまでには苦勞の連続。品種改良・技術改良の努力が、青森りんごのブランドを築いた。

ここでは、多様な品種と栽培技術の変遷を見ることができる。

- 1 りんごの栽培の始まりと栽培技術の確立
- 2 りんごの栽培の一年
- 3 パソコンコーナー

<わくわくたいけんルーム>

子どもたちの興味や関心を引き出す「体験ルーム」。自由に触れることができる昔の道具やおもちゃ、化石、体験用の着物などを取り揃えている。懐かしい昭和のレコードも聞くことができ、大人も楽しめる。本棚にある郷土に関する図書や図鑑も自由に閲覧できる。

その他、囲炉裏やイスがあり、ゆっくり寛ぐことができる。カウンターではミュージアム探検隊や各種クイズラリーの丸つけを行っている。

<先人展示室：輝いた郷土の先人たち>

独特の感性を板木にぶつけ、自らの作品を「板画」と呼んだ棟方志功。本格的な声楽家から歌謡界に転じ、偉大な足跡を残した淡谷のり子。本県の発展に貢献した「郷土の先人」を紹介している。

## 1-2. 特別展・企画展

特別展、企画展は、昭和48年の開館時より、多様なジャンルで開催している。

特別展は展示テーマに沿って収蔵資料と借用資料により展示を構成、県外の博物館等から展示の目玉となるような指定品も含めた資料を借用するなどし、特別展料金を設定して開催してきた。企画展は展示テーマに沿って収蔵資料を中心に展示を構成し、県内の博物館・資料館から補充する資料を借用し、通常料金で開催してきた。

指定管理者制度導入前は、大ホールの貸出により全国巡回の展示会などが開催されていた。指定管理者制度導入後は、指定管理者が大ホールを利用した事業を展開し、全国巡回の展示会や主催展示会を開催していた。これらの展示会は、全国的に知名度の高い芸能人や写真家、芸術家などの作品を紹介する内容であったことで入場者が多く、展示会ごとに様々な客層が訪れた。

郷土館主催の特別展、外部主催の特別展では基本的に図録を刊行し、販売も行った。

これまでの展示会開催の実績は資料編（別冊）のとおり。

## 1-3. その他企画展

### ① 県内での連携展示

県内の博物館や資料館をはじめ、館外の各施設を会場に、郷土の歴史や文化をテーマにした展示を行ってきた。2019（令和元）年、2020（令和2）年度の開催実績は以下のとおりである。

| 事業名                      | 展示会名称                  | 期間                            | 開催場所                | 観覧者数   |
|--------------------------|------------------------|-------------------------------|---------------------|--------|
| 2019（令和元）年度に実施した連携展      |                        |                               |                     |        |
| 七戸町立鷹山宇一記念美術館との連携展       | 馬とのくらし                 | 平成31年3月17日（日）<br>～4月14日       | 七戸町立鷹山宇一記念美術館       | 256名   |
| 青森県総合社会教育センターとの連携展       | 懐かしの青森風景（1）            | 平成31年4月1日（月）<br>～令和元年6月28日（金） | 青森県総合社会教育センター       | 5,367名 |
| 〃                        | 植物を楽しむ                 | 7月1日（月）<br>～8月30日（金）          | 〃                   | 3,359名 |
| 〃                        | 懐かしの青森風景（2）            | 3月2日（月）<br>～3月31日（火）          | 〃                   | 486名   |
| 青森県営浅虫水族館との連携展           | トンボとあそぼう               | 6月1日（土）<br>～7月28日（日）          | 青森県立浅虫水族館           | 5,334名 |
| 〃                        | さかなの缶詰博覧会<br>戦前の缶詰ラベル展 | 7月30日（火）<br>～9月29日（日）         | 〃                   | 8,759名 |
| 十和田ビジターセンターとの連携展         | 湖岸で見られる十和田火山の岩石        | 9月12日（木）<br>～11月3日（日）         | 十和田ビジターセンター         | 6,117名 |
| 一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社との連携展 | こけしのいる風景               | 9月25日（水）<br>～9月29日（日）         | リンクステーションホール青森2階展示室 | 436名   |
| 常盤ふるさと資料館あすかとの連携展        | 花田陽悟版画展                | 11月8日（金）<br>～12月8日（日）         | 常盤ふるさと資料館あすか        | 525名   |
| 2020（令和2）年度に実施した連携展      |                        |                               |                     |        |
| 常盤ふるさと資料館あすかとの連携展        | 今純三と青森県の版画家たち展         | 令和3年1月15日（金）<br>～2月14日（日）     | 常盤ふるさと資料館あすか        | 258名   |

|              |                          |                       |         |        |
|--------------|--------------------------|-----------------------|---------|--------|
| 県民福祉プラザとの連携展 | 青森市の風景～昭和時代の青森市にタイムスリップ～ | 令和3年1月19日(火)～3月14日(日) | 県民福祉プラザ | 7,398名 |
|--------------|--------------------------|-----------------------|---------|--------|

## ②国際交流展

### <メイン州立博物館との交流>

|              |   |
|--------------|---|
| 1997(平成9)年度  | 郷土館にて特別展「メイン州の自然と文化ー青森県メイン州友好協定締結記念ー」を開催。 |
| 1999(平成11)年度 | メイン州立博物館で特別展「青森とメインー時を越えた架け橋ー」を開催。        |
| 2004(平成16)年度 | 青森県メイン州友好協定締結10周年記念 写真展「メイン州の海と産業」を開催。    |

### <ハバロフスク地方郷土博物館との交流>

|              |   |
|--------------|---|
| 1995(平成7)年度  | 郷土館にて特別展「ロシア極東の自然と文化」を開催。   |
| 1997(平成9)年度  | ハバロフスク地方郷土博物館にて特別展「青森は北の日本の心」を開催。   |
| 2014(平成26)年度 | 交換写真展を実施。<br>(9月)ハバロフスク地方郷土博物館にて「縄文時代」を開催。<br>(11月～2月)郷土館にて「暖かい北ーロシアの北方民族「エヴェン人」の生活ー」を開催。 |
| 2015(平成27)年度 | 交換写真展を実施。<br>(9月)ハバロフスク地方郷土博物館にて「世界自然遺産 白神山地展」を開催。<br>(2月)郷土館にて「2013年のアムール川の洪水」を開催。       |
| 2016(平成28)年度 | 交換写真展を実施。<br>(9月)ハバロフスク地方郷土博物館にて「青森県の鳥類ー対馬隆コレククションー」展を開催。<br>(1月)郷土館にて「博物館の静物写真」展を開催。     |

## 2. 課題の抽出と整理

### 2-1. 常設展全般

- ・展示内容や情報が古く、陳腐化している。
- ・展示室ごとあるいは展示コーナーごとに展示替えを行ってきたため、デザイン性、色調、表示に統一性を欠く。
- ・2階歴史展示室と3階民俗展示室をつなぐスロープや、3階りんご展示室からわくわくたいけんルームへ向かう通路の活用ができていない。
- ・パソコンによる資料検索ができるようなシステムの構築ができていない。
- ・来館者がより深く知りたいと思っても、郷土館刊行の特別展図録や報告書、学芸員執筆の論文等を閲覧、利用するコーナーがない。
- ・考古展示室と歴史展示室の間にある自然展示室によって、歴史の流れが途切れている。

### 2-2. 各展示室

#### ①考古展示室

- ・1階エントランスホールから吹き抜けの構造になっており、外光が入り込む上に空調を整えることが難しい。
- ・南側の展示ケースの背面が壁に付いているため、結露が発生することがある。

#### ②自然展示室

- ・季節のジオラマなど固定化された大型の展示物が多く、開館時から同じ展示が続いている。
- ・後半に大地の歴史（地史）の展示が挟まれており、現生の自然との境がなく、時系列的にも唐突感がある。

#### ③歴史展示室

- ・映像展示機器類（動く絵図、漂流民ドラマ上映等）が故障しても、部品が高価または無いことで修理ができない。
- ・中世史の展示内容が、初心者にはわかりにくい構成となっている。
- ・展示内容が、やや津軽地方に偏っている。

#### ④民俗展示室

- ・明治から昭和初期の民具の展示が多く、昭和後期から平成以降に生まれた観覧者の生活年代から離れており、共感性に乏しく興味関心を惹きにくい。
- ・露出展示の資料が多いが、山樵用具のオノや鉄製の鋭利な漁具類もあるため、観覧者の安全性にやや配慮が欠けている。
- ・観覧者がタッチパネルで選択しながら、各地域の民俗行事や儀礼の記録映像を観覧できるブースがあるが、システムや手法が古くなっている。
- ・重有民「泊のまるきぶね」の展示・活用ができていない。

#### ⑤りんご展示

- ・りんご生産史以外の産業史（稲作等）について紹介がない。

#### ⑥わくわくたいけんルーム

- ・3階の一番奥にあり、途中の経路もバリアフリー化していないため、小さな子ども連れの親子が入室しにくい。

#### ⑦先人展示室

- ・ほかの展示室との関係性、流れが理解しにくい場所にある。

### 2-3. 特別展・企画展

休館前の特別展・企画展は5年計画を作成し、それぞれ準備期間を3年・2年としていた。また、準備の進捗状況や人事異動を考慮して毎年度見直しを行っていた。展示テーマは学芸員から募集して主担当を決め、特別展は各分野がかかわる総合的な内容、企画展は特定の分野が中心となるような内容が多かった。総合的な内容の特別展を毎年度開催することで全分野が常に特別展に係ることになり、準備期間を3年としたものの、その年の特別展が終了してから翌年の特別展の本格的な準備に入ることを繰り返してきた。これに企画展の準備も加わり、展示会の準備に追われる状況が続いた。

指定管理者が開催する全国巡回の展示会は、集客が見込める夏休み期間に開催を希望することが多く、特別展の開催はそれ以外の時期になることがほとんどだった。

### 2-4. その他企画展

県内の社会教育施設や観光施設と連携する「連携展」という形で小展示を行ってきた。この展示活動も結構な準備が必要で、館内の事業や相手施設との調整を行うことも含め労力を要している。

### 3. 展示構成の検討

#### 3-1. 展示構成の考え方

青森県の特徴を知り、理解を深めてもらうことを目指し、青森県の自然・歴史・文化を総合的・多面的に学ぶことができる展示を構成する。

#### 3-2. 展示コンセプト

### 郷土青森の多様性に富んだ自然が育んできた歴史と文化を 多面的に学ぶ総合展示

#### 「交流」から紐解く青森の歴史

大地の成り立ちから現代へ時の流れに沿った展示を構成し、北海道と本州の間において、南北の交流の重要な拠点となってきた本県の歴史の特徴を紹介する。

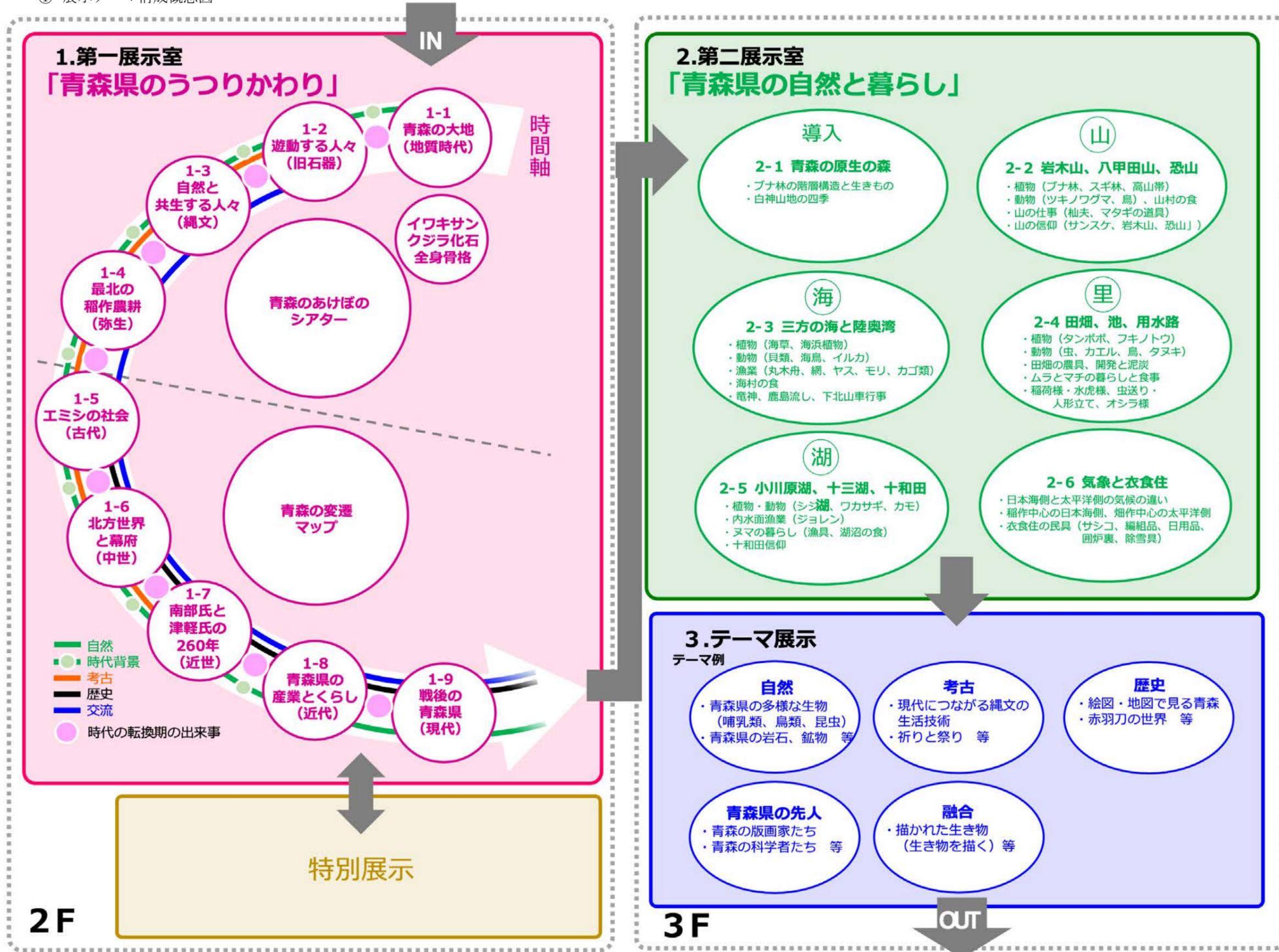
#### 青森県の自然環境と、そこに暮らす人々の営みを紹介

青森県には地形や気象によって様々な自然環境があり、人々はそれぞれの生活場所で環境に合わせた暮らしを営んできたことを、環境シーンごとに紹介する。

#### より多面的に青森をとらえる可変的な展示

テーマごとに可変できる展示を設け、研究成果や時代のニーズを反映できるよう構成し、何度でも来館してもらえる変化のある内容の展示とする。

① 展示テーマ構成概念図



## 1. 第一展示室

### 「青森県のうつりかわり」

#### 「交流」から紐解く青森の歴史

青森県の大地の基盤は、南方から海洋プレートによって運ばれてきた中生代の付加体という地層からなり、県内に点在している。その基盤の地層を厚く覆うのは、深海～浅海に堆積した新生代新第三紀の地層で、海底火山活動の噴出物がはさまれている。やがて奥羽山脈周辺から陸化が始まり、陸域での火山活動も活発化する。

新生代第四紀に入ると温暖な時期と寒冷な時期が交互に繰り返されるようになり、寒冷な時期に大陸と地続きになると大陸から動物たちが渡ってきた。そして、温暖な時期になって大陸と日本列島が海で隔てられると、ある種は独自の進化をとげ、ある種は絶滅した。この繰り返しにより、日本列島の動物相が形成されていった。

ほぼ現在の姿になった青森県域に人々が現れるのは約3万年前の旧石器時代。氷河期の寒冷な気候のなか、石器を使いこなし、食料を求め遊動する生活であった。

氷期が終わり、温暖な環境に変化する中、約16,000年前に土器が発明され、縄文時代へと移行する。ブナ林を中心とする落葉広葉樹の森の恵みから、縄文時代の人々は約1万年以上にわたり、採集・漁撈・狩猟を基盤とした定住生活を行った。その中で、縄文人は丸木舟で頻りに津軽海峡を行き来し、北海道の人々と交流した。両者は同じ文化圏を形成していた。

弥生時代には、西日本の稲作文化を取り入れながらも、縄文的な生活を続けていた北海道とのつながりも維持していた。

北海道との繋がりは古代以降も続く。津軽海峡は、北海道と本州を結ぶ「海の道」であった。さらに日本海をとりまく一帯に目を転じると、そこには「環日本海地域」とよばれる文化圏が形成されていく。

鎌倉時代から室町時代にかけては、津軽半島十三湊が交易の拠点となっていた。

江戸時代になると、上方から来る北前船の交易や本県域から北海道のニシン漁への出稼ぎなどで人や物資の往来があり、アイヌとの交流も盛んに行われた。

江戸時代後期には、蝦夷地（北海道）近海に出没する外国船に備え、弘前藩、盛岡藩など北奥諸藩は蝦夷地警備を命じられた。

明治時代は戊辰戦争で幕を開け、廃藩置県後青森県が誕生した。リンゴの栽培も始まり、産業の近代化が進み、さらに、鉄道や連絡船といった交通も整備され、人々の生活も様変わりする。

大正時代から昭和時代には、青森・弘前・八戸などが近代都市として成長した。太平洋戦争下で、空襲により大きな被害を受けたが、戦後は民主化へ、昭和30年頃からの高度経済成長によって地域社会の近代化が進み、経済も飛躍的に発展した。

本州最北端に位置し、三方を海に囲まれた青森県は、豊かな自然環境のなか、列島の南北から多くの人や物資、情報がダイナミックに行き交い、独特な歴史と文化が育まれた。

#### ■イワキサンクジラ全身骨格化石

県立郷土館が発掘調査した約700万年前のヒゲクジラ

全身骨格の化石と産状写真、発掘状況とともに展示。

背景に、同じヒゲクジラ類のミンククジラ全身骨格を映像で示し、標本と比較することでクジラの進化について解説する。

イワキサンクジラが生きていた頃の環境（深海）についても紹介する。

#### ■青森のあけぼのシアター

青森県域の先史時代を環境と暮らしの視点で紹介

大地とそこに息づく人々の姿を、俯瞰とアイレベルで展開。

スタートは現代人のルーツである新人（ホモ・サピエンス）が出現した20万年前。人類が日本列島に出現し、青森県域での先史時代の人々の暮らしの様子を描き、集落全体を見渡す俯瞰映像に。最後は稲刈りをする家族の姿。

遺跡分布も挟みながら、「俯瞰での全体把握」と「アイレベルの人々のくらしの情景」の両方を映像で紹介。

#### ■青森の変遷マップ

青森県域の古代から現代までの「ヒト」と「モノ」の交流を地図をベースにして紹介

スタートは、古代の人々が行き交う北海道ー青森間、津軽海峡の地図。中世には、日本海を大型船が往来し国内や大陸の産物が列島を駆け巡る。拠点となる湊の一つが十三湊であった。環日本海地域が示され、北前船が商人と交易品を乗せて移動。

藩政時代の津軽氏と南部氏の領地は、近代に入って青森県となる。北海道との架け橋となった青函連絡船や、全国へとつながる鉄道網、現在は青函トンネルを新幹線が走り抜ける。

各時代の流通・交流を地図上に描き出しながら、青森をとらえる映像。

## 2. 第二展示室

### 「青森県の自然と暮らし」

#### 青森県の自然環境と、そこに暮らす人々の営みを紹介

本州最北端にある青森県は三方を海に囲まれ、中央には陸奥湾を抱き、長い海岸線をもつ。また、火山が連なる奥羽山脈や隆起地形の白神山地、平野、湖と様々な自然環境がある。奥羽山脈によって県の西側と東側の気象に違いが生じ、初夏の東側では冷たい東風（ヤマセ）の影響を受けることが多く、冬の西側では大雪が降ることが多い。

青森県の様々な自然環境のもとで棲息する生きものたちの姿と、資源を活かした環境に応じて暮らしを営む人々の知恵と技術と伝承を、山、海、里、湖のシーンに分けて紹介する。

## 3. テーマ展示

### より多面的に青森をとらえる可変的な展示

研究成果や収蔵コレクションをテーマごとに紹介する。定期的にテーマを変えて展示替えを行う。

#### テーマ例

##### 自然

- ・青森県の多様な生物（哺乳類、鳥類、昆虫）
- ・青森県の岩石、鉱物 等

##### 考古

- ・現代につながる縄文の生活技術
- ・祈りと祭り 等

##### 歴史

- ・絵図・地図で見る青森
- ・赤羽刀の世界 等

##### 青森県の先人

- ・青森の版画家たち
- ・青森の科学者たち 等

##### 民俗

- ・あおもり昔のくらし 等

##### 各分野融合

- ・描かれた生き物（生き物を描く） 等

3-4. 展示テーマ一覧と主な展示資料

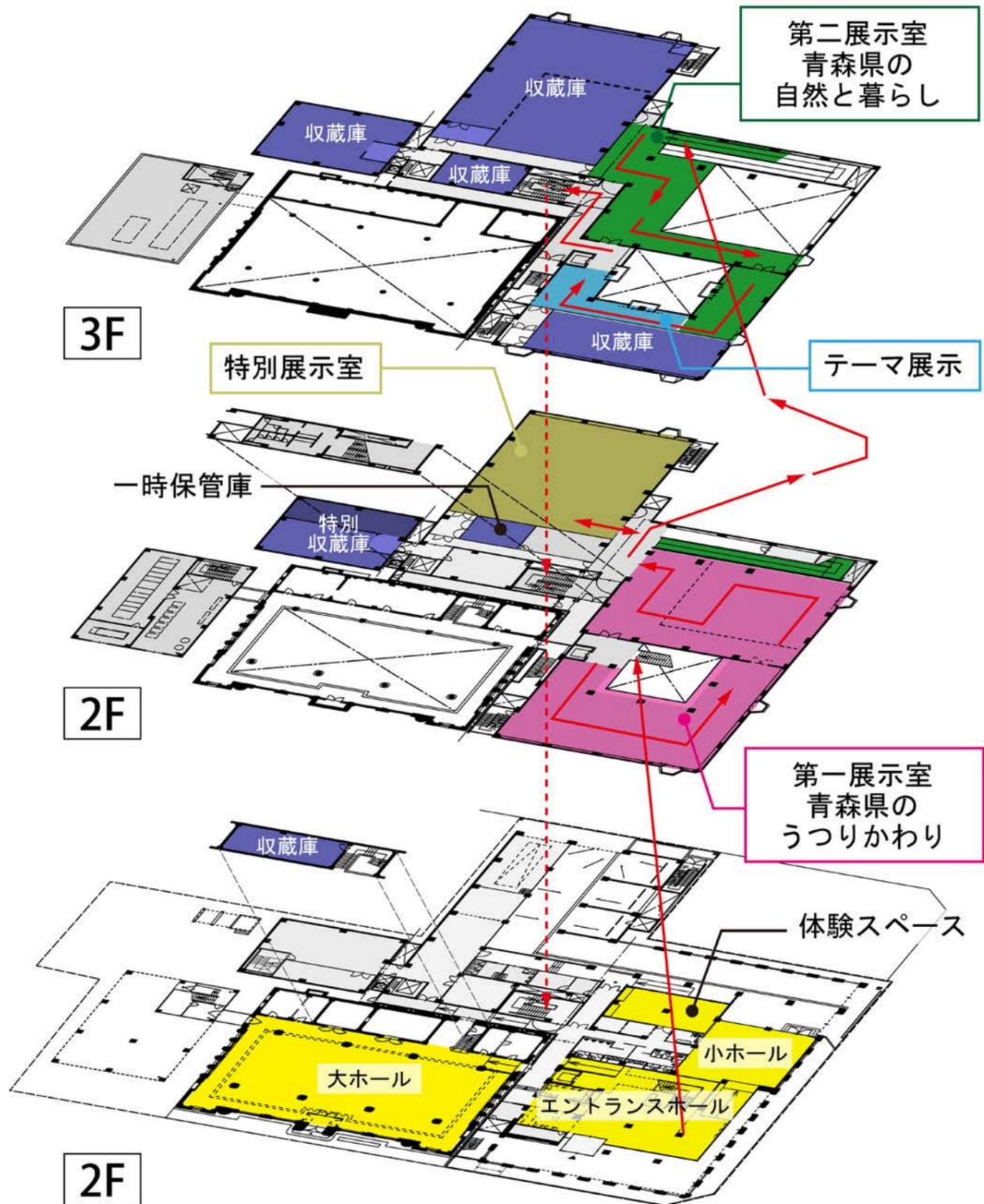
| 区分            | 主題          | 概要   | 展示テーマ            | 担当分野     | 展示資料候補  |
|---------------|-------------|--|------------------|----------|---|
| 第一展示室<br>(2F) | 青森県のうつつりかわり | 「交流」から紐解く青森の歴史                             | 青森の大地(地質時代)      | 自然       | ・年表<br>・地質図<br>・岩石・化石標本<br>・地形区分図<br>・氷河時代の動物化石<br>・4つの活火山資料<br>・十和田市洞内小田の火砕流に埋もれた埋没林<br>・イワキサクジラ化石標本+ミンククジラ 骨格 *地史シンボル展示                       |
|               |             |  | 遊動する人々(旧石器)      | 考古/自然    | ・大平山元II・III遺跡出土品<br>・丸山遺跡出土品<br>・五川目(6)遺跡出土品 [借用] 石器のみ  |
|               |             |  | 自然と共生する人々(縄文)    | 考古/自然    | ・【重文】大石平遺跡出土品<br>・【県重宝】亀ヶ岡遺跡出土品<br>・【県重宝】大平山元I遺跡出土品<br>漆製品、木製品、剥ぎ取り含む<br>・黒曜石、ヒスイ、緑色岩製石斧、アスファルト等  |
|               |             |  | 最北の稲作農耕(弥生)      | 考古/自然    | ・【重文】宇鉄遺跡出土品<br>・垂柳遺跡出土品<br>・大曲遺跡出土品 炭化米、木製品含む<br>・田舎館村前川遺跡<br>・碧玉・メノウ・ガラス玉   |
|               |             |  | <映像>青森のあけぼのシアター  | 自然/歴史    | ・大地とそこに息づく人々の姿を、俯瞰とアイレベルで展開する映像<br>・時代範囲: 新人出現の20万年前から弥生時代まで  |
|               |             |  | エミシの社会(古代)       | 考古/歴史/自然 | ・【県重宝】蕨手刀<br>・野木遺跡出土品 [借用]<br>・猪ノ鼻遺跡出土品 [借用] 木製品、鉄製品含む<br>・須恵器  |
|               |             |  | 北方世界と幕府(中世)      | 考古       | ・青磁浮牡丹文香炉、尻八館跡出土品、外国銭<br>・火炉(風炉)、十三湊遺跡出土品 [借用]<br>・板碑(レプリカ)<br>・【国宝】「赤糸威鎧」「白糸威鎧」(写真)<br>木製品、鉄製品含む<br>・十三湊国際交易関係資料(陶磁器、金属製品、木製品、銭等(五所川原市市教委所蔵品)) |
|               |             |  | 南部氏と津軽氏の260年(近世) | 歴史/自然    | ・【県重宝】「正保国絵図」<br>・弘前城下ジオラマ<br>・八戸城下之図(複製)<br>・【県重宝】「市川日記」関係資料<br>・救荒食関係資料<br>・北前船交易関係資料<br>(田名部湊図屏風(寄託資料)、船鑑札、庵屋使用印、陶磁器)                        |
|               |             |  | 青森県の産業とくらし(近代)   | 歴史/民俗    | ・日本鉄道陸奥地方画譜<br>・林檎栽培の道具<br>・電信電話関係資料<br>・生活改善運動関係史料<br>・津軽塗関係資料<br>・交通関係資料  |
|               |             |  | 戦後の青森県(現代)       | 歴史/民俗    | ・近代の青森県による各政策(産業振興、大型開発等)計画資料<br>・観光絵ハガキおよびポスター類(明治大正昭和)<br>・昭和期モノクロ写真資料(佐々木直亮氏ほか)  |
| <映像>青森の変遷マップ  | 自然/歴史       | ・ヒトとモノの交流を地図をベースに展開する映像<br>・時代範囲: 古代から戦後まで |                  |          |   |

| 区分             | 主題         | 概要   | 展示テーマ            | 担当分野  | 展示資料候補   |
|----------------|------------|--|------------------|-------|--|
| 第二展示室<br>(3F)  | 青森県の自然と暮らし | 介 青森の自然環境と、そこに暮らす人々の民俗を紹介  | 導入: 青森の原生の森      | 自然    | ・ブナ林の階層構造と生きもの<br>・白神山地の四季   |
|                |            |  | 「山」岩木山、八甲田山、恐山   | 自然/民俗 | ・植物(ブナ林、スギ林、高山帯)<br>・動物(ツキノワグマ、鳥)、山村の食<br>・山の仕事(杣夫、マタギの道具)<br>・山の信仰(サンスケ、岩木山、恐山)               |
|                |            |  | 「海」三方の海と陸奥湾      | 自然/民俗 | ・植物(海草、海浜植物)<br>・動物(貝類、海鳥、イルカ)<br>・漁業(網、ヤス、モリ、カゴ類)<br>・海村の食<br>・竜神、鹿島流し、下北山車行事                 |
|                |            |  | 「里」田畑、池、用水路      | 自然/民俗 | ・植物(タンポポ、フキノトウ)<br>・動物(虫、カエル、鳥、タヌキ)<br>・田畑の農具、開発と泥炭<br>・ムラとマチの暮らしと食事<br>・稲荷様・水虎様、虫送り・人形立て、オシラ様 |
|                |            |  | 「湖」小川原湖、十三湖、十和田湖 | 自然/民俗 | ・植物・動物(シジミ、ワカサギ、カモ)<br>・内水面漁業(ジョレン)<br>・ヌマの暮らし(漁具、丸木舟、湖沼の食)<br>・十和田信仰                          |
| 気象と衣食住         | 自然/民俗      | ・日本海側と太平洋側の気候の違い<br>・稲作中心の日本海側、畑作中心の太平洋側<br>・衣食住の民具(サンコ、編組品、日用品、囲炉裏、除雪具) |                  |       |  |
| テーマ展示室<br>(3F) | (可変)       | 森を可変的な展示で、より多面的に青森を表現する  | 青森県の多様な生物        | 自然    | ・岩石<br>・鉱物<br>・化石<br>・哺乳類<br>・鳥類<br>・昆虫  |
|                |            |  | 考古               | 考古    | ・現代につながる縄文の生活技術<br>・折りと祭り 等  |
|                |            |  | 歴史               | 歴史    | ・絵図<br>・地図で見る歴史<br>・赤羽刀の世界 等   |
|                |            |  | 青森県の先人           | 歴史    | ・青森の版画家たち<br>・青森の科学者たち<br>・佐藤節の植物画 等   |
| 融合             | 各分野        | ・描かれた生き物(生き物を描く)等  |                  |       |  |

※各項目には、なるべく県内にある国指定・県指定の文化財を盛り込み、実物展示が難しい場合は、写真や映像等で紹介する。

4. 展示イメージ

<ゾーニング・動線図>



【展示テーマ構成】

●第一展示室 青森のうつりかわり

1-1. 青森の大地（地質時代）

\*地史シンボル展示：イワキサクジラ化石標本+ミンククジラ 骨格映像

1-2. 遊動する人々（旧石器）

1-3. 自然と共生する人々（縄文）

1-4. 最北の稲作農耕（弥生）

<映像>青森のあけぼのシアター

1-5. エミシの社会（古代）

1-6. 北方世界と幕府（中世）

1-7. 南部氏と津軽氏の260年（近世）

1-8. 青森県の産業と暮らし（近代）

1-9. 戦後の青森県（現代）

<映像>青森の変遷マップ

●第二展示室 青森の自然と暮らし

2-1. 導入：青森の原生の森

2-2. 「山」岩木山、八甲田山、恐山

2-3. 「海」三方の海と陸奥湾

2-4. 「里」田畑、池、用水路

2-5. 「湖」小川原湖、十三湖、十和田湖

2-6. 気象と衣食住 自然/民俗

●テーマ展示

<テーマ例>

青森県の多様な生物：岩石・鉱物・化石、哺乳類・鳥類・昆虫 等

考古：現代につながる縄文の生活技術、祈りと祭り 等

歴史：絵図・地図で見る青森、赤羽刀の世界 等

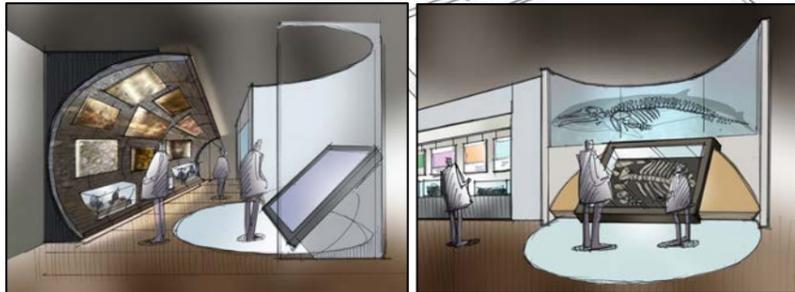
青森県の先人：青森の版画家たち、青森の科学者たち 等

融合：描かれた生き物（生き物を描く）等

**2F 第一展示室：青森県のうつりかわり**

「交流」から紐解く青森の歴史

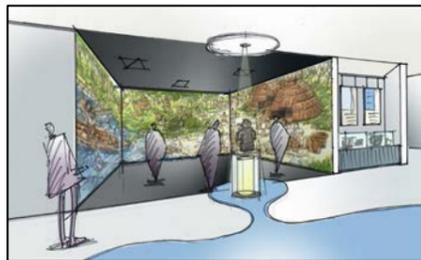
**1-1 青森の大地（地質時代）**



2億5千万年前の地層をイメージしたトンネルが来館者を誘う

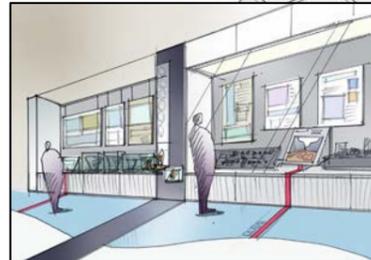
イワキサクジラ化石標本

**青森のあけぼのシアター**



先史時代を環境とくらしの視点で紹介

**1-2 遊動する人々（旧石器）**



時代の変換期や時代背景とともにわかりやすく紹介

**青森の変遷マップ**



ヒトとモノの交流について地図をベースに紹介

**1-7 南部氏と津軽氏の260年（近世）**



北前船交易やアイヌとの交流などを紹介

**3F 第二展示室：青森県の自然と暮らし**

**2-3. 「海」三方の海と陸奥湾**

**2-2. 「山」岩木山、八甲田山、恐山**

**2-1. 導入：青森の原生の森**

**3F テーマ展示**

**2-4. 「里」田畑、池、用水路**

**2-5. 「湖」小川原湖、十三湖、十和田湖**

**2-6. 気象と衣食住 自然/民俗**

**2F 特別展示室**

**1-9. 戦後の青森県（現代）**

**<映像> 青森の変遷マップ**

**1-7. 南部氏と津軽氏の260年（近世）**

**1-1. 青森の大地（地質時代）**

**1-2. 遊動する人々（旧石器）**

**1-3. 自然と共生する人々（縄文）**

**<映像> 青森のあけぼのシアター**

**2F 第一展示室：青森県のうつりかわり**

**1-8. 青森県の産業とくらし（近代）**

**1-6. 北方世界と幕府（中世）**

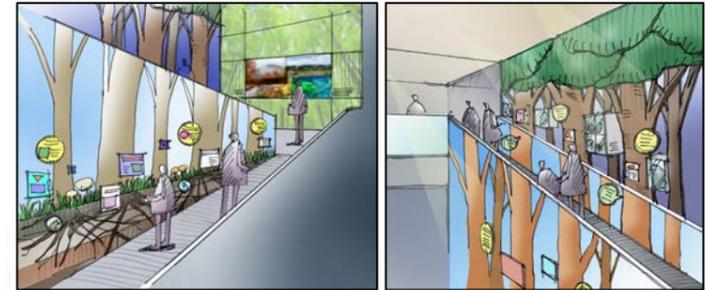
**1-5. エミシの社会（古代）**

**1-4. 最北の稲作農耕（弥生）**

**3F 第二展示室：青森県の自然と暮らし**

青森県の自然環境と、そこに暮らす人々の営みを紹介

**3F 導入 青森の原生の森（ブナ林の生態）**



歴史（2F）と現在の自然・民俗をつなぐ展示

**2-3[海]、2-4[里]**



左：「里」のコーナー 里の生態と農業に関する民俗を紹介  
右：「海」のコーナー 海の生態と漁業などの民俗を紹介

**3F テーマ展示**

より多面的に青森をとらえる可変的な展示



システムレールと可動什器など可変性の高い展示手法で展開

## VII. 教育普及活動

### 1. 休館前の教育普及活動状況

#### 1-1. 教育普及活動の種類と概要

##### ①一般向け

###### ・土曜セミナー

土曜日に実施し、郷土館職員またはゲストキュレーターが、本県の歴史や文化、自然などをテーマにして講演等を行う。また、体験型イベントも実施。

###### ・自然観察会

野外での自然観察を通じて自然に親しみ、自然の素晴らしさを学ぶ。夏・秋の2回、郷土館職員またはゲストキュレーターが講師となって実施。

###### ・あおもり街かど探偵団

古い建物や街並みを郷土館職員が案内して散策し、地域の歴史を探る。年2回実施。

###### ・移動博物館

学校・公民館や福祉施設等において、要望のあったテーマに応じて郷土館資料を展示し、解説や体験学習を行う。

###### ・講師派遣事業

県内市町村の各機関や団体からの依頼に応じて、郷土館職員が自分の専門分野を活かした講演等を行う。

##### ②子ども向け

###### ・出前授業

実物資料を持参して学校の学習内容に応じた資料展示や解説、体験活動を行い、児童生徒の学習活動を支援する。

###### ・ミュージアム探検隊

博物館への興味・関心を高められるように、児童生徒が展示資料に関するクイズを解きながら展示室を観覧する。

###### ・夏・冬休みこどものくに

夏・冬休み中の子どもたちを対象に、もの作りや体験活動を行う。

###### ・郷土館クイズラリー

夏・冬休み中の子どもたちを対象に、ミュージアム探検隊よりも問題数を増やしたクイズを実施する。

###### ・スチューデント・キュレーター

中・高校生が訪日外国人旅行者を郷土館内外で案内するなど、博物館活動に参加してもら

うとともに、生徒が郷土への理解を深める機会を提供する。

- ・調べ学習応援団

児童生徒の調べ学習を支援するため、子どもたちの質問に対してヒントや調査方法を提示する。※現在ほとんど問い合わせがない

### ③教員向け

- ・授業に役立つ博物館研修

県内小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、郷土館の教育普及事業等の学校利用について研修を実施する。

### ④その他

- ・博物館実習の受入

学芸員資格取得を目指す大学生等を対象にした実習を実施する。

- ・レファレンス・サービス

主に郷土の歴史・文化、自然に関する一般からの問合せに対し、学芸員が回答または関係資料を紹介する。

- ・展示解説及び解説案内

学校団体への展示解説や一般への解説案内を解説員が行う。(指定管理者)

## 1-2. 平成12年度からの活動状況と問題点

- ・平成12年度

平成12年度までに、土曜セミナー、ミュージアム探検隊、親子自然観察会、夏休みこどもの国、きのこ講座、もの作り講習会、考古学講座、ふるさと歴史講座などの活動を実施してきた。

- ・平成13年度

民俗学講座を追加した。

- ・平成14年度

小中高等学校の学校週5日制完全実施や「総合的な学習の時間」の導入に伴い、児童生徒に対応する事業の充実を図るため、ギャラリートーク、土曜セミナー、郷土館講座(講座をまとめた)、自然観察会、夏休みこどもの国、ミュージアム探検隊を追加した。

- ・平成15年度

移動博物館・出前授業、調べ学習応援団、冬休みずぐり回し大会、クイズ100問に挑戦(郷土館クイズラリーの前身)を追加した。

ギャラリートークの充実、ミュージアム探検隊を毎週土・日及び祝日実施へ拡大、(前年

度作成したプログラムや事例集に基づく) 学校との連携のための「移動博物館」や「調べ学習応援団」の実施など一層の充実を図った。教育普及事業はここで大幅に増えたことになる。

- ・平成 16 年度

専任の担当職員 1 名を配置した。また、さらなるサービス充実を図るため、夏場の開館時間を 9 時～18 時に延長し、月曜休館をなくした。

- ・平成 18 年度以降

授業に役立つ博物館研修、平成 21 年度に講師派遣、平成 24 年度にあおもり街かど探偵団、平成 25 年度に博物館の仕事普及啓発事業、令和元年度にスチューデント・キュレーターと、教育普及事業の拡充は続いた。

## 2. 活動方針の整理及び検討

小中高等学校の学校週 5 日制完全実施や「総合的な学習の時間」の導入に伴い、児童生徒に対応する事業の充実を図るため、平成 14 年度以降、教育普及活動（事業）重視の方向へシフトしてきた。再開後は博物館活動全体のバランスを考慮し、調査研究及び資料管理といった基本的な活動を行いつつ教育普及活動を展開する必要がある。このため、外部人材（※）の活用を図ることについて検討を進めていく。

※外部人材：現在のゲストキュレーター（客員学芸員）のみならず、より幅広いボランティアや「友の会」的組織（後援団体）なども要検討

## VIII. 管理運営・広報活動

### 1. 休館前の管理運営状況

#### 1-1. 管理運営体制

郷土館は開館以来、管理部門の業務を担う総務課と学芸部門の業務を担う学芸課の2課体制で、学芸課内ではさらに、取り扱う資料の分野等ごとに業務を遂行してきた。

平成24年度において、公の施設の管理運営については「指定管理者制度によることを基本としつつ、それによることができない施設については、効果的かつ効率的な管理運営を推進」（平成20年12月策定 青森県行財政改革大綱（H21～H25））することとされていたため、他県の状況も調査しながら検討した結果、学芸業務とそれに付随する管理業務を設置者が、それ以外の業務（施設管理、広報、解説員業務等）は指定管理者が行うという、島根県や愛媛県の県立博物館で行われていた「一部指定管理」の体制に移行した。

指定管理者には地元新聞社と設備管理企業などによるグループ体選ばれ、その専門性を活かした広報力や効率的な施設管理が期待されたものの、指定管理者には県から定額の指定管理料が支払われるだけで観覧料収入その他のインセンティブ的要素がなかったことや、年限を区切って指定されるため安定的・継続的な人材育成が求められる解説員業務との親和性が低いといった課題があり、制度導入によって期待された効果が十分に発現されたとは評価しがたい状況であった。

このほか、設置者の附属機関として、学校教育・社会教育関係者と学識経験者で構成される「青森県立郷土館協議会」が置かれ、館の運営に関し各委員から多様な意見をいただいていた。

#### 1-2. 誘客活動

常設展示や特別展・企画展などの展示活動のほか、誘客を促進するための取組として「国際博物館の日」（5月18日）、「東北文化の日」（10月最終土曜日とその翌日）にちなんだ無料開放日の設定、5月の大型連休に合わせた旧館（登録有形文化財）めぐりやバックヤードツアー、休日に行う館内クイズラリーや解説員による常設展示解説案内などを行ってきた。

無料開放日は通常期に比べて多くの来館者があり、バックヤードツアーも目にする機会の少ない収蔵庫などを案内し好評を得ている。

#### 1-3. アメニティ機能

ミュージアムショップやミュージアムカフェを備えた博物館は少なくないが、郷土館にはいずれもないため、設置を求める声が寄せられている。

#### 1-4. ボランティア活用や地域との交流

友の会のような組織はこれまでなく、また、地域交流の機会も少なかった。

## 2. 管理運営上の課題と展望

### 2-1. 管理運営体制

長期休館中の現在は指定管理者による管理から県直営に移行しているが、設置者において一定の方針に基づき指定管理者制度を採り入れていたことを踏まえると、再開後は県直営以外の方法による管理に再び移行することが考えられる。その際、平成24年度～令和2年度の「一部指定管理」下における成果と課題を改めて検証した上で、県直営、指定管理のほか、PPP/PFIなどのコンセッション方式（施設の所有権を公共が有したまま、民間事業者がインフラの事業運営に関する権利を長期間にわたって付与する方式）なども選択肢に加え、最適な管理運営方法を検討する必要がある。

また、管理部門・学芸部門という分課の考え方だけでは誘客や他機関との連携など現在の博物館に求められる機能・役割に必ずしも十分に対応しきれないこと、学芸課内における各部門（分野）の特性に沿った活動は、専門性の発揮という面では利点が認められるものの、館の運営方針を具現化する組織マネジメントの観点からは課題も見受けられることから、例えば総務部門・学芸部門・地域連携（誘客）部門などの体制に再編することも含めた検討が求められる。

さらに、受付・展示室対応など来館者とのコミュニケーションを解説員らが中心となって担ってきた開館以来の体制についても、交流の場としてのフリースペースが設置されるこの機に、受付・展示室などに配置するスタッフに求められる役割を改めて検討する必要がある。

### 2-2. 誘客活動その他、交流を生み出す活動

集客力のある特別展の開催は博物館における最大の誘客活動であり、感染防止対策との両立を図りながら開催していくことが求められる。また、長寿命化改修では、公開承認施設として十分な機能を有する特別展示室を整備する方針としているが、特別展示室は2～3階にわたる常設展示室の中間に位置することになり、特別展だけを観覧したいというニーズを満たしづらい配置となるため、誘客動線の在り方について検討する必要がある。

なお、交流やにぎわいを創出するため、1階部分に県民や観光客などが立ち寄れるフリースペースの新設や、旧館（D棟）に新たにミュージアムショップ、ミュージアムカフェの設置なども課題となる。カフェなどを誰でも気軽に立ち寄れる場所として整備することで、旧館は登録有形文化財として建物を見てもらいつつ、そこから上層階の展示資料を観覧してもらうための入口として機能させることを目指す。

また、今般の博物館法改正の理念を踏まえ、地域の多様な主体と連携・協働しながら社会的課題の解決に貢献できる博物館を目指すとともに、利用者向けサービスの拡充を図るための方策についても検討する必要がある。

具体例として、

- ・無料開放日などの取組の継続（ねらいを明確にし、より効果的なものとなるよう見直し）
- ・リピーターや高齢者向けの料金制度（リピーター割引、年間パス、ポイントカード、シニア割引など）の創設
- ・J A F など多数の会員をもつ団体等の提携による団体料金の適用
- ・県内の博物館施設との相互割引やスタンプラリーの創設
- ・多くの誘客やボランティアの活用を目的とした友の会を組織
- ・駐車場スペースの減少に対応するための近隣の有料駐車場等との連携などが挙げられる。

### 3. 広報活動の課題と展望

広報活動については、指定管理者制度の導入により民間の広報力やノウハウが期待されたのは前述のとおりであり、指定管理者の構成員が地元新聞社であったり、指定管理者の被用者がマスコミ経験者であったことなどから、一定の成果がみられた。

一方で、新聞やテレビなど外部メディアの活用のほか、ホームページやSNS、YouTube 公式チャンネルの開設など積極的な広報に取り組んできたが、利用者アンケートではPR不足などを指摘する意見も少なくなく、いわば打てども届かないといった状況が長年にわたって続いてきた。

今後は、情報の内容に合わせてターゲットをより明確にし、それに適した媒体を選択し、適切なタイミングで広報していく、といった戦略的な広報活動に取り組んでいく必要がある。

具体例として、居住地や博物館の利用状況等に応じて

- ・博物館を知らない又は興味が無い層
- ・博物館の存在は知っているが、知っているだけの層
- ・博物館のことをわかっており、知識欲を深めたい層

などでターゲットを区分け、戦略的な広報の在り方を模索するとともに、SNS、Web 動画等を活用した積極的な広報活動を展開、また、新たに幼稚園・保育所など就学前の教育・保育施設も広報対象に加えながら、各施設の関係職員を通して郷土館の情報がダイレクトに伝わるような広報を検討する。

また、再開時にはホームページを全面刷新し、利用者に対しよりタイムリーに、よりわかりやすいPRができるような体制を整備する。

加えて、広報担当においては単に情報伝達をするだけでなく、誘客や貸館営業などの渉外活動を担うことも求められる。

# 青森県立郷土館長寿命化改修基本計画書

## 【資料編】

令和5年3月



## 目 次

1. 青森県内博物館等施設一覧 . . . . . 1
2. 研究報告等刊行物一覧 . . . . . 3
3. 特別展・企画展一覧（昭和 48 年 4 月～平成 22 年 3 月） . . . . . 18



## 1. 青森県内博物館等施設一覧

※青博協：青森県博物館等協議会

| No. | 施設名                      | 青博協加盟館 |
|-----|--------------------------|--------|
| 1   | 青森県立郷土館                  | ●      |
| 2   | あおもり北のまほろば歴史館            | ●      |
| 3   | 青森県営浅虫水族館                |        |
| 4   | 青森県近代文学館                 |        |
| 5   | 青森県立美術館                  |        |
| 6   | 青森市森林博物館                 |        |
| 7   | 青森市中世の館                  |        |
| 8   | 青森市民美術展示館（協同組合タッケン美術展示館） |        |
| 9   | 財団法人棟方志功記念館              | ●      |
| 10  | 三内丸山遺跡センター               | ●      |
| 11  | 縄文の学び舎・小牧野館              | ●      |
| 12  | 東北大学植物園八甲田山分園            |        |
| 13  | ねぶたの家 ワ・ラッセ              |        |
| 14  | 八甲田山雪中行軍遭難資料館            |        |
| 15  | 高岡の森 弘前藩歴史館              | ●      |
| 16  | 太宰治まなびの家（旧藤田家住宅）         |        |
| 17  | 津軽藩ねぶた村                  |        |
| 18  | 鳴海要記念陶房館                 |        |
| 19  | 弘前城情報館                   |        |
| 20  | 弘前城植物園                   |        |
| 21  | 弘前市立観光館・山車展示館            |        |
| 22  | 弘前市立郷土文学館                | ●      |
| 23  | 弘前市立博物館                  | ●      |
| 24  | 弘前れんが倉庫美術館               |        |
| 25  | 星と森のロマントピア 天文台「銀河」       |        |
| 26  | 櫛引八幡宮国宝館                 | ●      |
| 27  | 澤田政廣の世界 洗心美術館            | ●      |
| 28  | 八戸クリニック街かどミュージアム         | ●      |
| 29  | 八戸公園 植物園                 |        |
| 30  | 八戸市水産科学館マリエント            |        |
| 31  | 八戸市南郷歴史民俗資料館             |        |
| 32  | 八戸市博物館                   | ●      |
| 33  | 八戸市美術館                   | ●      |
| 34  | 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館       | ●      |
| 35  | 八戸市縄文学習館（是川縄文館分館）        |        |
| 36  | 八戸市立民俗資料収蔵庫 浜小屋          |        |
| 37  | 八戸ポータルミュージアム「はっち」        | ●      |
| 38  | 秋田雨雀記念館                  |        |
| 39  | 津軽こけし館                   |        |
| 40  | 五所川原市市浦歴史民俗資料館           |        |
| 41  | 五所川原市金木歴史民俗資料館           |        |
| 42  | 五所川原市歴史民俗資料館             | ●      |
| 43  | 太宰治記念館「斜陽館」              |        |
| 44  | 津軽三味線会館                  |        |

| No. | 施設名                   | 青博協加盟館 |
|-----|-----------------------|--------|
| 45  | 十和田市郷土館               | ●      |
| 46  | 十和田市現代美術館             |        |
| 47  | 十和田市十和田湖民俗資料館         | ●      |
| 48  | 十和田市馬事公苑 称徳館          | ●      |
| 49  | 青森県立三沢航空科学館           | ●      |
| 50  | 三沢市先人記念館              | ●      |
| 51  | 三沢市寺山修司記念館            | ●      |
| 52  | 三沢市歴史民俗資料館            | ●      |
| 53  | 北洋館                   |        |
| 54  | むつ市海と森ふれあい体験館         |        |
| 55  | つがる市縄文住居展示資料館（カルコ）    | ●      |
| 56  | つがる市木造亀ヶ岡考古資料室        | ●      |
| 57  | つがる市森田歴史民俗資料館         | ●      |
| 58  | 平川市郷土資料館              | ●      |
| 59  | 平内町歴史民俗資料館            | ●      |
| 60  | 夜越山森林公園（サボテン園・洋ラン園）   |        |
| 61  | 蓬田村文化伝承館              |        |
| 62  | 青函トンネル記念館             |        |
| 63  | 外ヶ浜町大山ふるさと資料館         | ●      |
| 64  | 鱒ヶ沢町郷土文化保存伝習館光信公の館    |        |
| 65  | 円覚寺奉納海上信仰 資料収蔵庫（寺宝館）  |        |
| 66  | 風待ち館                  | ●      |
| 67  | 白神十二湖エコ・ミュージアム        |        |
| 68  | 「太宰の宿」ふかうら文学館         | ●      |
| 69  | 深浦町美術館                |        |
| 70  | 深浦町歴史民俗資料館・深浦町美術館     | ●      |
| 71  | 白神山地ビジターセンター          | ●      |
| 72  | 常盤ふるさと資料館あすか          | ●      |
| 73  | 田舎館村埋蔵文化財センター・田舎館村博物館 | ●      |
| 74  | 板柳町立郷土資料館             | ●      |
| 75  | 小説「津軽」の像記念館           |        |
| 76  | 中泊町博物館                | ●      |
| 77  | 野辺地町立歴史民俗資料館          | ●      |
| 78  | 七戸町立鷹山宇一記念美術館         | ●      |
| 79  | NonoUe 人形の館           |        |
| 80  | 六戸町郷土資料館              | ●      |
| 81  | 東北町歴史民俗資料館            | ●      |
| 82  | 六ヶ所村立郷土館              | ●      |
| 83  | おいらせ阿光坊古墳館            |        |
| 84  | おいらせ町民具ふれあい館          |        |
| 85  | 大山将棋記念館               |        |
| 86  | 東通村歴史民俗資料館            |        |
| 87  | 佐井村海峡ミュージアム           | ●      |
| 88  | 三戸町立歴史民俗資料館           | ●      |
| 89  | ごのへ郷土館                | ●      |
| 90  | 階上町民俗資料収集館            | ●      |

## 2. 研究報告等刊行物一覧

### 2-1. 年報

| 号 (年度/刊行年)                      | タイトル                         | 執筆                   |
|---------------------------------|------------------------------|----------------------|
| 館報 1 号<br>(昭和 49 年度<br>/1974 年) | 津軽半島西北部山塊の自然調査第 1 次調査概要      | 自然部門                 |
|                                 | 雪国の民俗調査 第 1 次調査概要            | 民俗分野                 |
|                                 | 下田代納屋 B 遺跡第 1 次発掘調査概要        | 考古分野                 |
| 第 1 号<br>(昭和 50 年度<br>/ 1976 年) | 津軽半島西北部山塊の自然調査第 2 次調査概要      | 自然部門                 |
|                                 | 下田代納屋 B 遺跡第 2 次発掘調査概要        | 考古部門                 |
|                                 | 藩政の成立                        | 歴史部門                 |
|                                 | 「雪国の民俗」 第 2 次調査概要            | 民俗部門                 |
|                                 | 青森県のホシクサ科植物 (第 1 報)          | 原子一男                 |
|                                 | 国立科学博物館に出品された青森県の植物標本        | 原子一男                 |
|                                 | 青森平野の沖積層貝化石                  | 佐藤巧                  |
|                                 | 西津軽郡深浦町吾妻野遺跡出土土器について         | 三宅徹也                 |
| 第 2 号<br>(昭和 51 年度<br>/ 1976 年) | 津軽半島西北部山塊の自然調査概要             | 自然部門                 |
|                                 | 宇鉄遺跡第 2 地点発掘調査概要             | 考古部門 (天間勝也・井上久・三宅徹也) |
|                                 | 大平山元 I 遺跡調査概要                | 考古部門 (三宅徹也・井上久・天間勝也) |
|                                 | 藩政の成立 II                     | 歴史部門                 |
|                                 | 青森市内にみられる雑草群落 (1)            | 原子一男                 |
|                                 | 青森県産蕨類 (1)                   | 柿崎敬一                 |
|                                 | 青森県における木炭生産 (1)              | 外崎純一・昆政明             |
| 第 3 号<br>(昭和 52 年度<br>/ 1978 年) | 津軽半島自然調査概要                   | 自然部門                 |
|                                 | 宇鉄 II 遺跡発掘調査概要               | 考古部門                 |
|                                 | 尻八館第 1 次調査概要                 | 歴史・考古部門              |
|                                 | 東津軽郡堅田町における横穴式炭窯について         | 産業部門                 |
|                                 | 県外にある青森県産植物標本                | 原子一男                 |
|                                 | 青森県産蕨類 (2)                   | 柿崎敬一                 |
|                                 | 青森県のタケカゴ                     | 外崎淳一                 |
|                                 | 円筒土器の再検討- 円筒土器の概念とその崩壊       | 三宅徹也                 |
| 第 4 号<br>(昭和 53 年度<br>/ 1979 年) | 津軽半島自然調査概要                   | 自然部門                 |
|                                 | 田町大平山元 II 遺跡発掘調査概報           | 考古部門                 |
|                                 | 尻八館第 2 次調査概要                 | 歴史・考古部門              |
|                                 | ボサマのこと                       | 佐々木隆次                |
|                                 | 「県重宝指定の亀ヶ岡遺跡出土遺物」について        | 鈴木克彦                 |
| 第 5 号<br>(昭和 54 年度<br>/ 1980 年) | 津軽半島自然調査概要                   | 自然部門                 |
|                                 | 青森県産蕨類 (3)                   | 柿崎敬一                 |
|                                 | 尻八館第 3 次調査概要                 | 歴史・考古部門              |
|                                 | 岩版・土版の研究序説                   | 鈴木克彦                 |
|                                 | 入館者数及び入館状況の動態と分析             | 鈴木克彦                 |
| 第 6 号<br>(昭和 55 年度<br>/ 1981 年) | 津軽半島自然調査概要                   | 自然部門                 |
|                                 | 亀ヶ岡遺跡の調査 (1)                 | 考古部門                 |
|                                 | 青森県の板碑                       | 歴史部門                 |
|                                 | 土偶の研究序説                      | 鈴木克彦                 |
|                                 | 桶の製作                         | 成田敏・大湯卓二             |
|                                 | 地方歴史民俗資料館の役割と現状              | 鈴木克彦                 |
| 第 7 号<br>(昭和 56 年度<br>/ 1982 年) | 下北半島自然調査概要 (1)               | 自然部門                 |
|                                 | 亀ヶ岡遺跡の調査 (2)                 | 考古部門                 |
|                                 | 風韻堂コレクション: 岩偶、亀型土製品、土器片利用の円板 | 鈴木克彦                 |
|                                 | 青森県の板碑                       | 歴史部門                 |
|                                 | 青森県における漁撈用和船 (1)             | 産業部門                 |
| 明治以降に発行された地図について                | 昆政明                          |                      |
| 第 8 号<br>(昭和 57 年度)             | 下北半島自然調査概要 (2)               | 自然部門                 |
|                                 | 津軽半島の植物社会 (II)               | 斉藤信夫                 |

|                                  |                                   |           |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------|
| / 1983 年)                        | 風韻堂コレクションの骨角器及び自然遺物               | 金子浩昌・鈴木克彦 |
|                                  | 青森県における漁撈用和船(2)                   | 産業部門      |
| 第 9 号<br>(昭和 58 年度<br>/ 1984 年)  | 下北半島自然調査概要                        | 自然部門      |
|                                  | 青森県のコメツキムシ若干種について                 | 大平仁夫・下山健作 |
|                                  | 名川町剣吉荒町遺跡の調査                      | 考古部門      |
|                                  | 風韻堂コレクションの装身具                     | 鈴木克彦      |
|                                  | 青森県の板碑調査補説                        | 福井敏隆      |
| 第 10 号<br>(昭和 59 年度<br>/ 1985 年) | 下北半島自然調査概要 (4)                    | 自然部門      |
|                                  | 青森県のコメツキムシ若干種について(追補)             | 大平仁夫・下山健作 |
|                                  | 南郷村荒谷遺跡の調査                        | 考古部門      |
|                                  | 亀ヶ岡遺跡沢根 D 区出土の建物                  | 鈴木克彦・川口潤  |
|                                  | 風韻堂コレクションの石冠と独鈷石                  | 鈴木克彦      |
| 第 11 号<br>(昭和 61 年/<br>1987 年)   | 赤石川流域自然調査概要 (1)                   | 自然部門      |
|                                  | 青森県産蕨類 (4)                        | 柿崎敬一      |
|                                  | 青森県に参する 2 種の Ampedus 属のコメツキムシについて | 大平仁夫・下山健作 |
|                                  | 青森県の中世金石造文化財第 1 次調査概要             | 歴史部門      |
|                                  | 風韻堂コレクションの石棒・石刀・石剣                | 鈴木克彦      |
|                                  | V 字型土製品について                       | 鈴木克彦      |
| 第 12 号<br>(昭和 62 年度/<br>1988 年)  | 赤石川流域自然調査概要                       | 自然部門      |
|                                  | 青森県に産するニホンカバイロコメツキムシについて          | 大平仁夫・下山健作 |
|                                  | 青森県産蕨類目録(予報)                      | 柿崎敬一      |
|                                  | むつ市角達(3)遺跡発掘調査                    | 考古部門      |
|                                  | 「鼻曲がり土面」考                         | 福田友之      |
|                                  | 青森県の中世金石造文化財 第 2 次調査概要            | 歴史部門      |
| 第 13 号<br>(昭和 63 年度/<br>1988 年)  | 赤石川流域自然調査概要 (3)                   | 自然部門      |
|                                  | 青森県に産する Actenicerus 属のコメツキムシについて  | 大平仁夫・下山健作 |
|                                  | 西津軽郡鯉ヶ沢町大曲遺跡発掘調査報告                | 考古分野      |
|                                  | 「狩猟文土器」考                          | 福田友之      |
|                                  | 青森県の中世金石造文化財 第 3 次調査概要            | 歴史部門      |
| 第 14 号<br>(平成 1 年度/<br>1990 年)   | 赤石川流域自然調査概要 (4)                   | 自然部門      |
|                                  | 青森県のコメツキムシ若干種について(II)             | 大平仁夫・下山健作 |
|                                  | 三沢市山中 (2) 貝塚および天間林村二ツ森貝塚の発掘調査     | 考古部門      |
| 第 15 号<br>(平成 2 年度/<br>1991 年)   | 白神山地自然調査概要 (1)                    | 自然部門      |
|                                  | 青森県の下北半島のコメツキムシについて               | 大平仁夫・山内智  |
|                                  | 小島産の 4 種のコメツキムシについて               | 大平仁夫・山内智  |
|                                  | 青森県の仏像 第 1 次調査概要                  | 歴史部門      |
| 第 16 号<br>(平成 3 年度/<br>1992 年)   | 白神山地自然調査概要(2)                     | 自然部門      |
|                                  | 木造町田小屋野貝塚の調査(第 1 次・第 2 次調査)       | 考古部門      |
|                                  | 青森県の仏像 第 2 次調査概要                  | 歴史部門      |
|                                  | 青森県のコメツキムシ若干種について(III)            | 大平仁夫・山内智  |
|                                  | 青森県産昆虫資料をもとに記載された新種・新型の目録         | 山内智       |
|                                  | 清風園松野コレクション館蔵松野治敏〈父の肖像〉について       | 前田留美・昆政明  |
| 第 17 号<br>(平成 4 年度/<br>1993 年)   | 白神山地自然調査概要 (3)                    | 自然部門      |
|                                  | 青森県の仏像 第 3 次調査概要                  | 歴史部門・須藤弘敏 |
|                                  | 『青森県「歴史の道」調査報告書』補遺                | 歴史部門      |
|                                  | 「風韻堂コレクション」のサハリン出土石器資料            | 福田友之 工藤大  |
|                                  | 青森県のコメツキムシ若干種について(IV)             | 大平仁夫・山内智  |
|                                  | 故下山健作先生採集のセミ科目録                   | 山内智       |

|                                 |   |                     |
|---------------------------------|---|---------------------|
| 第 18 号<br>(平成 5 年度/<br>1994 年)  | 白神山自然調査概要 (4)                           | 自然部門                |
|                                 | 三戸郡松原 (1) 遺跡発掘調査概要                      | 考古部門                |
|                                 | 青森県立郷土館所蔵の古代・中世の考古資料                    | 考古部門                |
|                                 | 青森県の仏像調査概要 (4)                          | 歴史部門・須藤弘敏           |
|                                 | 岩木山のコメツキムシ類について (1)                     | 大平仁夫・山内智            |
|                                 | 内田一博士収蔵模式標本目録                           | 山内智                 |
|                                 | 日本の基層文化の研究                              | 市川金丸                |
|                                 | 特大の磨製石斧                                 | 福田友之                |
|                                 | 「青森県立図書館所蔵 今純三作品」 技法別目録 (1)             | 対馬恵美子               |
| 第 19 号<br>(平成 6 年度/<br>1995 年)  | 白神山自然調査概要 (5)                           | 自然部門                |
|                                 | 三戸郡杉沢遺跡・南部町荒屋敷遺跡発掘調査概要                  | 考古部門                |
|                                 | 板柳町土井 I 号遺跡出土藍胎漆器の分析                    | 嶋倉巳三郎・赤沼英男・<br>考古部門 |
|                                 | 青森県の仏像調査概要 (5)                          | 歴史部門・須藤弘敏           |
|                                 | 青森県のコメツキムシ若干種について (V)                   | 大平仁夫・山内智            |
|                                 | 内田一博士収蔵標本目録                             | 山内智                 |
|                                 | 「風韻堂コレクション」の韓国関連出土資料                    | 福田友之                |
|                                 | 本州北端の琥珀                                 | 福田友之                |
|                                 | 「青森県立図書館所蔵 今純三作品」 技法別目録 (2)             | 対馬恵美子               |
| 第 20 号<br>(平成 7 年度/<br>1996 年)  | 下北丘陵自然調査概要 (1)                          | 自然部門                |
|                                 | 福地村坩渡遺跡発掘調査概要                           | 考古部門                |
|                                 | 青森県の仏像調査概要 (補遺)                         | 須藤弘敏・歴史部門           |
|                                 | 岩木山のコメツキムシ類について (2)                     | 大平仁夫・山内智            |
|                                 | コブオオニジュウヤホシントウの東日本における地理的分布             | 新保友之・山内智            |
|                                 | 高所にある縄文遺跡                               | 福田友之                |
|                                 | 翼賛文化運動と「青森県郷土博物館」                       | 中野渡一耕               |
|                                 | 今純三「緑のアトリエ」考                            | 対馬恵美子               |
| 第 21 号<br>(平成 8 年度/<br>1997 年)  | 下北丘陵自然調査概要 (2)                          | 自然分野                |
|                                 | 浪岡町細野遺跡発掘調査報告                           | 考古分野                |
|                                 | むつ市・山本家文書について                           | 歴史分野                |
|                                 | 故下山健作先生採集のテントウムシ科目録                     | 安富和男・山内智            |
|                                 | 岩井武彦博士収蔵貝化石標本目録                         | 島口天                 |
|                                 | 八甲田山のコメツキムシ類について (1)                    | 大平仁夫・山内智            |
|                                 | 青森県宇鉄・砂沢・垂柳遺跡出土の碧玉製管玉・玉材の産地分析           | 藁科哲男・福田友之           |
|                                 | 今純三の「風景画」考- 今純三作品にみる青森県の 戦前の風景          | 対馬恵美子               |
| 第 22 号<br>(平成 9 年度/<br>1998 年)  | 下北丘陵自然調査概要                              | 自然分野                |
|                                 | 東北町長者久保遺跡発掘調査概要                         | 考古分野                |
|                                 | 五戸町・太田家文書目録                             | 歴史分野                |
|                                 | 八甲田山のコメツキムシ類について (II)                   | 大平仁夫・山内智            |
|                                 | 内田一博士著作目録                               | 山内智                 |
|                                 | 青森市新城川流域の大釈迦層から産出した貝類化石                 | 島口天                 |
|                                 | 本州北辺の貝類出土遺跡総覧- 青森県域における貝類出土遺跡の<br>自然遺物- | 福田友之                |
|                                 | 今純三「エッチング奥入瀬溪流連作」考                      | 対馬恵美子               |
| 第 23 号<br>(平成 10 年度/<br>1999 年) | 下北丘陵自然調査概要 (4)                          | 自然分野                |
|                                 | 木造町丸山遺跡発掘調査概報                           | 考古分野                |
|                                 | 青森県の無形民俗資料調査概報 (1)                      | 民俗分野                |
|                                 | 八甲田山のコメツキムシ類について (III)                  | 大平仁夫・山内智            |

|                                 |   |                                   |
|---------------------------------|---|-----------------------------------|
|                                 | 下田町瓢露頭における野辺地層産貝化石群集と古環境                    | 島口天                               |
|                                 | 春植物の研究-梵珠山におけるカタクリと他の林床植物について-              | 木村悦子・太田正文                         |
|                                 | 東北地方北部における「焼けた」硬玉製大珠の類例と攻玉遺跡                | 鈴木克彦                              |
|                                 | 風韻堂コレクションの石皿                                | 鈴木克彦                              |
| 第 24 号<br>(平成 11 年度/<br>2000 年) | 下北丘陵自然調査概要 (5)                              | 自然分野                              |
|                                 | 弘前市十腰内 2 遺跡の調査(第 1 次)                       | 考古分野                              |
|                                 | 八戸南部家文書中の絵図資料について                           | 歴史分野                              |
|                                 | 青森県の無形民俗資料調査概報 (2)                          | 民俗分野                              |
|                                 | 青森県とハバロフスク地方に見られる蝶の分布比較研究                   | 山内智・<br>Evgueni V. Novomodnyi     |
|                                 | 八甲田山のコメツキムシ類について(VI)                        | 大平仁夫・山内智                          |
|                                 | 下田町の中部統産微化石と古環境                             | 島口天                               |
|                                 | ロシア・ハバロフスク地方のコメツキムシ若干種について                  | 大平仁夫・山内智                          |
|                                 | 福土襄博士収蔵のミバエ科目録                              | 山内智・影沢信彦                          |
|                                 | 十和田市の奥入瀬川河岸における生痕化石・貝化石群集と古環境               | 島口天・小幡喜一                          |
|                                 | 梵珠産の蘚苔類                                     | 太田正文                              |
|                                 | 今純三銅版画原版の修復についての報告                          | 戸村茂樹・対馬恵美子                        |
| 第 25 号<br>(平成 12 年度/<br>2001 年) | 小川原湖自然調査概要 (1)                              | 自然分野                              |
|                                 | 小川原湖周辺の地質 (1)                               | 甲田光明・工藤一弥・<br>新潟浩一・島口天            |
|                                 | 小川原湖周辺の植物 (1)                               | 柿崎敬一・高谷泰三郎・<br>齋藤信夫・小林範士・<br>太田正文 |
|                                 | 小川原湖周辺の脊椎動物 (1)                             | 和田久・笹森耕二・関哲郎                      |
|                                 | 小川原湖周辺の無脊椎動物 (1)                            | 阿部東・今純一・<br>三上春文・山内智              |
|                                 | 弘前市十腰内 2 遺跡の調査(第 2 次)                       | 考古分野                              |
|                                 | 弘前藩の絵図史料および新渡戸記念館海岸大砲台場絵図について               | 歴史分野                              |
|                                 | 青森県の無形民俗資料調査概報 (3)                          | 民俗分野                              |
|                                 | ロシア・ハバロフスク地方のカミキリモドキ類若干種について                | 浩田耕二・山内智                          |
|                                 | 下田町の中部更新統産化石群集 (追補)                         | 島口天                               |
|                                 | 青森県立郷土館蔵の下山健作コレクション・カミキリモドキ科目録              | 山内智・浩田耕二                          |
|                                 | 「縄文」文化史的評論-現代に通底する縄文文化-                     | 岩渕宏子                              |
|                                 | 下北半島東部のコケ植物                                 | 柿崎敬一 太田正文                         |
| 第 26 号<br>(平成 13 年度/<br>2002 年) | ハバロフスク地方と青森県の新石器時代の遺跡、遺物の研究                 | イーゴリ=シェフコムード・<br>鈴木克彦             |
|                                 | 弘前市十腰内 2 遺跡の調査(第 3 次)                       | 考古分野                              |
|                                 | 風韻堂コレクションの縄文土器-付・風韻堂コレクション「県重宝」指定の亀ヶ岡遺跡出土資料 | 鈴木克彦                              |
|                                 | 「縄文」文化史的考察-現代に通底する精神世界と色彩-                  | 岩渕宏子                              |
|                                 | 小川原湖周辺の地質(2)                                | 甲田光明・工藤一弥・<br>新潟浩一・島口天            |
|                                 | 小川原湖周辺の植物 (2)                               | 柿崎敬一・高谷泰三郎・<br>齋藤信夫・小林範士・<br>太田正文 |
|                                 | 小川原湖周辺の脊椎動物 (2)                             | 和田久・笹森耕二・関哲郎                      |
|                                 | 小川原湖周辺の無脊椎動物(2)                             | 阿部東・今純一・<br>三上春文・山内智              |

|                                 |   |                           |
|---------------------------------|---|---------------------------|
|                                 | ロシア・ハバロフスク地方のオオニジュウヤホシテントウについて                | 山内智・安富和男                  |
|                                 | 下北半島恐山周辺地域のコメツキムシ若干種について                      | 大平仁夫・山内智                  |
|                                 | 青森市 中新統凝灰質泥岩のクジラウオ目魚類化石について                   | 上野輝彌・島口天・藤井英一・根本直樹        |
|                                 | 青森県立郷土館所蔵成田傳蔵コレクション: 大型菌類標本                   | 太田正文                      |
|                                 | 青森県西南部のタイ類(1)                                 | 太田正文                      |
|                                 | 青森県の無形民俗資料調査概報 (4)                            | 民俗分野                      |
|                                 | 近世海岸絵図調査 (4)                                  | 歴史分野                      |
| 第 27 号<br>(平成 14 年度/<br>2003 年) | 弘前市十腰内 2 遺跡の調査(第四次)                           | 考古分野                      |
|                                 | 近世海岸絵図調査報告                                    | 歴史分野                      |
|                                 | 小川原湖周辺の地質 (3)                                 | 甲田光明・工藤一弥・新岡浩一・島口天        |
|                                 | 小川原湖周辺の植物(3)                                  | 柿崎敬一・高谷泰三郎・斎藤信夫・小林範士・太田正文 |
|                                 | 小川原湖周辺の脊椎動物 (3)                               | 和田久・笹森耕二                  |
|                                 | 小川原湖周辺の無脊椎動物 (3)                              | 阿部東・今純一・三上春文・高橋友宏・山内智     |
|                                 | 風韻堂コレクションの縄文土器(2)                             | 鈴木克彦                      |
|                                 | 「縄文」 文化史的評論-現代に通底する縄文の志功と手法 メディアからの認識-        | 岩渕宏子                      |
|                                 | ベンガラの入った注口土器-注口土器の一用例-                        | 鈴木克彦                      |
|                                 | 文献に基づく青森県のタイ類 フノゴケ類チェックリスト                    | 太田                        |
|                                 | 青森県立郷土館で鑑定した大型菌類                              | 太田正文・桜庭鉄男・伊藤進             |
|                                 | 青森県立郷土館所蔵コケ植物標本 (1) 福田均氏採集弘前市子どもの森久渡寺山における蘚苔類 | 太田正文                      |
| 第 28 号<br>(平成 15 年度/<br>2004 年) | 弘前市十勝内 2 遺跡の発掘報告                              | 鈴木克彦・岩渕宏子                 |
|                                 | 小川原湖周辺の脊椎動物 (4)                               | 和田久・笹森耕二・向山満              |
|                                 | 小川原湖周辺の無脊椎動物 (4)                              | 阿部東・今純一・三上春文・高橋友宏・山内智     |
|                                 | 小川原湖周辺の地質(4)                                  | 甲田光明・工藤一弥・新岡浩一・島口天        |
|                                 | 小川原湖周辺の植物 (4)                                 | 柿崎敬一・高谷泰三郎・斎藤信夫・太田正文・神真波  |
|                                 | Russia・Khabarovsk 地方のコメツキムシ若干種について            | 大平仁夫・山内智・NOVOMONYI E. V.  |
|                                 | アムール川におけるナナイ族の漁法と漁労習俗                         | 成田敏・清野耕司                  |
|                                 | 「縄文」 文化史的評論-青森県の風土そして人生-                      | 岩渕宏子                      |
|                                 | 「青光画社」 考 -棟方志功生誕 100 年にちなんで                   | 對馬恵美子                     |
| 第 29 号<br>(平成 16 年度/<br>2005 年) | 小川原湖周辺の地質                                     | 甲田光明・工藤一弥・新岡浩一・島口天        |
|                                 | 小川原湖周辺の地質(5)                                  | 柿崎敬一・高谷泰三郎・斎藤信夫・太田正文・神真波  |
|                                 | 小川原湖周辺の無脊椎動物 (5)                              | 阿部東・今純一・                  |

|                                 |   |  |
|---------------------------------|---|--|
|                                 |   | 三上春文・山内智   |
|                                 | 小川原湖周辺の脊椎動物 (5)                                     | 和田久・笹森耕二・向山満   |
|                                 | 小川原湖周辺のトビムシ類について                                    | 須磨靖彦・山内智   |
|                                 | Russia・Khabarovsk 地域のコメツキムシ若干種の記録                   | 大平仁夫・山内智・<br>NOVOMODNYI E. V.                              |
|                                 | 福田進採集の中国黒竜江省綏陽鎮のコメツキムシの若干種                          | 大平仁夫・山内智   |
|                                 | アムール川におけるナナイ族の漁法と漁労習俗Ⅱ～ハバロフスク<br>地方郷土博物館との共同学術調査報告～ | 成田敏・清野耕司   |
|                                 | 根市良三版画目録  | 對馬恵美子  |
| 第 30 号<br>(平成 17 年度/<br>2006 年) | 青森県南部地方巫女習俗調査第一次報告                                  | 民俗分野   |
|                                 | ロシア連邦 国立極東博物館所蔵の大型磨製石斧                              | 福田友之   |
|                                 | 青森県田子町四角岳のトビムシ類について                                 | 山内智・須磨靖彦   |
|                                 | ロシア連邦ハバロフスク地方のトビムシ類                                 | 須磨靖彦 山内智   |
|                                 | Russia・Khabarovsk 地域のコメツキムシ類の記録 (続報)                | 大平仁夫・山内智・<br>NOVOMODNYI E. V.                              |
|                                 | 五戸町周辺の丘陵に分布する鮮新統斗川層について                             | 島口天  |
|                                 | 上北地域に分布する中部更新統の泥質堆積物中の花粉分析から推<br>定される古環境            | 島口天  |
|                                 | 小川原湖周辺の植物   | 柿崎敬一・高谷泰三郎・<br>斎藤信夫・小林範士・<br>太田正文・神真波                      |
|                                 | 近世漁業調査報告 (1) 近世前期における青森市周辺の沿岸漁業に<br>ついて             | 歴史分野 研究主幹坂本壽夫  |
|                                 | 平成 17 年度郷土館購入資料に関する所見                               | 購入評価委員/弘前大学<br>長谷川成一・<br>青森市史さん室 鳴海芳・<br>青森ペンクラブ会長<br>三上強二 |
| 第 31 号<br>(平成 18 年度/<br>2006 年) | 本州北辺の貝類出土遺跡総覧(Ⅱ) -青森県域における動物遺体出<br>土遺跡-             | 福田友之   |
|                                 | 東北町下清水目中部更新統産針葉樹埋没林                                 | 奈良正義・川村眞一・<br>島口天  |
|                                 | 青森県四角岳とその周辺のコメツキムシ類について                             | 大平仁夫・山内智   |
|                                 | 青森県階上町階上岳のトビムシ類について                                 | 山内智・須磨靖彦   |
|                                 | 青森県田子町四角岳周辺の蛾類について                                  | 山内智  |
|                                 | 青森県のムキヒキアブ若干種について                                   | 田川勇治・山内智   |
|                                 | 近世漁業調査報告 (2) 津軽領近世前期の製塩と後期漁業の実態に<br>ついて             | 坂本壽夫   |
|                                 | 青森県立郷土館所蔵目録-美術部門 創作版画史 (戦前の部 その<br>1)-              | 對馬恵美子  |
|                                 | 青森県南部地方巫女習俗調査 (第二次報告)                               | 櫻庭俊美・小山隆秀  |
| 第 32 号<br>(平成 19 年度/<br>2007 年) | 津軽海峡と青玉象嵌   | 福田友之   |
|                                 | 県重宝縄文式注口土器 (二戸市金田一出土) の出土遺跡                         | 齋藤岳  |
|                                 | 青森県弘前市中村川上流域の黒曜石産地                                  | 福田友之・齋藤岳・島口天   |
|                                 | 青森県ムシリ遺蹟・十腰内 (2) 遺跡出土黒曜石齊一部の原産の<br>原産地推定            | 齋藤岳・杉原茂雄・<br>金成太郎・太田陽介                                     |
|                                 | 小川原湖周辺の維管束植物収蔵目録                                    | 神真波  |
|                                 | 青森県のハエ目昆虫若干種について                                    | 山内智  |

|  |                              |          |
|--|------------------------------|----------|
|  | 青森県南部町名久井岳周辺の蛾類について          | 山内智      |
|  | 青森県南部町名久井岳のトビムシ類について         | 山内智・須磨靖彦 |
|  | 青森県四角岳とその周辺地域のコメツキムシの分布について  | 大平仁夫・山内智 |
|  | 明治期における美術団体「青森市書画同好会」の活動について | 對馬恵美子    |
|  | 青森県立郷土館の小・中学校を対象とした移動博物館について | 渡辺真道     |

## 2-2. 研究紀要

| 号 (刊行年)             | タイトル   | 執筆                             |
|---------------------|--|--------------------------------|
| 第 33 号<br>(平成 21 年) | 青森県三戸町周辺に分布する中部中新統から産出する貝化石                          | 島口天                            |
|                     | 六ヶ所村中志に分布する更新世テフラ                                    | 島口天                            |
|                     | 青森県階上町階上岳のトビムシ類                                      | 山内智・須磨靖彦                       |
|                     | 青森県町階上岳の蛾類   | 山内智                            |
|                     | 青森県階上岳のコメツキムシの分布について                                 | 大平仁夫・山内智                       |
|                     | 植物学者郡場寛博士の履歴   | 山内智                            |
|                     | 弘前市中村川支流の孫産童子沢に分布する凝灰岩産黒曜石                           | 島口天・齋藤岳・柴正敏                    |
|                     | 下北半島尻屋崎の物見台遺跡の彫器についてー風韻堂コレクションの旧石器紹介ー                | 齋藤岳                            |
|                     | 故新谷雄蔵氏の収集品について                                       | 齋藤岳                            |
|                     | 実地明細図から読み解く明治の青森                                     | 安田道                            |
|                     | 青森県における明治期の美術  | 對馬恵美子                          |
|                     | 青森県立郷土館調査研究年報 各号目次一覧                                 | 第 1 号～第 32 号                   |
| 第 34 号<br>(平成 22 年) | 青森県立郷土館所蔵の Fortipecten 属化石                           | 島口天                            |
|                     | 青森県南部の蛾類   | 山内智                            |
|                     | 下山健作先生寄贈のコメツキムシ類の標本                                  | 大平仁夫・山内智                       |
|                     | 植物学者郡場寛博士の履歴 (2) 昭南博物館                               | 山内智                            |
|                     | 弘前市中村川支流の孫産童子沢に分布する黒曜石の化学組成                          | 齋藤岳・島口天・<br>長井雅史・金成太郎・<br>杉原重夫 |
|                     | 青森県佐井村箭根森八幡宮の玉類・石器について<br>ー放浪の画家、蓑虫山人により明治期に描かれた玉ほかー | 齋藤岳                            |
|                     | 下北半島むつ市川代の尖頭器について                                    | 島口天・齋藤岳・柴正敏                    |
|                     | 青森県八戸市松石橋遺跡・田代遺跡出土の水晶原石について                          | 齋藤岳                            |
|                     | 引札の配札圏からみた岩木山信仰について                                  | 小山隆秀                           |
|                     | 弘前市熊嶋・熊野宮の鬘額について                                     | 成田敏                            |
|                     | 青森県南部地方巫女習俗調査報告「きょうもん (経文)」                          | 北川達男                           |
|                     | 磯漁の名称ナギマミ (凧間見)・ナガミについて                              | 昆政明                            |
|                     | 「あおもり街かど探偵団」報告書                                      | 安田道                            |
|                     | 前田昭雲について   | 對馬恵美子                          |
|                     | 淡谷のり子展と生家淡谷家資料                                       | 太田原慶子                          |
|                     | 青森市内における暮らしの変遷～食生活を中心に～                              | 工藤睦美                           |
|                     | 青森県立郷土館の小・中学校を対象とした移動博物館について (2)                     | 佐藤琢                            |
| 青森県立郷土館の広報活動        | 相馬信吉   |                                |
| 八戸藩「四品御昇進一件」(1)     | 本田伸・竹村俊哉   |                                |
| 第 35 号<br>(平成 23 年) | 岩手県立博物館所蔵の Fortipecten kenyoshiensis                 | 島口天                            |
|                     | 青森市東岳における鉱山史   | 島口天                            |
|                     | 青森県田子町のトビムシ類   | 山内智・須磨靖彦                       |
|                     | 青森県南部の蛾類 (II)  | 山内智                            |
|                     | 植物学者郡場寛博士の履歴 (3) 1918-1920 年の国外留学                    | 山内智                            |
|                     | 旧青森県立第二中学校収蔵植物標本目録                                   | 齋藤信夫・北田智弘                      |
|                     | 青森県青森市内丸山 (9) 遺跡におけるトチノキ利用について                       | 伊藤由美子                          |
|                     | 青森県津軽地方の地藏信仰の再検討ー弘前市内寺院の位牌型地藏像調査に基づいてー               | 福眞睦城・小山隆秀                      |
|                     | ドゲブネ (洞海船) をめぐる諸問題                                   | 昆政明                            |
|                     | 民俗資料としての写真～佐々木直亮先生撮影写真について                           | 成田敏                            |

|                  |  |           |
|------------------|--|-----------|
|                  | イタコ「地獄さがし」   | 北川達男      |
|                  | 写真で見る青森市の都市化   | 安田道       |
|                  | 大正時代の青森の美術団体について(1)                                  | 對馬恵美子     |
|                  | 青森市内における暮らしの変遷～衣生活を中心に～                              | 工藤睦美      |
|                  | 八戸市近郊における暮らしの変遷～食生活を中心に～                             | 工藤睦美      |
|                  | 移動博物館「古い道具と昔の暮らし」について                                | 佐藤琢       |
|                  | 青森県立郷土館の資料閲覧システム                                     | 相馬信吉      |
|                  | 八戸藩「四品御昇進一件」(2)                                      | 本田伸・竹村俊哉  |
| 第36号<br>(平成24年)  | 青森県南部の蛾類(Ⅲ)  | 山内智       |
|                  | 青森県田子町のトビムシ類(Ⅱ)                                      | 山内智・須摩靖彦  |
|                  | 青森市「藤田組通り」の名称由来                                      | 島口天       |
|                  | 原子一男コレクション植物標本目録                                     | 北田智弘      |
|                  | 青森県津軽地方における地蔵信仰の変容について                               | 小山隆秀      |
|                  | 城下町の商家の年中行事ー青森県弘前市石場家調査報告ー                           | 小山隆秀・増田公寧 |
|                  | 青森県における生殖器崇拜資料                                       | 増田公寧      |
|                  | イタコ「祝文」  | 北川達男      |
|                  | 上北鉾山広報誌「上北ニュース」について                                  | 竹村俊哉      |
|                  | 青森県の船絵馬  | 昆政明       |
|                  | 吉田初三郎・金子常光の鳥瞰図等についてー平成23年度購入資料の紹介ー                   | 佐藤良宣      |
|                  | 今純三の銅版画の連作「小品集」について                                  | 對馬恵美子     |
|                  | 東日本大震災・新学習指導要領の団体観覧数への影響                             | 豊田雅彦      |
|                  | 青森県立郷土館の小・中学校を対象とした移動博物館について(Ⅲ)                      | 佐藤琢       |
|                  | 青森県立郷土館におけるツイッター・ユーストリーム・スライドシェアの活用                  | 相馬信吉      |
|                  | 青森県画譜における考古資料について                                    | 伊藤由美子     |
| 平尾魯仙「画訣」と魯仙の作画態度 | 本田伸  |           |
| 第37号<br>(平成25年)  | 八戸市南部における縄文遺跡の分布とその変遷                                | 中村哲也      |
|                  | 青森平野西端部における低湿地型貯蔵穴を備えた縄文集落の変遷についてー新田(1)・同(2)遺跡を例にしてー | 伊藤由美子     |
|                  | 青森県田子町のトビムシ類(Ⅲ)                                      | 山内智・須摩靖彦  |
|                  | 青森県南部の蛾類(Ⅳ)  | 山内智       |
|                  | 青森県上北郡に存在した高森鉾山の鉾山史                                  | 島口天       |
|                  | 原子一男コレクション植物標本目録2                                    | 豊田雅彦      |
|                  | 青森県佐井村牛滝のオコモリについて                                    | 古川 実      |
|                  | 天神さまとテンマサマー天満宮の男根形ー                                  | 増田公寧      |
|                  | 磯漁における操船技術   | 昆政明       |
|                  | イタコ「オシラ祭文・神よせ」                                       | 北川達男      |
|                  | 平尾魯仙の落款について  | 對馬恵美子     |
|                  | 教育普及事業「夏休みクイズラリー」と来館者数の関係について                        | 佐藤 琢      |
|                  | 博物館の小・中学校団体への解説案内について                                | 豊田雅彦      |
|                  | 大正・昭和戦前期の交通の整備と観光について～観光鳥瞰図の時代                       | 佐藤良宣      |
|                  | 【資料紹介】平尾魯仙が見た暗門の滝ー書陵部所蔵「安門瀑布紀行」の成立事情ー                | 本田伸・竹村俊哉  |
| 第38号<br>(平成26年)  | 青森県田子町のトビムシ類(Ⅳ)                                      | 山内智・須磨靖彦  |
|                  | 青森県南部の蛾類(Ⅴ)  | 山内智       |

|                     |   |            |
|---------------------|---|------------|
|                     | 植物学者郡場寛の履歴 (4) 著者目録                                 | 山内智        |
|                     | 植物学者郡場寛の履歴 (5) 昭南植物園 (2)                            | 山内智        |
|                     | 大正時代の藤田組青森電鍊所と東岳石灰鉱山                                | 島口天        |
|                     | 原子一男コレクション植物標本目録 3                                  | 豊田雅彦       |
|                     | 青森県佐井村福浦の行事調査報告                                     | 古川実        |
|                     | 青森県内における戦前の水産缶詰業と関連資料の紹介                            | 増田公寧       |
|                     | 野澤如洋の晩年の弟子、吉沢山洋について                                 | 對馬恵美子      |
|                     | 【調査報告】青森県三戸町沖中(2)遺跡から出土した炭化ウルシ科果実について               | 伊藤由美子・野田尚志 |
|                     | 八戸地域における円筒式以前の縄文遺跡地名表                               | 中村哲也       |
|                     | 夏休み事業「こどものくに」について                                   | 伊丸岡政彦      |
|                     | 近代日本における工業学校生の就職に関する地域的展開の一考察<br>—青森県を中心として—        | 竹村俊哉       |
|                     | 平成 25 年度購入資料について ～吉田初三郎関連資料について～                    | 佐藤良宣       |
|                     | 【資料紹介】津軽の絵師・百川学庵に関する新資料 —「弘采録」と「百川文平学庵隨筆」—          | 本田伸        |
| 第 39 号<br>(平成 27 年) | 青森県立郷土館収蔵の下部更新統浜田層産貝化石                              | 島口天・奈良正義   |
|                     | 青森市東岳の石灰鉱山遺構  | 島口天        |
|                     | 青森県三戸地方のトビムシ類                                       | 山内智・須磨靖彦   |
|                     | 青森県南部の蛾類(VI)  | 山内智        |
|                     | 植物学者郡場寛博士の履歴 (6) 東北帝国大学農科大学                         | 山内智        |
|                     | 原子一男コレクション植物標本目録(IV)                                | 齋藤信夫・山内智   |
|                     | 青森県東通村大和・尻芳のテラ行事と念仏行事調査報告                           | 古川実        |
|                     | 青森県岩木川下流域におけるサルケ(泥炭)の利用                             | 増田公寧       |
|                     | 近代日本における工業学校生の就職に関する地域的展開の一考察<br>(補遺) —青森県立工業学校の例—  | 竹村俊哉       |
|                     | 大丁 中村興助家資料の紹介                                       | 佐藤良宣       |
|                     | 満州に届いた慰問文   | 伊藤啓祐       |
|                     | 青森県の納豆の履歴 —有限会社かくた武田—                               | 伊丸岡政彦      |
|                     | 〔資料紹介〕鈴木正治の木彫について                                   | 對馬恵美子      |
|                     | 青森県立郷土館「出前授業」の一考察                                   | 豊田雅彦       |
|                     | 青森県内の古代の水場遺構  | 杉野森淳子      |
|                     | 八戸市・階上町域における円筒下層式土器以前の遺跡分布                          | 中村哲也       |
| 第 40 号<br>(平成 28 年) | 青森県南部の蛾類 (VII)                                      | 山内智        |
|                     | 青森県野辺地町烏帽子岳のトビムシ類                                   | 山内智・須磨靖彦   |
|                     | 青森県野辺地町烏帽子岳のササラダニ類                                  | 大西純・山内智    |
|                     | 原子一男コレクション植物標本目録 (V)                                | 齋藤信夫・山内智   |
|                     | 青森市東岳における鉱山史 (追補)                                   | 島口天        |
|                     | 野辺地町烏帽子岳のシダ植物について (予報)                              | 豊田雅彦       |
|                     | 青森平野における縄文時代中期末葉から後期初等の遺跡地名表                        | 中村哲也       |
|                     | 青森県における縄文時代の木質遺物の樹種一覧                               | 杉野森淳子      |
|                     | 大野文泉筆「南部下北半島真景図」「津軽外ヶ浜真景図」について<br>—平成 26・27 年度購入資料— | 本田伸・竹村俊哉   |
|                     | 戦地から届いた葉書についての一考察                                   | 伊藤啓祐       |
|                     | 明治期の青森県における鉄道建設に対する世論に関する考察                         | 佐藤良宣       |
|                     | (研究ノート) 蓑虫山人とゆかりの人々                                 | 太田原慶子      |
|                     | 〔資料紹介〕鈴木正治の空摺り                                      | 伊丸岡政彦      |
|                     | 博物館活動と学校教育の融合についての研究                                | 伊丸岡雅彦      |

|                     |  |                |
|---------------------|--|----------------|
|                     | 青森県東通村入口・むつ市大畑町小目名のテラ行事調査報告              | 古川実            |
|                     | 青森県下北地方におけるサルケ（泥炭）の利用                    | 増田公寧           |
|                     | 近現代の青森県津軽地方における刀剣の伝説と世間話                 | 小山隆秀           |
|                     | 出前授業実施指導事例の紹介 『古い道具と昔の暮らし』               | 伊丸岡政彦・豊田雅彦     |
| 第 41 号<br>(平成 29 年) | 青森県野辺地町烏帽子岳のトビムシ類(Ⅱ)                     | 山内智・須磨靖彦       |
|                     | 青森県野辺地町烏帽子岳のササラダニ類(Ⅱ)                    | 大西純・山内智        |
|                     | 青森県南部の蛾類(Ⅷ)                              | 山内智            |
|                     | 原子一男コレクション植物標本目録(Ⅵ)                      | 齋藤信夫・山内智       |
|                     | 青森県立郷土館所蔵の大戸瀬産植物化石                       | 島口天            |
|                     | 野辺地町烏帽子岳におけるリョウメンシダの孢子囊の形成位置と孢子の放出時期について | 齋藤信夫・豊田雅彦      |
|                     | 赤色顔料が付着した寺ノ沢遺跡の縄文土器について                  | 領塚正浩・成瀬正和・中村哲也 |
|                     | 青森県における縄文時代のアスファルト利用                     | 杉野森淳子          |
|                     | 新収蔵資料紹介 蓑虫山人筆屏風一浪岡全景図屏風を中心に              | 太田原慶子          |
|                     | 明治期前半の青森県における鉄道建設に関する動向について              | 佐藤良宣           |
|                     | 青森県むつ市川内町松川と宿野部のテラ行事調査報告                 | 古川実            |
|                     | 青森県における前近代の武の伝承と変容                       | 小山隆秀           |
|                     | 青森県上北地方におけるシギボ（泥炭）の利用                    | 増田公寧           |
|                     | 松木満史研究のための序論                             | 和山大輔           |
|                     | 「授業に役立つ博物館研修について」                        | 豊田雅彦・福士道太・伊藤啓祐 |
| 第 42 号<br>(平成 30 年) | 青森県南部の蛾類(Ⅸ)ー福田進コレクションー                   | 山内智            |
|                     | 青森県横浜町吹越烏帽子岳のトビムシ類                       | 山内智・須磨靖彦       |
|                     | 青森県横浜町吹越烏帽子岳のササラダニ類                      | 大西純・山内智        |
|                     | 青森県産の石材                                  | 島口天            |
|                     | 野辺地町烏帽子岳におけるシシガシラの葉の形態的な特徴と生育地について       | 齋藤信夫・豊田雅彦      |
|                     | 川原平(1)・(4)遺跡の人面および動物意匠付土器                | 岡本洋            |
|                     | 成田コレクション『櫻花聚品』について                       | 太田原慶子          |
|                     | 明治期青森ー弘前間鉄道建設をめぐる新聞記事について                | 佐藤良宣           |
|                     | 青森県風間浦村桑畑・むつ市大畑町関根橋のテラ行事調査報告             | 古川実            |
|                     | 近代の新聞報道にみるねぶた喧嘩ー明治期から昭和初期ー               | 小山隆秀           |
|                     | 青森県岩木川下流域におけるサルケ（泥炭）の利用(2)               | 増田公寧           |
|                     | 松木満史の初期作品の評価                             | 和山大輔           |
|                     | 「平成 29 年度 あおもり街かど探偵団～諏訪神社と堤橋周辺～」報告書      | 滝本敦            |
|                     | 地域教材を生かした出前授業の実践                         | 福士道太・豊田雅彦・滝本敦  |
|                     | 青森県立郷土館収蔵庫空調改修工事に関する取組(1)                | 杉野森淳子          |
| 第 43 号<br>(平成 31 年) | 青森県津軽地方南部の蛾類                             | 山内智            |
|                     | 青森県津軽地方南部のトビムシ類                          | 山内智・須磨靖彦       |
|                     | 青森県津軽地方南部のササラダニ類                         | 大西純・山内智        |
|                     | 植物学者郡場寛博士の履歴(7) 趣味                       | 山内智            |
|                     | 青森製氷株式会社の製氷工場に使われている石材                   | 島口天            |
|                     | 青森県中南津軽地域の植物調査(1)                        | 齋藤信夫・太田正文      |
|                     | 青森県中南津軽地域のコケ植物調査(1)                      | 太田正文           |
|                     | 青森県コケ植物分布ノート(4)                          | 太田正文           |

|   |  |                   |
|---|--|-------------------|
|   | 平成 30 年度企画展「新説！白神のいにしえ-津軽ダム建設に伴う発掘調査成果とともに-」開催報告 | 岡本洋               |
|   | 青森県内高等学校所蔵考古資料                                   | 杉野森淳子             |
|   | 青森県立郷土館所蔵 青森りんご史先人資料                             | 太田原慶子             |
|   | 明治前・中期の弘前における鉄道誘致に関する動向について                      | 佐藤良宣              |
|   | 青森県佐井村磯谷のテラ行事報告                                  | 古川実               |
|   | 来訪する神々-青森県内の事例報告-                                | 小山隆秀              |
|   | 青森県岩木川下流域におけるサルケ（泥炭）の利用（3）                       | 増田公寧              |
|   | 新収蔵 松木満史が描いた従軍スケッチ紹介と記述からの考察                     | 中村理香              |
|   | 高等学校日本史の授業と青森県立郷土館資料の関わりについて                     | 滝本敦               |
|   | 新学習指導要領とこれからの出前授業                                | 福士道太              |
|   | 青森県立郷土館収蔵庫空調改修工事に関する取り組み（2）                      | 杉野森淳子             |
| 第 44 号<br>(令和 2 年)                        | 青森製氷株式会社の製氷工場に使われている石材（追補）                       | 島口天               |
|   | 青森県中南津軽地域の植物調査（2）                                | 太田正文              |
|   | 青森県中南津軽地域のコケ植物調査（2）                              | 太田正文              |
|   | 青森県コケ植物分布ノート（5）                                  | 太田正文              |
|   | レプリカ法による縄文・弥生土器の検討                               | 高瀬克範・岡本洋          |
|   | 大平墓地公園遺跡出土石器について                                 | 齋藤岳・杉野森淳子・岡本洋     |
|   | 完全非破壊化学分析による石器石材研究 -青森県立郷土館収蔵石製品の石材同定-           | 飯塚義之・杉野森淳子        |
|   | 農学者田中稔資料目録                                       | 太田原慶子             |
|   | 近代の景勝地・十和田湖の交通整備                                 | 佐藤良宣              |
|   | 「南部津軽松前濱通絵図」について                                 | 滝本敦               |
|   | 青森県今別町奥平部・襲月・浜名の堂・庵行事調査報告                        | 古川実               |
|   | 事例報告 青森県津軽地方のスイコ様信仰の諸相と現在                        | 小山隆秀              |
|   | 青森市（青森町）における明治中期の缶詰業                             | 増田公寧              |
|   | 青森県における製氷と氷雪利用                                   | 増田公寧              |
|   | 松木満史が描き続けたテーマ「馬」に関する考察                           | 中村理香              |
|   | 学校向け学習支援事業の新しい試み                                 | 福士道太              |
|   | 第 45 号<br>(令和 3 年)                               | 青森県中南津軽地域の植物調査（3） |
| 青森県中南津軽地域のコケ植物調査（3）                       |  | 太田正文              |
| 山口博尚コレクション蛾類目録（1）                         |  | 片山卓思・太田正文         |
| 江戸～明治時代における錦石に関連した石の名称                    |  | 島口天               |
| 平館村今津で使われていた漁網の石製沈子（略報）-縄文時代の石錘と酷似した民俗資料- |  | 岡本洋               |
| 下北半島の緑色磨製石斧の石材鑑定について                      |  | 杉野森淳子             |
| 宇鉄遺跡出土の碧玉製管玉に関する基礎的研究                     |  | 根岸洋・大上立朗・太田圭・岡本洋  |
| 蓑虫山人が夢みた博物館 -資料「廣澤安任自筆草稿」を中心に-            |  | 太田原慶子             |
| 当館に寄贈された佐藤仁氏旧蔵資料について -その概要-               |  | 佐藤良宣・滝本敦・岡本洋      |
| 新型コロナウイルス感染拡大下における博物館活動と民俗研究              |  | 小山隆秀              |
| 青森県下北・上北地方の盆棚                             |  | 増田公寧              |
| 青森県における清涼飲料水の製造と普及（1）                     |  | 増田公寧              |
| 資料紹介 松木満史が描いた「人物画」                        |  | 中村理香              |
| 「古い道具と昔の暮らし」の学習について                       |  | 福士道太              |

|                   |                             |                   |
|-------------------|-----------------------------|-------------------|
| 第46号<br>(令和4年)    | 青森県中南津軽地域のコケ植物調査(4)         | 太田正文              |
|                   | 山内博尚コレクション蛾類目録(2)           | 片山卓思・太田正文         |
|                   | 青森製氷株式会社の製氷工場に使われている石材(追補2) | 島口天               |
|                   | 【資料紹介】縄文時代晩期の土偶、青森市浪岡地区採集資料 | 杉野森淳子             |
|                   | 缶詰の委託加工と贈答慣行ー青森県・秋田県の事例からー  | 増田公寧              |
|                   | 青森県における清涼飲料水の製造と普及(2)       | 増田公寧              |
|                   | 【資料紹介】鈴木正治の絵画作品(ウゴカズ・誕生)    | 中村理香              |
|                   | オンライン会議システムを活用した博物館事業の試み    | 神康夫・小山隆秀・<br>中沢秀一 |
|                   | 恐山史料の再発見                    | 佐藤良宣・小山隆秀         |
| 【新収蔵資料紹介】「奥州通道中記」 | 太田原慶子・佐藤良宣・<br>滝本敦・本田伸      |                   |

### 2-3. 調査報告書一覧

| 号  | 刊行年          | タイトル・サブタイトル          | シリーズ・サブシリーズ                         | 分野    | 形態               |
|----|--------------|----------------------|-------------------------------------|-------|------------------|
| 1  | 1973(昭和48)年度 | 青森県植物研究年譜            | -                                   | 自然    | A5, 70p          |
| 2  | 1975(昭和50)年度 | 下田代納屋B遺跡発掘調査報告書      | 青森県立郷土館調査報告書 No. 1                  | 考古 1  | B5, 96p + 付図 1   |
| 3  | 1976(昭和51)年度 | 雪国の民俗調査報告書           | 青森県立郷土館調査報告書 No. 2                  | 民俗 1  | B5, 80p          |
| 4  | 1977(昭和52)年度 | 陸奥舟岡の民俗調査報告書         | 青森県立郷土館調査報告書 No. 3, 陸奥湾沿岸民俗文化財調査 1  | 民俗 2  | B5, 146p         |
| 5  | 1978(昭和53)年度 | 九艘泊・蛸田の民俗調査報告書       | 青森県立郷土館調査報告書 No. 4, 陸奥湾沿岸民俗文化財調査 2  | 民俗 3  | B5, 160p         |
| 6  | 1978(昭和53)年度 | 大平山元Ⅰ遺跡発掘調査報告書       | 青森県立郷土館調査報告書 No. 5                  | 考古 2  | B5, 64p          |
| 7  | 1978(昭和53)年度 | 宇鉄Ⅱ遺跡発掘調査報告書         | 青森県立郷土館調査報告書 No. 6                  | 考古 3  | B5, 96p + 付図 1   |
| 8  | 1979(昭和54)年度 | 大平山元Ⅱ遺跡発掘調査報告書       | 青森県立郷土館調査報告書 No. 8                  | 考古 4  | A4, 本文60p + 図54p |
| 9  | 1979(昭和54)年度 | 鶏沢・有畑・浜田の民俗          | 青森県立郷土館調査報告書 No. 7, 陸奥湾沿岸民俗文化財調査 3  | 民俗 4  | B5, 144p         |
| 10 | 1980(昭和55)年度 | 大平山元Ⅲ遺跡発掘調査報告書       | 青森県立郷土館調査報告書 No. 11                 | 考古 5  | A4, 58p          |
| 11 | 1980(昭和55)年度 | 尻八館調査報告書             | 青森県立郷土館調査報告書 No. 9                  | 歴史 1  | B5, 186p + 付図    |
| 12 | 1980(昭和55)年度 | 浦田の民俗                | 青森県立郷土館調査報告書 No. 10, 陸奥湾沿岸民俗文化財調査 4 | 民俗 5  | B5, 118p         |
| 13 | 1981(昭和56)年度 | 小舟渡の民俗               | 青森県立郷土館調査報告書 No. 13, 太平洋沿岸民俗調査 1    | 民俗 6  | B5, 124p         |
| 14 | 1981(昭和56)年度 | 津軽半島の自然: 津軽半島自然調査報告書 | 青森県立郷土館調査報告書 No. 12                 | 自然 1  | B5, 153p         |
| 15 | 1982(昭和57)年度 | 乳井通り                 | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 3                | 歴史道 3 | A4, 28p + 地図     |
| 16 | 1982(昭和57)年度 | 大豆坂通り                | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 2                | 歴史道 2 | A4, 17p + 地図     |
| 17 | 1982(昭和57)年度 | 小田野沢の民俗              | 青森県立郷土館調査報告書 No. 14, 太平洋沿岸民         | 民俗 7  | B5, 133p         |

|    |               |                          |                                   |        |               |
|----|---------------|--------------------------|-----------------------------------|--------|---------------|
|    |               |                          | 俗調査 2                             |        |               |
| 18 | 1982(昭和 57)年度 | 松前街道 (羽州街道 2)            | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 1              | 歴史道 1  | A4, 26p + 地図  |
| 19 | 1982(昭和 57)年度 | 羽州街道                     | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 4              | 歴史道 4  | A4, 58p + 地図  |
| 20 | 1982(昭和 57)年度 | 青森県の板碑                   | 青森県立郷土館調査報告書 No. 15               | 歴史 2   | B5, 215p      |
| 21 | 1983(昭和 58)年度 | 下之切通り (小泊道)              | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 9              | 歴史道 9  | A4, 36p + 地図  |
| 22 | 1983(昭和 58)年度 | 亀ヶ岡遺跡発掘調査報告書             | 青森県立郷土館調査報告書 No. 17               | 考古 6   | B5, 333p      |
| 23 | 1983(昭和 58)年度 | 十三街道                     | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 6              | 歴史道 6  | A4, 30p + 地図  |
| 24 | 1983(昭和 58)年度 | 百沢街道                     | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 8              | 歴史道 8  | A4, 24p + 地図  |
| 25 | 1983(昭和 58)年度 | 西浜街道 (鯨ヶ沢街道)             | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 5              | 歴史道 5  | A4, 57p + 地図  |
| 26 | 1983(昭和 58)年度 | 関の民俗                     | 青森県立郷土館調査報告書 No. 16, 日本海沿岸民俗調査 1  | 民俗 8   | B5, 135p      |
| 27 | 1983(昭和 58)年度 | 黒石・山形街道                  | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 7              | 歴史道 7  | A4, 20p + 地図  |
| 28 | 1984(昭和 59)年度 | 上り街道 (八戸街道)              | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 12             | 歴史道 12 | A4, 22p + 地図  |
| 29 | 1984(昭和 59)年度 | 久慈街道                     | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 13             | 歴史道 13 | A4, 28p + 地図  |
| 30 | 1984(昭和 59)年度 | 奥州街道(1)                  | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 11             | 歴史道 11 | A4, 103p + 地図 |
| 31 | 1984(昭和 59)年度 | 青森県の漁撈用和船                | 青森県立郷土館調査報告書 No. 18               | 産業 1   | B5, 128p      |
| 32 | 1984(昭和 59)年度 | 鹿角街道                     | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 10             | 歴史道 10 | A4, 33p + 地図  |
| 33 | 1985(昭和 60)年度 | 下北半島の自然 : 下北半島自然調査報告書    | 青森県立郷土館調査報告書 No. 20               | 自然 2   | B5, 142p      |
| 34 | 1985(昭和 60)年度 | 北浜街道                     | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 17             | 歴史道 17 | A4, 49p + 地図  |
| 35 | 1985(昭和 60)年度 | 北通道                      | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 14             | 歴史道 14 | A4, 34p + 地図  |
| 36 | 1985(昭和 60)年度 | 田名部街道                    | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 16             | 歴史道 16 | A4, 37p + 地図  |
| 37 | 1985(昭和 60)年度 | 脇元の民俗                    | 青森県立郷土館調査報告書 No. 19, 日本海沿岸民俗調査 2  | 民俗 9   | B5, 123p      |
| 38 | 1985(昭和 60)年度 | 西通道                      | 青森県「歴史の道」調査報告書 No. 15             | 歴史道 15 | A4, 26p + 地図  |
| 39 | 1986(昭和 61)年度 | 宇鉄の民俗                    | 青森県立郷土館調査報告書 No. 21, 津軽海峡沿岸民俗調査 1 | 民俗 10  | B5, 126p      |
| 40 | 1986(昭和 62)年度 | 蛇浦の民俗                    | 青森県立郷土館調査報告書 No. 23, 津軽海峡沿岸民俗調査 2 | 民俗 11  | B5, 126p      |
| 41 | 1987(昭和 62)年度 | 名川町剣吉荒町遺跡(第 2 地区)発掘調査報告書 | 青森県立郷土館調査報告書 No. 22               | 考古 7   | B5, 141p      |
| 42 | 1987(昭和 63)年度 | 世増・畑内の民俗                 | 青森県立郷土館調査報告書 No. 24, 青森県山村民俗調査 1  | 民俗 12  | B5, 74p       |
| 43 | 1987(昭和 63)年度 | 三厩村宇鉄遺跡発掘調査報告書           | 青森県立郷土館調査報告書 No. 25               | 考古 8   | B5, 74p       |

|    |               |   |                                  |       |               |
|----|---------------|---|----------------------------------|-------|---------------|
| 44 | 1989(平成 1)年度  | 西越・田中の民俗                                | 青森県立郷土館調査報告書 No. 26, 青森県山村民俗調査 2 | 民俗 13 | B5, 80p       |
| 45 | 1989(平成 1)年度  | 青森県中世金石造文化財                             | 青森県立郷土館調査報告書 No. 27              | 歴史 3  | B5, 165p      |
| 46 | 1990(平成 2)年度  | 上小倉平・下小倉平の民俗                            | 青森県立郷土館調査報告書 No. 29, 青森県山村民俗調査 3 | 民俗 14 | B5, 101p      |
| 47 | 1990(平成 2)年度  | 赤石川流域の自然                                | 青森県立郷土館調査報告書 No. 28              | 自然 3  | B5, 176p      |
| 48 | 1991(平成 3)年度  | 三沢市山中(2)貝塚・天間林村二ツ森貝塚発掘調査報告書：小川原湖周辺の貝塚   | 青森県立郷土館調査報告書 No. 31              | 考古 9  | B5, 125p      |
| 49 | 1991(平成 3)年度  | 小国の民俗                                   | 青森県立郷土館調査報告書 No. 30, 青森県山村民俗調査 4 | 民俗 15 | B5, 66p       |
| 50 | 1992(平成 4)年度  | 大秋・白沢の民俗                                | 青森県立郷土館調査報告書 No. 32, 青森県山村民俗調査 5 | 民俗 16 | B5, 68p       |
| 51 | 1993(平成 5)年度  | 菖蒲川の民俗                                  | 青森県立郷土館調査報告書 No. 33, 青森県農村民俗調査 1 | 民俗 17 | B5, 70p       |
| 52 | 1993(平成 5)年度  | 青森県の諸職 2                                | 青森県立郷土館調査報告書 No. 34              | 産業 2  | B5, 128p      |
| 53 | 1994(平成 6)年度  | 岩木川流域の縄文前期の貝塚発掘調査報告書 = 木造町田小屋野貝塚発掘調査報告書 | 青森県立郷土館調査報告書 No. 35              | 考古 10 | B5, 152p      |
| 54 | 1994(平成 6)年度  | 洞内の民俗                                   | 青森県立郷土館調査報告書 No. 36, 青森県農村民俗調査 2 | 民俗 18 | B5, 72p       |
| 55 | 1995(平成 7)年度  | 奥内の民俗                                   | 青森県立郷土館調査報告書 No. 38, 青森県農村民俗調査 3 | 民俗 19 | B5, 84p       |
| 56 | 1995(平成 7)年度  | 白神山地の自然：笹内側流域・十二湖周辺                     | 青森県立郷土館調査報告書 No. 37              | 自然 4  | B5, 103p      |
| 57 | 1996(平成 8)年度  | 諏訪堂の民俗                                  | 青森県立郷土館調査報告書 No. 39, 青森県農村民俗調査 4 | 民俗 20 | B5, 80p       |
| 58 | 1996(平成 8)年度  | 馬淵川流域の遺跡調査報告書                           | 青森県立郷土館調査報告書 No. 40              | 考古 11 | A4, 201p + 付図 |
| 59 | 1997(平成 9)年度  | 再賀の民俗                                   | 青森県立郷土館調査報告書 No. 42, 青森県農村民俗調査 5 | 民俗 21 | B5, 85p       |
| 60 | 1997(平成 9)年度  | 青森県の仏像 西北五地方編                           | 青森県立郷土館調査報告書 No. 41              | 歴史 4  | A4, 112p      |
| 61 | 1998(平成 10)年度 | 青森県美術調査報告書 1 今純三作品目録                    | 青森県立郷土館調査報告書 No. 43              | 美術    | A4, 98p       |

|    |               |                      |                     |       |          |
|----|---------------|----------------------|---------------------|-------|----------|
| 62 | 1999(平成 11)年度 | 東北町長者久保遺跡・木造町丸山遺跡    | 青森県立郷土館調査報告書 No. 44 | 考古 12 | A4, 77p  |
| 63 | 2000(平成 12)年度 | 下北丘陵の自然 : 下北丘陵自然調査報告 | 青森県立郷土館調査報告書 No. 45 | 自然 5  | A4, 111p |
| 64 | 2001(平成 13)年度 | 青森県沿岸漁業調査報告          | 青森県立郷土館調査報告書 No. 46 | 産業 2  | A4, 95p  |
| 65 | 2002(平成 14)年度 | 青森県山車祭礼調査報告          | 青森県立郷土館調査報告書 No. 47 | 民俗 22 | A4, 95p  |

### 3. 特別展、企画展一覧（昭和48年4月～平成22年3月）

※特別展示室（大ホール）を会場とした展示会を中心に記す。

※「特別展」「企画展」は当館が主催、「共催展」は当館と外部団体が共催。

※「外部主催特別展」は新聞社・テレビ局等が主催したもの。

昭和48（1973）年9月～昭和49（1974）年3月

- 9月20日～2月10日 開館記念特別展「風韻堂コレクション展」
- 9月20日～2月24日 コーナー特別展「郷土の玩具展－玩具と風土－」
- 2月26日～ コーナー特別展「郷土のやきもの展」
- 3月1日～ 特別展「青森県の百年－世相の移り変わり－」※東奥日報社共催

昭和49（1974）年4月～昭和50（1975）年3月

- ～5月19日 特別展「青森県の百年－世相の移り変わり－」※東奥日報社共催
- ～5月30日 コーナー特別展「郷土のやきもの展」
- 6月1日～7月14日 特別展「青森県民芸古作展」
- 6月1日～7月14日 コーナー特別展「佐藤蔀植物図譜展」
- 7月16日～8月15日 コーナー特別展「南部小絵馬」
- 7月25日～11月3日 特別展「鳥展 野鳥の生活と青森県」
- 8月16日～9月8日 コーナー特別展「青森県の鉱物資源展」
- 9月10日～10月13日 コーナー特別展「きのこ展」
- 10月15日～12月27日 コーナー特別展「津軽藩主遺墨展」
- 12月3日～ 特別展「斗南藩資料展」
- 1月5日～3月30日 コーナー特別展「わら展」

昭和50（1975）年4月～昭和51（1976）年3月

- ～4月27日 特別展「斗南藩資料展」
- 4月1日～7月31日 コーナー特別展「下駄づくりの道具展」
- 5月4日～8月10日 特別展「昔のかんばん展」
- 8月1日～11月22日 コーナー特別展「古代の青森－土師・須恵器展」
- 9月2日～1月30日 特別展「今淵コレクション展」
- 11月25日～ コーナー特別展「海そう展」

昭和51（1976）年4月～昭和52（1977）年3月

- ～4月25日 コーナー特別展「海そう展」
- 6月1日～7月30日 コーナー特別展「むつ湾の貝」
- 7月27日～9月22日 特別展「津軽塗展」
- 8月1日～10月17日 コーナー特別展「青森の帰化植物」
- 10月13日～11月28日 特別展「刺しこぎんと菱刺」
- 10月19日～11月28日 コーナー特別展「蹄鉄づくり」

昭和52（1977）年4月～昭和53（1978）年3月

- 5月1日～6月29日 コーナー特別展「蝶の世界－ゼフィルスの生活」
- 7月1日～8月30日 コーナー特別展「竹籠づくり－根曲り竹－」
- 9月1日～11月3日 コーナー特別展「薬用植物展」
- 9月15日～10月16日 特別展「円空・学秀仏－庶民の心を彫る－」
- 12月1日～2月26日 コーナー特別展「あすなろ国体資料展」
- 3月15日～ コーナー特別展「青函トンネル写真展」

昭和53（1978）年4月～昭和54（1979）年3月

- ～4月16日 コーナー特別展「青函トンネル写真展」
- 4月18日～6月29日 コーナー特別展「仕事着展－田中コレクション－」
- 7月1日～9月3日 コーナー特別展「ワッパづくり」
- 7月25日～8月27日 特別展「郷土の生んだ不世出の画人『野澤如洋展』」
- 9月5日～11月5日 コーナー特別展「淡水魚展」
- 11月7日～11月23日 外部主催特別展「サンパウロ美術館展」
- 12月5日～1月28日 コーナー特別展「炭をつくる－青森県の製炭業－」

2月 6日～ コーナー特別展「青森県の自然－けものと鳥の仲間たち－」  
 昭和54（1979）年4月－昭和55（1980）年3月  
 ～ 5月13日 コーナー特別展「青森県の自然－けものと鳥の仲間たち－」  
 5月15日～ 6月24日 特別展「青森県のコウモリートウヨウヒナコウモリ保護の記録－」  
 7月 1日～ 7月22日 特別展「ちょうちん展」  
 8月 1日～ 9月16日 特別展「全国民陶展」  
 10月 2日～10月21日 外部主催特別展「ルーマニア国立美術館展」  
 12月 1日～12月26日 特別展「空から見た郷土の変ぼう写真展」  
 1月10日～ 1月30日 特別展「蝶の世界－県産チョウ類を中心に－」  
 3月 1日～ 特別展「よみがえる奈良・平安時代の青森－発掘資料から郷土の歴史を考える－」  
 昭和55（1980）年4月－昭和56（1981）年3月  
 ～ 6月 1日 特別展「よみがえる奈良・平安時代の青森－発掘資料から郷土の歴史を考える－」  
 6月 8日～ 7月20日 特別展「桶づくり展」  
 8月 1日～ 8月31日 特別展「名作浮世絵版画にみる江戸時代の旅」  
 9月 6日～ 9月15日 共催展「永遠の棟方志功」写真展  
 9月20日～10月19日 特別展「シダ植物－その特徴と利用－」  
 10月25日～11月14日 外部主催特別展「マイヨール展」  
 11月 2日～ 2月 1日 特別展「海を拓く－ホタテガイの増養殖－」  
 2月10日～ 特別展「収蔵資料紹介展」  
 昭和56（1981）年4月－昭和57（1982）年3月  
 ～ 4月19日 特別展「収蔵資料紹介展」  
 5月 1日～ 6月28日 特別展「あけびづる細工展」  
 7月 3日～ 7月19日 外部主催特別展「印象派（バンチェスト）展」  
 7月28日～ 8月23日 特別展「津軽半島自然展」  
 9月 1日～ 9月18日 特別展「日本の貨幣展」  
 9月26日～10月18日 特別展「青森県の古地図展」  
 10月24日～11月22日 特別展「日本伝統工芸秀作展」  
 12月 1日～ 1月10日 特別展「郷土の遺跡展」  
 1月20日～ 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 昭和57（1982）年4月－昭和58（1983）年3月  
 ～ 4月18日 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 5月 1日～ 5月30日 特別展「割りもの展」  
 6月 5日～ 7月18日 外部主催特別展「ピカソ陶芸展」  
 7月25日～ 8月25日 特別展「郷土の遺跡展Ⅱ」  
 9月 1日～ 9月29日 特別展「青森県の船絵馬展」  
 10月 9日～11月10日 東京国立博物館巡回展「日本の美」  
 11月20日～ 1月30日 特別展「弥生時代の青森」  
 2月15日～ 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 昭和58（1983）年4月－昭和59（1984）年3月  
 ～ 4月10日 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 4月20日～ 5月15日 外部主催特別展「ドウミエ版画展」  
 6月 1日～ 7月24日 特別展「農鍛冶展」  
 8月 2日～ 8月14日 特別展「青森県の昆虫展－虫の名を知る－」  
 9月20日～10月10日 共催展「鉄斎美術展」  
 10月18日～11月13日 開館10周年記念特別展「青森県の文化財展」  
 12月 1日～ 1月15日 特別展「写真で見る郷土の変遷展」  
 2月15日～ 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 昭和59（1984）年4月－昭和60（1985）年3月  
 ～ 4月10日 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 4月25日～ 5月20日 外部主催特別展「大チベット展」  
 7月11日～ 7月29日 特別展「青森県の板碑展」

8月 8日～ 8月26日 特別展「青森県の昆虫展—そのすみか—」  
 9月 6日～ 9月28日 特別展「蓑虫山人展—明治の郷土を記録した放浪の画人—」  
 10月16日～11月 4日 特別展「水墨淡彩による青森県の素描展」  
 11月10日～11月29日 特別展「円筒土器文化展」  
 12月11日～ 1月20日 特別展「子供の遊び展」  
 3月22日～ 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 昭和60（1985）年4月—昭和61（1986）年3月  
 ～ 4月10日 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 4月27日～ 5月26日 特別展「子供たちの版画カレンダー展」  
 6月 4日～ 6月30日 特別展「青森縄文文化のあけぼの—旧石器時代から縄文時代へ—」  
 8月 6日～ 8月22日 特別展「下北半島自然展」  
 8月27日～ 9月15日 外部主催特別展「棟方志功展」  
 10月 5日～10月27日 特別展「近代日本画名作展」  
 11月 1日～11月14日 外部主催特別展「J・Mフォロン展—ユーモアとファンタジーの世界」  
 11月21日～12月15日 特別展「青森県の漁具展—失われゆく漁具—」  
 3月 5日～ 特別展「収蔵資料紹介展」  
 昭和61（1986）年4月—昭和62（1987）年3月  
 ～ 4月13日 特別展「収蔵資料紹介展」  
 4月20日～ 5月 5日 特別展「第2回子供たちの版画カレンダー展」  
 5月10日～ 5月25日 特別展「茶道美術工芸展—大名茶人小堀遠州をめぐる—」  
 6月 6日～ 6月29日 特別展「地図展—地図・空中写真で見る郷土の姿—」  
 7月13日～ 8月24日 特別展「青森県の昆虫展—その食べもの—」  
 9月 2日～ 9月24日 外部主催特別展「萬鐵五郎展」  
 10月 1日～11月 9日 特別展「亀ヶ岡文化展」  
 11月20日～12月 3日 外部主催特別展「吉田松陰と明治維新の志士たち展」  
 12月14日～ 1月18日 特別展「第2回子供の遊び展」  
 3月 8日～ 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 昭和62（1987）年4月—昭和63（1988）年3月  
 ～ 4月12日 特別展「新収蔵資料紹介展」  
 4月19日～ 5月10日 特別展「第3回子供たちの版画カレンダー展」  
 6月 7日～ 6月28日 特別展「くらしの中のガラス展」  
 7月12日～ 8月23日 特別展「青森県の昆虫展—虫の知恵—」  
 9月12日～10月 4日 外部主催特別展「茶道名品展—利休と三斎—」  
 10月17日～11月15日 共催展「サントリー美術館所蔵『日本の美展』」  
 11月29日～ 1月10日 特別展「青森県の漁船展」  
 3月 6日～ 特別展「新収蔵資料展」  
 昭和63（1988）年4月—平成元（1989）年3月  
 ～ 4月10日 特別展「新収蔵資料展」  
 4月19日～ 6月12日 特別展「第4回子供たちの版画カレンダー展」  
 7月 7日～ 9月18日 特別展「津軽海峡縄文美術展」  
 10月 1日～11月 3日 特別展「津軽・南部のさしこ着物展」  
 11月18日～12月11日 特別展「遺跡発掘資料展—よみがえる古代の青森—」  
 12月20日～ 1月22日 特別展「第3回子供のあそび展」  
 3月 5日～ 特別展「新収蔵資料展」  
 平成元（1989）年4月—平成2（1990）年3月  
 ～ 4月12日 特別展「新収蔵資料展」  
 4月20日～ 5月21日 特別展「第5回子供たちの版画カレンダー展」  
 7月20日～ 8月20日 特別展「青森県の昆虫展—虫の冬越し—」  
 8月 1日～ 8月 7日 特別展「ねぶた・ねぶた展」  
 8月29日～ 9月24日 特別展「地域総合展『岩木山展』」  
 11月 3日～11月12日 特別展「手づくり縄文土器展示会」

- 3月 4日～ 特別展「新収蔵資料展」  
平成2（1990）年4月～平成3（1991）年3月  
～ 4月 8日 特別展「新収蔵資料展」  
4月20日～ 5月20日 特別展「第6回子供たちの版画カレンダー展」  
6月 1日～ 6月17日 特別展「南部小絵馬展」  
6月26日～ 8月19日 特別展「遺跡発掘資料展－よみがえるいにしへの青森－」  
8月 1日～ 8月 7日 「ねぶた・ねぶた紹介コーナー」（第5展示室）  
9月14日～ 9月22日 特別展「手づくり縄文土器展示会」  
10月12日～11月 4日 特別展「青森県近代洋画のあゆみ展」  
11月18日～12月 2日 特別展「下山健作昆虫展」  
2月 3日～ 3月17日 特別展「新収蔵資料展」  
平成3（1991）年4月～平成4（1992）年3月  
4月19日～ 6月16日 特別展「第7回子供たちの版画カレンダー展」  
7月12日～ 8月18日 特別展「赤石川流域の自然展」  
8月 1日～ 8月 7日 「ねぶた・ねぶた紹介コーナー展」（第5展示室）  
8月20日～ 8月25日 特別展「手づくり縄文土器展示会」  
9月10日～10月16日 特別展「第2回地域総合展『しもきた』」  
10月17日～11月10日 特別展「松木満史とその時代展」  
11月16日～12月 8日 特別展「青森県の中世金石造文化財展」  
1月22日～ 2月 9日 特別展「松木満史資料展」  
2月15日～ 3月15日 特別展「新収蔵資料展」  
平成4（1992）年4月～平成5（1993）年3月  
4月17日～ 5月17日 特別展「第8回子供たちの版画カレンダー展」  
6月12日～ 6月21日 「陸奥国津軽郡之絵図（正保国絵図）展示」（エントランスホール）  
6月12日～ 7月12日 特別展「高照神社宝物展」  
8月12日～ 8月30日 特別展「散歩道の草花展」  
9月15日～10月11日 特別展「日本近代銅版画と今純三展」  
10月20日～11月23日 特別展「背を飾る－東北の装飾衣類展－」  
2月19日～ 3月14日 特別展「新収蔵資料展」  
2月19日～ 3月14日 特別展「小坂圭二彫刻展」  
3月23日～ 3月28日 特別展「青函アート展」  
平成5（1993）年4月～平成6（1994）年3月  
4月16日～ 5月16日 特別展「第9回子供たちの版画カレンダー展」  
6月 4日～ 6月27日 特別展「青森県の産業絵馬展」  
7月 6日～ 7月18日 特別展「身近な薬草展」  
8月 1日～ 8月 7日 「ねぶた・ねぶた紹介コーナー」  
8月 3日～ 8月22日 外部主催特別展「相撲博物館青森展」  
9月17日～10月17日 開館20周年記念特別展「漆の美－日本の漆文化と青森県－」  
10月29日～11月28日 特別展「青森県初の女流洋画家 橋本花の世界展」  
2月18日～ 3月13日 特別展「新収蔵資料展」  
平成6（1994）年4月～平成7（1995）年3月  
4月15日～ 5月15日 特別展「第10回子供たちの版画カレンダー展」  
6月10日～ 6月26日 外部主催特別展「第1回県収集美術資料展」  
7月 8日～ 8月21日 特別展「貝の世界展」  
8月 2日～ 8月 7日 「ねぶた・ねぶた紹介コーナー」  
8月13日～ 8月21日 外部主催特別展「三内丸山遺跡出土品展示」  
9月 9日～10月 2日 特別展「稲生川と土淵堰展－大地を拓いた人々－」  
10月 7日～11月 6日 特別展「野澤如洋と橋本雪蕉展」  
11月11日～11月27日 外部主催特別展「MOA美術館所蔵 近代日本の木版画展」  
12月 9日～12月22日 外部主催特別展「三内丸山遺跡出土品展示」  
12月10日～ 1月14日 特別展「くらしの中の信仰展－青森県の民間信仰－」

- 1月25日～ 1月29日 外部主催特別展「青森県文化賞受賞作家シリーズ（Ⅰ）－織田重信の世界展－」
- 2月14日～ 3月19日 特別展「新収蔵資料展」
- 平成7（1995）年4月－平成8（1996）年3月
- 4月18日～ 5月 7日 特別展「第11回子供たちの版画カレンダー展」
- 6月15日～ 7月 9日 特別展「縄文の造形（かたち）－青森県の先史文化財展－」
- 7月21日～ 8月20日 特別展「白神山地の自然」
- 8月 1日～ 8月 7日 「ねぶた・ねぶた紹介コーナー」
- 9月14日～10月10日 特別展「青森県近代版画のあゆみ展」
- 10月20日～11月26日 特別展「ロシア極東の自然と文化－ハバロフスク郷土博物館所蔵展」
- 12月 8日～12月24日 外部主催特別展「第2回県収集美術資料展」
- 1月20日～ 2月 4日 外部主催特別展「青森県文化賞受賞作家シリーズ（Ⅱ）－鎌田光展の世界展－」
- 2月16日～ 3月17日 特別展「新収蔵資料展」
- 3月22日～ 3月24日 外部主催特別展「アジア矯正施設収容少年絵画エッセイコンクール優秀作品展示会」
- 平成8（1996）年4月－平成9（1997）年3月
- 4月 9日～ 5月 5日 特別展「第2回こどもたちの版画作品展」
- 5月17日～ 6月 2日 外部主催特別展「第3回県収集美術資料展」
- 6月11日～ 7月 7日 特別展「大川亮と農村工芸」
- 7月19日～ 8月25日 特別展「縄文の玉手箱展－風韻堂コレクション展－」
- 9月12日～10月 6日 特別展「日本近代水彩画の全盛期と松山忠三展」
- 10月15日～11月 4日 外部主催特別展「中国・南越王の至宝－前漢時代広州の王朝文化－」
- 11月12日～12月 8日 特別展「西・北津軽の仏たち」
- 1月24日～ 2月27日 特別展「新収蔵資料展」
- 3月 2日～ 3月 9日 特別展「心に刻む アウシュヴィッツ展」
- 3月11日～ 3月23日 特別展「青森県文化賞受賞作家シリーズ－レモンの香りと故郷のロマンを描く－  
『小館善四郎の世界』展」
- 平成9（1997）年4月－平成10（1998）年3月
- 4月11日～ 5月11日 特別展「第3回こどもたちの版画作品展」
- 5月20日～ 6月 1日 外部主催特別展「県収集美術資料展」
- 6月20日～ 7月21日 特別展「発掘あおもり'90～'95－ほりおこされた郷土－」
- 7月25日～ 8月24日 特別展「福士襄博士昆虫展－家に潜む虫たち－」
- 10月 1日～11月24日 特別展「アメリカ合衆国メイン州の自然と文化－青森県メイン州友好協定締結  
記念－」
- 11月16日～ 2月15日 外部主催特別展「アイヌ工芸展－サハリンアイヌの生活文化－」
- 2月20日～ 3月15日 特別展「新収蔵資料展」
- 平成10（1998）年4月－平成11（1999）年3月
- 4月10日～ 5月 5日 特別展「第4回こどもたちの版画作品展」
- 5月12日～ 5月24日 外部主催特別展「青森市神社宝物展」
- 6月 3日～ 6月 7日 外部主催特別展「青森県美術館コレクション展」
- 6月16日～ 6月28日 外部主催特別展「包むこころ ふろしき展」
- 7月20日～ 8月23日 青森県文化観光立県宣言記念特別展「中世国際港湾都市十三湊と安藤氏」
- 9月11日～10月25日 特別展「青森県近代日本画のあゆみ展」
- 10月31日～11月23日 外部主催特別展「黄金の茶室と茶の湯の世界」
- 11月28日～12月13日 外部主催特別展「生きる喜び 相田みつを展」
- 12月18日～12月20日 外部主催特別展「青森県総合芸術パークグランドコンペ応募作品展」
- 1月19日～ 2月14日 特別展「新収蔵資料展」
- 2月19日～ 3月22日 特別展「描かれた青森展」
- 平成11（1999）年4月－平成12（2000）年3月
- 4月15日～ 5月 5日 特別展「第5回こどもたちの版画作品展」
- 5月21日～ 6月 3日 外部主催特別展「遊牧の民に魅せられて～インダス川流域の染物と装身具～」
- 6月16日～ 6月28日 外部主催特別展「平山郁夫展」
- 6月18日～ 7月20日 特別展「至高の縄文祭祀芸術～注口土器と土偶～」

- 7月30日～ 8月22日 特別展「ねぶたと七夕～東北の夏まつり展～」
- 8月31日～ 9月26日 特別展「よみがえる漢王朝～2000年の時を越えて～」
- 10月 1日～10月24日 特別展「森の不思議な宝物～成田傳蔵ときのこの世界～」
- 10月29日～10月31日 外部主催特別展「青森県高等学校総合文化祭（美術部門）」
- 12月 4日～12月12日 外部主催特別展「青森県美術館コレクション展」
- 3月 4日～ 3月12日 外部主催特別展「県立美術館設計競技作品展」
- 平成12（2000）年4月～平成13（2001）年3月
- 4月14日～ 5月 7日 特別展「新収蔵資料展」
- 5月19日～ 6月 4日 特別展「第6回こどもたちの版画作品展」
- 6月16日～ 7月16日 特別展「撮られた青森～絵はがきと写真で見る近代～」
- 7月28日～ 8月 7日 特別展「ねぶた・ねぶた展」
- 8月12日～ 8月20日 外部主催特別展「青森県美術館コレクション展『キッズ・アート・ワールドあおもり2000』」
- 8月25日～ 9月10日 外部主催特別展「伊藤正規回顧展」
- 9月22日～10月22日 特別展「大地の画家 常田健展」
- 11月 2日～12月 3日 特別展「日本のわざと美展～重要無形文化財とそれを支える人々～」
- 平成13（2001）年4月～平成14（2002）年3月
- 4月13日～ 5月 6日 特別展「新収蔵資料展」
- 5月22日～ 6月17日 特別展「第7回こどもたちの版画作品展」
- 6月22日～ 7月 8日 外部主催特別展「花見宴展 原風景－黙示」
- 7月13日～ 7月22日 外部主催特別展「青森県美術館コレクション展 キッズ・アート・ワールドあおもり2001」
- 7月27日～ 8月 7日 特別展「ねぶた・ねぶた展」
- 8月14日～ 9月 9日 特別展「下北丘陵の自然展」
- 9月14日～10月 8日 外部主催特別展「西洋名画への招待 バルビゾン派から現代まで」
- 10月12日～11月11日 特別展「緑の樹の下の夢 青森県創作版画家たちの青春展」
- 11月16日～12月16日 特別展「火炎土器と翡翠の大珠展」
- 2月 1日～ 2月 3日 外部主催特別展「第10回日専連全国児童版画コンクール青森展」
- 平成14（2002）年4月～平成15（2003）年3月
- 4月16日～ 5月19日 特別展「美術展示ギャラリー 松木満史展」
- 5月24日～ 6月30日 特別展「収蔵資料展202－名品・珍品大集合－」
- 7月26日～ 8月25日 特別展「東日本の神送り行事 人形にたくした祈りのすがた」
- 9月10日～ 9月29日 外部主催特別展「夢窓国師650年・大本山相国寺・金閣・銀閣秘宝展」
- 10月 4日～11月10日 外部主催特別展「平山郁夫展」
- 11月15日～ 1月19日 特別展「今純三・今和次郎展 二人が描いた大正・昭和のくらしと風景」
- 1月24日～ 1月26日 外部主催特別展「第11回日専連全国児童版画コンクール青森展」
- 2月 1日～ 3月 2日 特別展「郷土館ギャラリー 関野準一郎展」
- 平成15（2003）年4月～平成16（2004）年3月
- 4月 4日～ 4月20日 特別展「郷土館ギャラリー 福島常作展」
- 4月25日～ 5月11日 特別展「ロバート・キャパ 澤田教一 酒井淑夫 写真展」
- 6月 1日～ 7月27日 開館30周年記念展「青森県の文化財」
- 8月 2日～ 9月15日 外部主催特別展「生誕百年記念展 棟方志功 わだばゴッホになる」
- 9月26日～11月 3日 開館30周年記念展「蝦夷錦と北方交易」
- 11月13日～12月14日 特別展「郷土館ギャラリー 小舘善四郎展」
- 12月18日～ 1月18日 特別展「生誕百年記念 北畠八穂展」
- 1月30日～ 2月 1日 外部主催特別展「第12回日専連全国児童版画コンクール青森展」
- 2月 6日～ 3月14日 特別展「あおもり新発見2003展」
- 平成16（2004）年4月～平成17（2005）年3月
- 4月 2日～ 4月25日 郷土館ギャラリー「濱田正二素描展 なつかしのふるさと」
- 5月 1日～ 5月23日 企画展「昔のくらしと道具展 生活の知恵や工夫がよみがえる」
- 5月28日～ 6月23日 共催展「小柴昌俊先生ノーベル賞受賞記念 東京大学総合研究博物館巡回展示

『ニュートリノ展』

- 7月 2日～ 7月19日 共催展「春から夏へ 秋から冬へ 四季彩々展」婦人の友表紙原画百選  
 7月24日～ 8月18日 特別展「鈴木正治展」  
 8月24日～ 9月12日 北東北三県共同展「描かれた北東北」  
 9月18日～10月17日 共催展「青森テレビ開局35周年記念 奥之院御本尊御開帳記念『京都 清水寺展』」  
 10月23日～11月14日 共催展「中国・景德鎮陶芸館所蔵『景德鎮千年の歴史展』」  
 11月19日～12月12日 郷土館ギャラリー「七尾謙次郎展」  
 12月17日～ 1月18日 企画展「木村秀政生誕百年記念『青森と飛行機』」  
 1月28日～ 1月30日 外部主催特別展「第13 回日専連青森全国児童版画コンクール青森展」  
 2月11日～ 3月13日 企画展「あおもり新発見2004展」  
 平成17（2005）年4月～平成18（2006）年3月  
 4月 1日～ 4月17日 共催展「佐野ぬい展－青のトポス」  
 4月23日～ 5月22日 共催展「風の画家 中島潔の世界－童画でつづる30年史－」  
 5月27日～ 7月10日 美術ギャラリー「加藤武夫展－輝く色彩の版画家－」  
 7月26日～ 9月 4日 特別展「辺境からのまなざし 笹森儀助展」  
 9月17日～10月16日 共催展「川端康成 文豪が愛した美の世界」  
 10月 1日～10月31日 企画展「世界自然遺産 白神山地の自然展」  
 10月22日～11月27日 特別展「東奥美術展の画家たち－青森県昭和前半期の美術－」  
 12月 9日～ 1月18日 企画展「十腰内文化展」  
 1月27日～ 1月29日 外部主催特別展「第12回日専連全国児童版画コンクール青森展」  
 2月 4日～ 2月26日 企画展「あおもり新発見2005展」  
 3月 3日～ 3月26日 共催展「ふるさとに集う 青森県の美術家新作展」  
 平成18（2006）年4月～平成19（2007）年3月  
 4月 7日～ 4月16日 外部主催特別展「伊藤正規 紺綬褒章受章記念展」  
 4月21日～ 5月14日 企画展「東京大学総合博物館巡回展『石の記憶－ヒロシマ・ナガサキ』」  
 5月20日～ 6月11日 共催展「北斎と広重展」  
 6月17日～ 7月 2日 共催展「世界遺産 高句麗壁画古墳展」  
 7月14日～ 8月27日 企画展「おがわら湖の自然史」  
 9月15日～11月 5日 特別展「わが家にテレビがやってきた 昭和30年代以降のくらしの変遷をたどる」  
 11月11日～12月10日 企画展「佐藤清治展」  
 12月19日～ 1月21日 企画展「郷土玩具展 北彰介コレクションを中心に」  
 1月26日～ 1月28日 外部主催特別展「第15回日専連全国児童版画コンクール青森展」  
 2月 9日～ 3月18日 企画展「あおもり新発見2006」  
 3月24日～ 共催展「北京故宮博物院展 清朝末期の宮廷芸術と文化」  
 平成19（2007）年4月～平成20（2008）年3月  
 ～ 4月22日 共催展「北京故宮博物院展 清朝末期の宮廷芸術と文化」  
 4月28日～ 5月27日 企画展「オモチャ博覧会 安田勝寿コレクション展」  
 6月 9日～ 7月16日 特別展「北東北三県共同展『北東北自然史博物館～大地と生きものふしぎ旅行～』」  
 7月28日～ 8月 7日 外部主催特別展「県人作家による八甲田山展」  
 8月15日～ 9月17日 企画展「よみがえれ北前船 北国の海運と船展」  
 9月22日～10月21日 企画展「花の肖像画 青森県の植物画展」  
 10月27日～11月25日 共催展「時代を歩いた放浪画家の生涯 山下清展」  
 12月 1日～ 1月20日 企画展「淡谷のり子展」  
 1月23日～ 1月25日 外部主催特別展「第14回日専連全国児童版画コンクール青森展」  
 3月20日～ 企画展「2008 あおもり新発見展」  
 平成20（2008）年4月～平成21（2009）年3月  
 ～ 4月20日 企画展「2008 あおもり新発見展」  
 4月26日～ 5月 6日 特別企画「国絵図特別公開」  
 5月16日～ 7月 6日 企画展「青函連絡船なつかしの百年－海峡を渡る船と人」  
 7月25日～ 9月28日 特別展「団塊世代の青春時代－よみがえる昭和40年代」  
 10月11日～11月16日 共催展「ジュディ・オング 倩玉 木版画の世界」

- 11月22日～ 1月18日 企画展「蓑虫山人と青森—放浪の画家が描いた明治の青森」  
 1月23日～ 1月25日 外部主催特別展「第15回日専連全国児童版画コンクール青森展」  
 3月 3日～ 企画展「サムライ・チャンバラ博覧会—武の実像と虚像—」  
 平成21（2009）年4月—平成22（2010）年3月  
 ～ 5月 6日 企画展「サムライ・チャンバラ博覧会—武の実像と虚像—」  
 5月 9日～ 5月19日 特別企画「新発見 津軽領の元禄国絵図」  
 5月23日～ 6月28日 共催展「片岡鶴太郎展'09 No Rainbows. “雨降らずば虹は出ず”」  
 7月 7日～ 8月16日 企画展「花田陽悟展」  
 8月28日～ 1月12日 特別展「妖怪展 神・もののけ・祈り」  
 10月20日～11月23日 特別展「北海道・北東北の縄文～ひと・くらし・まつり・交流～」  
 12月 4日～ 1月17日 企画展「野山を彩る北の植物たち～一戸清志写真展」  
 1月22日～ 1月24日 外部主催特別展「第19回日専連全国児童版画コンクール青森展」  
 3月 5日～ 企画展「新収蔵2009」  
 平成22（2010）年4月—平成23（2011）年3月  
 ～ 4月 4日 企画展「新収蔵2009」  
 4月16日～ 5月16日 外部主催特別展「生誕100年記念 津軽に生きた大地の画家 常田健」  
 5月21日～ 6月10日 外部主催特別展「サントリー美術名品展～美を結ぶ美をひろく～」  
 7月14日～ 7月27日 企画展「対馬 隆『野鳥の森』」  
 8月 3日～ 9月 5日 特別企画「文化庁巡回展『発掘された日本列島2010』」  
 9月17日～10月24日 特別展「北東北三県共同展『境界に生きた人々 遺物でたどる北東北のあゆみ』」  
 10月30日～12月 5日 外部主催特別展「生誕250年 北斎の富士」  
 12月11日～ 2月20日 特別展「東北新幹線全線開通記念特別展 青森のわざ—伝統工芸のいま—」  
 2月26日～ 3月18日 企画展「新収蔵2010」  
 平成23（2011）年4月—平成24（2012）年3月  
 4月22日～ 5月15日 企画展「戸倉嘉明コレクション寄贈記念『野澤如洋展』」  
 5月20日～ 7月 3日 外部主催特別展「土門拳の昭和」  
 7月15日～ 9月11日 特別展「地域総合展『十和田湖・八甲田山』」  
 9月17日～10月16日 外部主催特別展「八代亜紀アートの世界」展  
 10月28日～11月27日 企画展「今純三と考現学展」  
 12月 9日～ 1月29日 特別展「青森県博物館ロード『青い森の宝物—県内博物館名品大集合!!—』」  
 平成24（2012）年4月—平成25（2013）年3月  
 4月21日～ 5月27日 指定管理者自主事業特別展「あふれる感情 工藤静香」展  
 6月 8日～ 7月16日 外部主催特別展「京都・清水三年坂美術館展」  
 7月25日～ 8月26日 特別展「学制公布140年記念 ぼくらのがっこう」  
 9月 1日～ 9月30日 指定管理者自主事業特別展「手塚治虫展」  
 10月10日～11月 7日 企画展「寄贈記念 成田彦栄コレクション」  
 11月16日～12月16日 企画展「生誕130年 植物学者 郡場寛」  
 12月22日～ 1月27日 企画展「さしこ～田中忠三郎着物コレクション」  
 2月23日～ 企画展「新収蔵コレクション」  
 平成25（2013）年4月—平成26（2014）年3月  
 ～ 4月14日 企画展「新収蔵コレクション」  
 4月27日～ 5月 6日 特別企画「青森県立郷土館所蔵絵図セレクト展」  
 5月11日～ 5月26日 指定管理者企画事業「青森県写真連盟50周年 プレ写真展」  
 6月 7日～ 7月15日 企画展「山内博尚コレクション 美しき蝶の世界」  
 7月24日～ 9月 1日 企画展「吉田初三郎鳥瞰図展～大正・昭和に描かれた観光パノラマ絵図～」  
 9月13日～11月10日 特別展「青森県立郷土館40周年記念『平尾魯仙～青森のダ・ヴィンチ』」  
 11月16日～ 1月13日 指定管理者企画事業「日本のアニメーション美術の創造者『山本二三展～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～』」  
 1月25日～ 1月26日 外部企画事業「第23回 日専連全国児童版画コンクール青森地区選」  
 2月14日～ 2月23日 指定管理者企画事業「第3回東奥児童版画展」

- 3月 1日～ 企画展「新収蔵展 ふるさとからの贈りもの」
- 平成26 (2014) 年4月～平成27 (2015) 年3月  
 ～ 4月13日 企画展「新収蔵展 ふるさとからの贈りもの」  
 4月25日～ 6月11日 企画展「おもちゃ百科図鑑ーあそびの今昔ー」  
 6月21日～ 7月 6日 指定管理者事業「青森県写真連盟50周年記念写真展」  
 7月12日～ 8月24日 指定管理者事業「ドールハウス展in青森」  
 9月 3日～10月19日 特別展「発酵食品パワー～ミクロのシェフとあおもり食文化～」  
 10月24日～11月 3日 指定管理者事業「第82回東奥児童美術展」  
 2月20日～ 3月 1日 指定管理者事業「第4回東奥児童書道展」  
 3月14日～ 企画展「彫刻家・鈴木正治の世界ー齋藤葵和子コレクション寄贈記念」
- 平成27 (2015) 年4月～平成28 (2016) 年3月  
 ～ 4月20日 企画展「彫刻家・鈴木正治の世界ー齋藤葵和子コレクション寄贈記念」  
 4月25日～ 6月15日 企画展「写真展 思い出のふるさと～昭和戦後のまち・むら・交通～」  
 7月11日～ 8月23日 指定管理者事業「岩合光昭写真展『ねこ歩き』」  
 8月29日～ 9月27日 指定管理者事業「藤森武写真展 東日本大震災復興祈念『みちのくの仏像』」  
 10月 2日～10月12日 指定管理者事業「第83回東奥児童美術展」  
 10月21日～12月 7日 特別展「環状列石と周堤墓～縄文のモニュメントとその社会」  
 12月19日～ 2月 4日 企画展「大・中・小～くらしのなかのスケールあれこれ」  
 2月11日～ 2月21日 指定管理者事業「第5回東奥児童書道展」  
 3月 3日～ 4月18日 企画展「新収蔵展・バーチャル展示コンテスト展」
- 平成28 (2016) 年4月～平成29 (2017) 年3月  
 4月29日～ 5月 8日 外部主催「両手足が不自由な画家 佐藤涼・個展 Black & White THE BEST」  
 5月20日～ 7月 3日 企画展「向山満コレクション『コウモリの不思議』」  
 7月15日～ 8月28日 特別展「刀剣魂」  
 9月10日～10月23日 指定管理者事業「五味太郎作品展『絵本の時間 スペシャル』」  
 10月28日～11月 6日 指定管理者事業「第84回東奥児童美術展」  
 11月18日～ 1月15日 企画展「昭和家電パラダイス」  
 1月28日～ 1月29日 外部主催「第26回日専連全国児童版画コンクール青森地区選一入賞作品展覧会」  
 2月10日～ 2月19日 指定管理者事業「第6回東奥児童書道展」
- 平成29 (2017) 年4月～平成30 (2018) 年3月  
 4月28日～ 5月14日 指定管理者事業「石澤桐雨萬葉千首展」  
 5月26日～ 6月25日 企画展「松木満史展」  
 7月 8日～ 8月27日 指定管理者事業「神の手・ニッポン展」
- 平成30 (2018) 年4月～平成31 (2019) 年3月  
 4月28日～ 5月 6日 ゴールデンウィーク特別企画展示「キョドフェス2018 キョドセレ」  
 5月25日～ 7月 1日 企画展「新収蔵×再発見2018」  
 7月14日～ 8月26日 指定管理者事業「岩合光昭写真展『ねこの京都』」  
 9月 6日～10月24日 特別展「コロコロ・STONEーあおもり石ものがたりー」  
 11月 2日～11月11日 指定管理者事業「第86回東奥児童美術展」  
 11月21日～ 1月20日 企画展「新説！白神のいにしえー津軽ダム建設に伴う発掘調査成果とともにー」  
 2月 8日～ 2月17日 指定管理者事業「第8回東奥児童書道展」
- 平成31 (2019) 年4月～令和2 (2020) 年3月  
 4月27日～ 7月 1日 企画展「新収蔵2019」  
 7月13日～ 8月25日 指定管理者事業「森のささやきが聞こえますか 倉本聰の仕事と点描画展」  
 9月12日～11月 4日 特別展「ひらく・つくる・みのるー青森の湿地と稲作のはなしー」  
 11月15日～11月24日 指定管理者事業「第87回東奥児童美術展」  
 12月 7日～ 1月30日 企画展「縄文遺跡群と県立郷土館ー発掘調査の軌跡ー」  
 2月14日～ 2月24日 指定管理者事業「第9回東奥児童書道展」
- 令和2 (2020) 年4月～令和3 (2021) 年3月  
 9月 4日～10月18日 企画展「鎌田清衛写真展 青森の風土と人」

- 10月30日～11月 8日 指定管理者事業「第88回東奥児童美術展」  
(東奥日報新町ビル)
- 11月28日～ 1月11日 指定管理者事業「金魚美抄～金魚を描くアーティストたち～」  
(三内丸山遺跡センター)
- 2月18日～ 2月28日 指定管理者事業「第10回東奥児童書道展」  
(東奥日報新町ビル)